

IIxil スtockヤード／パネルタイプ 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本製品施工の際は、テラス本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。

●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主さまにお渡しください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●施工の前に

- ・ストックヤード1500タイプのテラス本体の施工の際に、垂木掛補強金具の取付けが必要です。
テラス本体の取付け説明書とあわせて、施工前に本取付け説明書の「テラス本体の施工」(P.22)をお読みください。
- ・600タイプの場合は積雪(新雪)20cmを超えない地域に設置してください。
1500タイプの場合は積雪(新雪)50cmを超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。
- ・本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- ・本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。
- ・屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- ・寒冷地では凍結破損を防ぐため、竖樋に排水路ヒーター等を取付けてください。

●基礎について

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- ・柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分(4日～1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

▲ 注 意

- ・埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水がたまらないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- 取付け上について
 - ・みだりに改造・変更をしないでください。
 - ・取付け説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
 - ・柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- 部材の固定
 - ・ボルト・ねじは当社指定純正品の指定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - φ4ねじ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - φ5ねじ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
 - M6ボルト：5.2N・m±0.5N・m(52±5kgf・cm)
 - M8ボルト：12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)
 - ・取付け後、ねじ・ボルトにゆるみ・ガタツキがないことを必ず確認してください。
- ※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 絶縁処理
 - ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。
- ※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- シーリングについて
 - ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
 - ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
 - ・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のシーリングはひび割れ防止のために、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- プライマーについて
 - ・プライマーが必要な場合は必ず処理を施してからシーリングを行なってください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 施工完了時に、ドアの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■シーリングメーカー

・信越化学工業(株)	シーラント72
・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
・東レ・ダウコーニング(株)	SE960

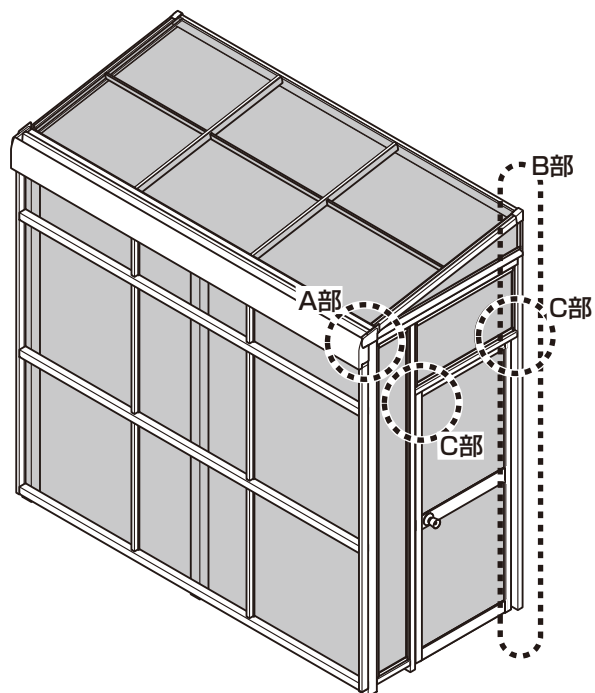
■取付けされる方へのお願い

- 取付けは専門業者が行ってください。
- ボルト、ねじを増し締めしてください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。
排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付け説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付け説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

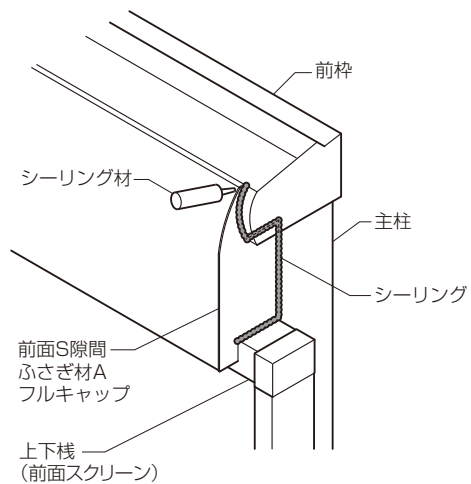
本製品の施工について

■シーリング処理

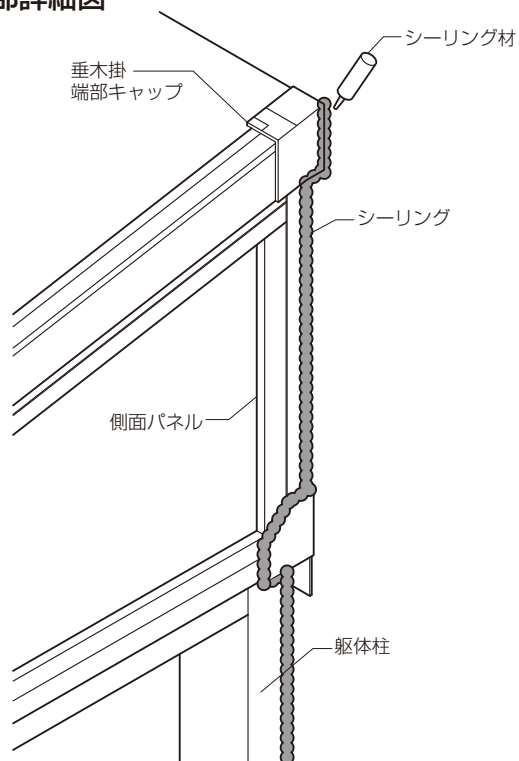
※施工時には下記の事項を厳守してください。



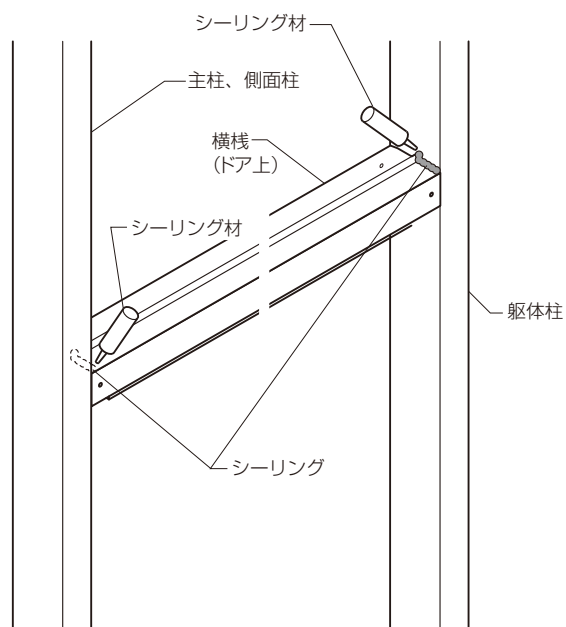
■A部詳細図



■B部詳細図



■C部詳細図



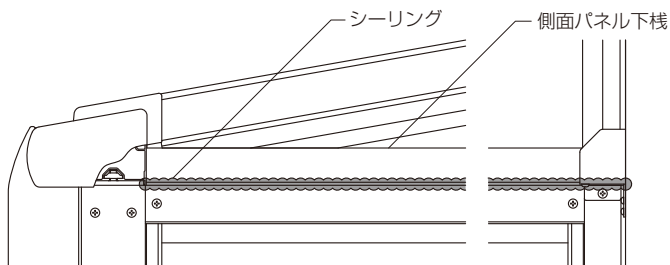
🔑ポイント

- 指定の個所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の個所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

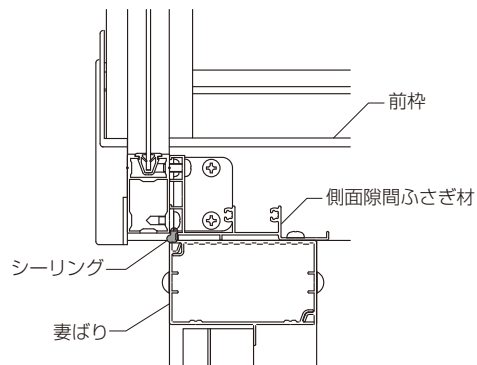
■シーリング処理（つづき）

※施工時には下記の事項を厳守してください。

1 F型

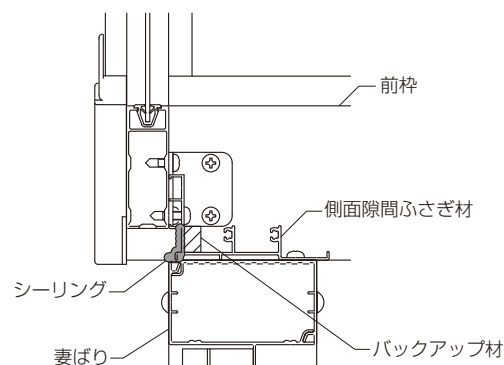
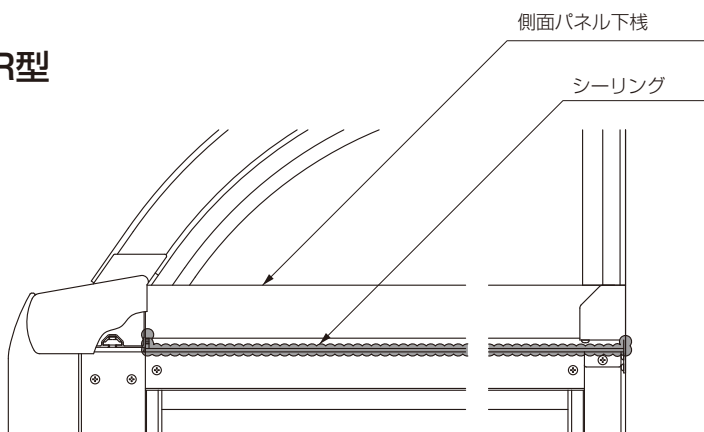


①側面隙間ふさぎ材と接する型材部分をシーリングしてください。



■横断面図(F型)

2 R型



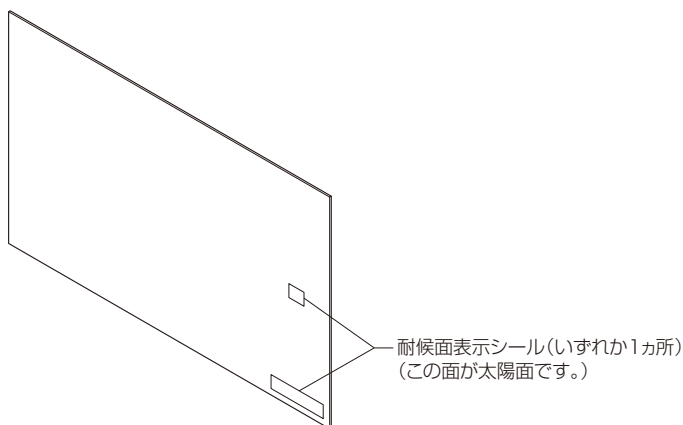
■横断面図(R型)

ポイント

- R型のバックアップ材は、袖壁仕様：クッション材（側面隙間ふさぎ材用）。
ヤード仕様（FIX・ドア）：クッション材（柱隙間ふさぎ材用）の残りを使用してください。

①側面隙間ふさぎ材と接する型材部分をシーリングしてください。

■パネル表裏の確認



ポイント

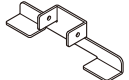
- ポリカーボネートパネルに張ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、パネルの表裏を確認してください。
表裏を反対に取付けると変色の原因になります。

梱包明細表

●柱セット

名 称	略 図	員 数		
		2本入	1本入	スクリーン用
柱		2	1	1
柱固定金具		2	1	1
アンカー棒		2	1	1
M5×10 トラスねじ3種		8	4	4
縦どい		1	1	—

●垂木掛取付け部品

名 称	略 図	員 数
垂木掛補強金具		1
ブランドラベル		1
φ5×12トラスタッピンねじ3種		2
φ6×70六角コーチスクリューねじ		2
M6用平座金		2

●前面スクリーン長さセット (2段用)

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
上下棧		2	2	2
中棧		1	1	1
グレチャン-横		4	4	8

●前面スクリーン単体2段用方立セット

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
端部方立		4	4	4
中間方立		2	4	6
グレチャン-縦		8	12	16
上下棧キャップR		2	2	2
上下棧キャップL		2	2	2
中棧キャップ		2	2	2
棧取付け金具		6	9	9

●前面スクリーン単体2段用方立セット(つづき)

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
雨どいジョイナー (本仕様では仕様しません)		1	1	1
後付け柱用固定ボルト		—	2	2
M8×12六角ボルト		6	9	9
M8平座金		6	11	11
M8バネ座金		6	11	11
M8袋ナット		6	11	11
φ4×12トラスねじ1種		21	30	30
φ4×13ナベドリルねじ		13	19	19
取付け説明書	—	1	1	1

●前面スクリーン3段 単体

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
前面スクリーン(3段仕様) 端部方立		2	2	2
前面スクリーン(3段仕様) 中間方立		1	2	3
中棧		1	1	1
グレチャン 前面スクリーン3段用-縦		4	6	8
グレチャン-横 1.0間		2	—	4
グレチャン-横 1.5間		—	2	—
中棧キャップ		2	2	2
棧取付け金具		2	3	3
φ4×13ナベドリルねじ3種		4	6	6
M8×12六角ボルト		2	3	3
M8平座金		2	3	3
M8バネ座金		2	3	3
M8袋ナット		2	3	3
φ4×12トラスねじ1種		11	15	15
取付け説明書	—	1	1	1
取扱説明書	—	1	1	1

●ポリカパネル 前面スクリーン1・2段

名 称	略 図	員 数		
		2枚入	3枚入	4枚入
ポリカパネル 前面1・2段		2	3	4

●ポリカパネル 前面スクリーン3段

名 称	略 図	員 数		
		2枚入	3枚入	4枚入
ポリカパネル 前面3段		2	3	4

●前面スクリーンふさぎ材セット

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
ふさぎ材A		1	1	1

●ふさぎ材端部部品セット

名 称	略 図	員 数	
		1~1.5間	2.0間
前面S隙間ふさぎ材A フルキャップR		1	1
前面S隙間ふさぎ材A フルキャップL		1	1
隙間ふさぎ材固定金具		4	6
ふさぎ材スペーサー		2	2
クッション材		2	2
φ4×13ナベドリルねじ		13	17

●前面スクリーン連棟2段用方立セット

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
中間方立		4	6	8
グレチャン		8	12	16
上下棧ジョイントピース		2	2	2
中棧ジョイントピース		1	1	1
上下棧用スリーブ		2	2	2
中棧用スリーブ		1	1	1
ジョイントピース用 グレチャン		4	4	4
棧取付け金具		6	9	9
雨どいジョイナー (本仕様では仕様しません)		1	1	1

●前面スクリーン連棟2段用方立セット(つづき)

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
後付け柱用固定ボルト		—	2	2
M8×12六角ボルト		6	9	9
M8平座金		6	11	11
M8バネ座金		6	11	11
M8袋ナット		6	11	11
φ4×12トラスねじ1種		8	17	17
φ4×13ナベドリルねじ		30	37	37

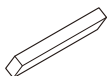
●前面スクリーン3段 連棟

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
前面スクリーン(3段仕様) 中間方立		2	3	4
中棧		1	1	1
中棧連結ピース		1	1	1
中棧スリーブ		1	1	1
グレチャン 前面スクリーン3段用-縦		4	6	8
グレチャン横 1.0間		2	—	4
グレチャン横 1.5間		—	2	—
ジョイントピース用 グレチャン		2	2	2
棧取付け金具		2	3	3
φ4×13ナベドリルねじ3種		13	15	15
M8×12六角ボルト		2	3	3
M8平座金		2	3	3
M8バネ座金		2	3	3
M8袋ナット		2	3	3
φ4×12トラスねじ1種		4	8	8

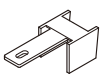
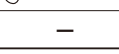
●前面スクリーンふさぎ材連棟部品セット

名 称	略 図	員 数	
		1.0~1.5間用	2.0~2.5間用
ふさぎ材A連結カバー		1	1
ふさぎ材固定金具		4	6
φ4×13ナベドリルねじ		10	15

●前面スクリーンふさが材連棟部品セット(つづき)

名 称	略 図	員 数	
		1.0~1.5間用	2.0~2.5間用
ふさが材スペーサー		2	2

●側面ランマパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		R型屋根	F型屋根
側面パネル (R型屋根)※1		2	—
側面パネル (F型屋根)※1		—	2
目隠し材		2	2
上枠(R型屋根)		2	—
上枠(F型屋根)		—	2
すき間隠し材		2	2
前枠固定金具		2	2
下枠固定金具		2	2
側面パネル用 垂木掛けキャップ		2	2
2.5間用スペーサー		左右各1	左右各1
物干しサポート部品		4	4
φ4×19ナベドリルねじ		26(30)※2	18(20)※2
φ4×13ナベドリルねじ		18	18
φ4.1×50丸木ねじ		8	8
取付け説明書	—	1	1

※1 パネルに表裏があるため左右があります。

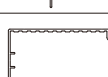
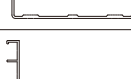
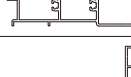
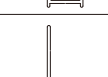
※2 かっこがついていない員数は3尺、4尺を示します。

()内は、5尺、6尺を示します。

●パネル側面フレーム 袖壁

名 称	略 図	員 数					
		内観右用			内観左用		
		4R	5R	6R	4R	5R	6R
横棧A 袖壁		1	1	1	1	1	1

●パネル側面フレーム 袖壁 (つづき)

名 称	略 図	員 数					
		内観右用			内観左用		
		4R	5R	6R	4R	5R	6R
横棧C 袖壁		1	1	1	1	1	1
妻ばりA 袖壁		1	1	1	1	1	1
妻ばりC 袖壁		1	1	1	1	1	1
パネル袖壁躯体柱		1	1	1	1	1	1
側面隙間ふさが材 袖壁 内観左		—	—	—	1	1	1
側面隙間ふさが材 袖壁 内観右		1	1	1	—	—	—
パネル縦枠 袖壁 4尺		2	—	—	2	—	—
パネル縦枠 袖壁 5尺		—	2	—	—	2	—
パネル縦枠 袖壁 6尺・FIX		—	—	2	—	—	2
パネル上下枠 袖壁		2	2	2	2	2	2
パネル中棧 袖壁		—	1	2	—	1	2
パネル押さえ材 FIX用		2	2	2	2	2	2
柱隙間ふさが材 1・2段用		2	2	2	2	2	2
柱隙間ふさが材 3段用		1	1	1	1	1	1
グレチャン 側面 袖壁縦		2	4	6	2	4	6
グレチャン 側面 袖壁横		2	4	6	2	4	6

●ポリカパネル 袖壁

名 称	略 図	員 数					
		片側			両側		
		4R	5R	6R	4R	5R	6R
ポリカパネル 袖壁		1	2	3	2	4	6

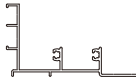
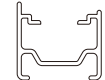
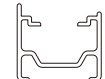
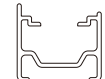
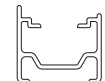
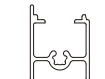
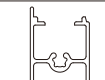
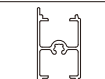
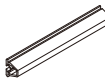
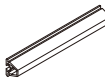
●パネル側面部品セット

名 称	略 図	員 数							
		袖壁				FIX		ドア	
		4・5R	6R	3R	4・5R	6R	3R	4・5R	6R
側面柱キャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
側面隙間ふさがり材カバー		1	1	—	—	—	—	—	—
フレーム組付金具		4	4	4	7	7	4	7	7
パネル押え金具		2	4	4	6	8	—	2	4
クッション材 柱隙間ふさがり材用		1	1	1	1	1	1	1	1
クッション材 躯体柱用		—	—	1	1	1	1	1	1
クッション材 側面隙間ふさがり材用		1	1	—	—	—	—	—	—
雪おろし注意シール		1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×13ナベドリルねじ3種		42	47	47	72	77	29	55	59
φ4×16ナベドリルねじ		5	5	4	4	4	4	4	4
φ5×12トラスねじ3種		8	8	8	15	15	8	15	15
φ4×40ナベタッピンねじ2種(G=5)		6	8	8	15	17	4	11	13

●パネル側面フレーム ドア

名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3R	4R	5R	6R	3R	4R	5R	6R
横棧A 3R		1	1	1	1	1	1	1	1
横棧A 袖壁		—	1	1	1	—	1	1	1
横棧C 袖壁		—	1	1	1	—	1	1	1
妻ばりA 3R		1	—	—	—	1	—	—	—
妻ばりA 内観左		—	—	—	—	1	1	1	1
妻ばりA 内観右		—	1	1	1	—	—	—	—
妻ばりC		1	1	1	1	1	1	1	1

●パネル側面フレーム ドア(つづき)

名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3R	4R	5R	6R	3R	4R	5R	6R
横棧D		1	1	1	1	1	1	1	1
中間柱 ドア		—	1	1	1	—	1	1	1
パネル躯体柱 ドア		1	1	1	1	1	1	1	1
側面隙間ふさがり材 内観左		—	—	—	—	1	1	1	1
側面隙間ふさがり材 内観右		1	1	1	1	—	—	—	—
パネル縦枠 ランマ用		2	2	2	2	2	2	2	2
パネル縦枠 袖壁 4R		—	2	—	—	—	2	—	—
パネル縦枠 袖壁 5R		—	—	2	—	—	—	2	—
パネル縦枠 袖壁 6R・FIX		—	—	—	2	—	—	—	2
パネル上下枠 袖壁		—	2	2	2	—	2	2	2
パネル上下枠 ランマ・FIX		2	2	2	2	2	2	2	2
パネル中棧 袖壁		—	—	1	2	—	—	1	2
パネル押さえ材 ランマ用		2	2	2	2	2	2	2	2
パネル押さえ材 FIX用		—	2	2	2	—	2	2	2
柱隙間ふさがり材 1・2段用		2	2	2	2	2	2	2	2
柱隙間ふさがり材 3段用		1	1	1	1	1	1	1	1
グレチャン 側面 ドア上縦		2	2	2	2	2	2	2	2
グレチャン 側面 袖壁 縦		—	2	4	6	—	2	4	6

●パネル側面フレーム ドア(つづき)

名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3R	4R	5R	6R	3R	4R	5R	6R
グレチャン 側面 袖壁-横		—	2	4	6	—	2	4	6
グレチャン 側面ドア上・共通FIX-横		2	2	2	2	2	2	2	2

●ポリカパネル ランマ

名 称	略 図	員 数
		1枚入
ポリカパネル ランマ		1

●ドア本体

名 称	略 図	員 数	
		右吊用	左吊用
ストライク側縦枠R		1	—
ストライク側縦枠L		—	1
丁番側縦枠R		1	—
丁番側縦枠L		—	1
丁番側縦枠		1	1
ロック側縦枠		1	1
上下棧		2	2
中棧		1	1
ラッチ箱錠		1	1
握り玉		1	1
キー		3	3
丁番		2	2
ドアクローザー 取付け用木片		1	1

●ドア本体(つづき)

名 称	略 図	員 数	
		右吊用	左吊用
グレチャン		1	1
框キャップR		2	2
框キャップL		2	2
φ8 プッシュボタン		5	5
締付座金		4	4
スピードナット		2	2
φ4×13ナベドリルねじ3種		20	20
φ4×10サラ小ねじ		16	16
φ4×12サラタッピンねじ1種		2	2
φ4×35ナベタッピンねじ2種(G=10)		10	10
M4×20ナベ小ねじ(G=5)		2	2

●ポリカパネル ドア

名 称	略 図	員 数
		2枚入
ポリカパネル ドア		2

●ドアクローザー

オプション

名 称	略 図	員 数
クローザー本体		1
アーム		1
座板		1
本体ブラケット		1
ブラケットリンク		1
キャップ		1
スパナ		1
M6×14十字穴付六角ボルト		2
M5×12 丸サラ小ねじ(固着剤付き塗装)		5
M5×8 ナベ小ねじ(固着剤付き生地)		4
φ5×26 丸サラタッピンねじ		4
M5×20 丸サラ小ねじ(固着剤付き塗装)		3
M5ターンナット		3

●パネル側面フレーム FIX

名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
横棧A 3尺		1	1	1	1	1	1	1	1
横棧C 3尺		1	1	1	1	1	1	1	1
横棧A 袖壁		—	1	1	1	—	1	1	1
横棧C 袖壁		—	1	1	1	—	1	1	1
妻ばりA 3尺		1	—	—	—	1	—	—	—
妻ばりA 4～6尺 内観左		—	—	—	—	—	1	1	1
妻ばりA 4～6尺 内観右		—	1	1	1	—	—	—	—
妻ばりC		1	1	1	1	1	1	1	1
中間柱 側面FIX		—	1	1	1	—	1	1	1
パネル袖壁躯体柱		1	1	1	1	1	1	1	1
側面隙間ふさぎ材 内観左		—	—	—	—	1	1	1	1
側面隙間ふさぎ材 内観右		1	1	1	1	—	—	—	—
パネル縦枠 袖壁 4尺		—	2	—	—	—	2	—	—
パネル縦枠 袖壁 5尺		—	—	2	—	—	—	2	—
パネル縦枠 袖壁 6尺・FIX		2	2	2	4	2	2	2	4
パネル上下枠 袖壁		—	2	2	2	—	2	2	2
パネル上下枠 ランマ・FIX		2	2	2	2	2	2	2	2
パネル中棧 袖壁		—	—	1	2	—	—	1	2

●パネル側面フレーム FIX(つづき)

名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
パネル中棧 FIX		2	2	2	2	2	2	2	2
パネル押さえ材 FIX用		2	4	4	4	2	4	4	4
柱隙間ふさぎ材 1・2段用		2	2	2	2	2	2	2	2
柱隙間ふさぎ材 3段用		1	1	1	1	1	1	1	1
グレチャン 側面 袖壁・縦		—	2	4	—	—	2	4	—
グレチャン 側面 袖壁 6尺・共通FIX・縦		6	6	6	12	6	6	6	12
グレチャン 側面 袖壁・横		—	2	4	6	—	2	4	6
グレチャン 側面ドア上・ 共通FIX・横		6	6	6	6	6	6	6	6

●ポリカパネル 側面FIX

名 称	略 図	員 数
		3枚入
ポリカパネル 側面FIX		3

●ターンナット

名 称	略 図	員 数
M4 ターンナット		10

●トラスネジ

名 称	略 図	員 数
φ4×16 トラスタッピンねじ3種		50

INDEX

基本寸法と各部名称	13
■基本寸法	13
1スクリーン仕様	13
2袖壁仕様	13
3ヤード仕様	14
4連棟	15
■各部名称	16
1スクリーン仕様	16
2袖壁仕様	16
3ヤード仕様	16
■断面納まり	17
1屋根1500タイプ断面図	17
2正面部 縦断面図	17
3正面部 横断面図	17
4側面フレーム部 縦断面図	18
5側面フレーム部 横断面図	18
6側面パネル断面図および主柱移動可能範囲	19
柱の位置出し	20
■単体 1.0間～2.0間	20
1スクリーン仕様	20
(1) 1.0間	20
(2) 1.5間・2.0間	20
2袖壁仕様	20
(1) 1.0間	20
(2) 1.5間・2.0間	20
3ヤード仕様	21
(1) 1.0間	21
(2) 1.5間・2.0間	21
■連棟 2.5間～5.0間	21
本体の施工	22
■テラス本体の施工	22
1柱の施工	22
2スクリーン用柱・前枠の取付け	22
3垂木掛補強金具の取付け	22
4テラス本体の施工	22
■正面部の取付け	23
1雨どいの取付け	23
2縦どいの移動	23
3上下棧（上部）の柱への取付け	24
4中棧・上下棧の柱への取付け	25
5パネルの取付け	26
■連棟の取付け	27
1連棟部の組立て	27
(1) 部材の切断	27
(2) 部材の穴加工	27
(3) ジョイントピースの取付け	27
2各連結部の取付け	28
■前面スクリーンふさぎ材の取付け	29

INDEX

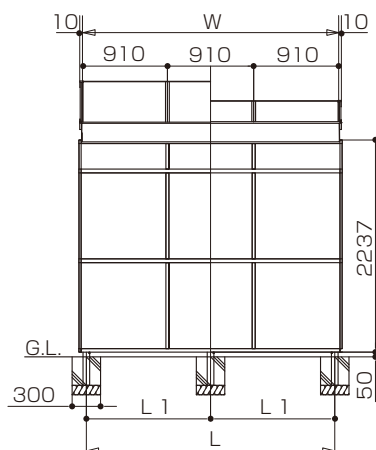
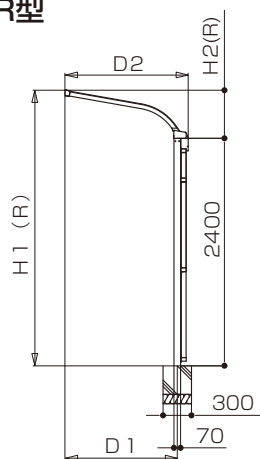
■ 1 クッション材の取付け	29
■ 2 前面スクリーン隙間ふさぎ材Aフルキャップの取付け	29
■ 3 前面スクリーンふさぎ材の取付け	30
■ 4 前面スクリーンふさぎ材・連棟部の組立て	30
■ 側面ランマパネルの取付け	31
■ 1 側面ランマパネル上枠・目隠し材の取付け	31
(1) すき間隠し材張付け位置	31
(2) 側面パネル用垂木掛けキャップの取付け	31
■ 2 側面パネルの取付け	32
■ 側面ユニット・フレームの取付け	33
■ 1 袖壁4・5・6尺、FIX3尺（ヤード仕様）フレームの取付け	33
■ 2 FIX3尺、ドア（ヤード仕様）フレームの取付け	34
■ 3 FIX4～6尺（ヤード仕様）フレームの取付け	35
■ 4 ドア（ヤード仕様）フレームの取付け	36
■ 5 ドア3尺（ヤード仕様）フレームの取付け	37
■ 6 袖壁フレーム・側面隙間ふさぎ材の取付け準備	38
■ 7 袖壁フレーム・側面隙間ふさぎ材の取付け	39
■ 8 FIX、ドアフレーム（ヤード仕様）側面隙間ふさぎ材の取付け準備	40
■ 9 FIX、ドアフレーム（ヤード仕様）側面隙間ふさぎ材の取付け	41
■ 袖壁・ヤード仕様 側面パネルの組立て	42
■ 1 袖壁4尺パネル、ランマパネルの組立て	42
■ 2 袖壁5尺パネルの組立て	43
■ 3 袖壁6尺パネル、FIXパネルの組立て	44
■ 側面ユニット・パネルの取付け	45
■ 1 袖壁パネル4・5・6尺、FIX3尺（ヤード仕様）パネルの取付け	45
■ 2 袖壁・ヤード 4尺・5尺側面パネルの取付け（内側）	46
■ 3 袖壁6尺、FIX3尺（ヤード仕様）側面パネルの取付け（内側）	47
■ 4 FIX（ヤード仕様）パネルの取付け	48
■ 5 FIX（ヤード仕様）側面パネルの取付け（内側）	49
■ 6 ドア3尺（ヤード仕様）パネルの取付け	50
■ 7 ドア4～6尺（ヤード仕様）パネルの取付け	51
■ ドア部の取付け	52
■ 1 ドア縦枠の取付け	52
■ 2 ドアの組立て	53
■ 3 ドアの取付けと調整	55
■ ドアクローザーの取付け オプション	56
■ 1 座板・ブラケット取付け穴の加工	56
■ 2 座板・ブラケットの取付け	56
■ 3 本体ブラケットの取付け	57
■ 4 アームの取付け	57
■ 5 本体の取付け	57
■ 6 アームの連結	57
■ 7 ストップ角度の設定	58
■ 8 ストップ角度を変更する場合	58
■ 9 ドアクローザーの速度調整	58
■ 柱隙間ふさぎ材の取付け	59
■ 雪おろし注意シール・ブランドラベルの張付け	60
■ 1 雪おろし注意シールの張付け	60
■ 2 ブランドラベルの張付け	60
■ 柱の固定	60

基本寸法と各部名称

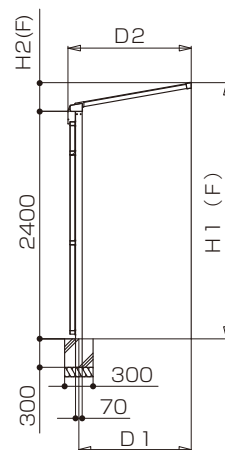
基本寸法

1 スクリーン仕様

●R型



●F型

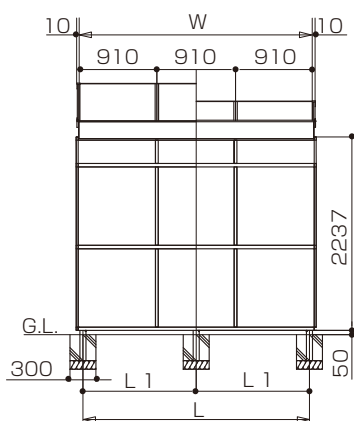
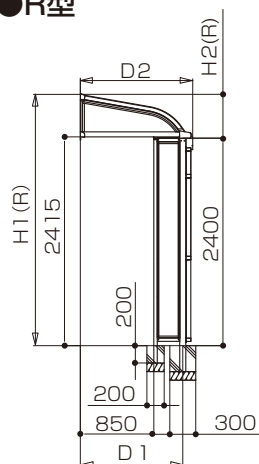


出幅	D1	D2	H1(R)	H2(R)	H1(F)	H2(F)
3尺	885	1000	2789.5	389.5	2648.5	248.5
4尺	1185	1300	2842.5	442.5	2701.5	301.5
5尺	1485	1600	2895.5	495.5	2754.5	354.5
6尺	1785	1900	2948.5	548.5	2807	407

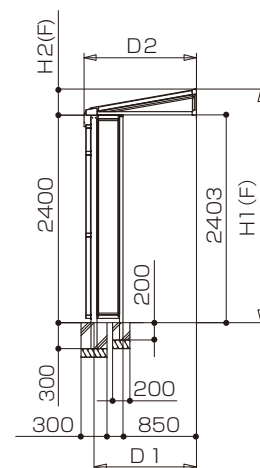
間口	W	L	L1
1間	1820	1710	—
1.5間	2730	2620	1310
2間	3640	3530	1765

2 袖壁仕様

●R型



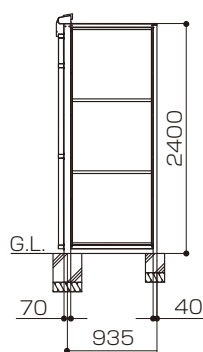
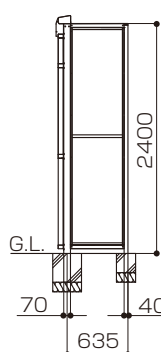
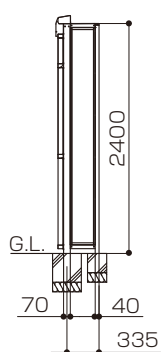
●F型



●袖壁4尺

●袖壁5尺

●袖壁6尺

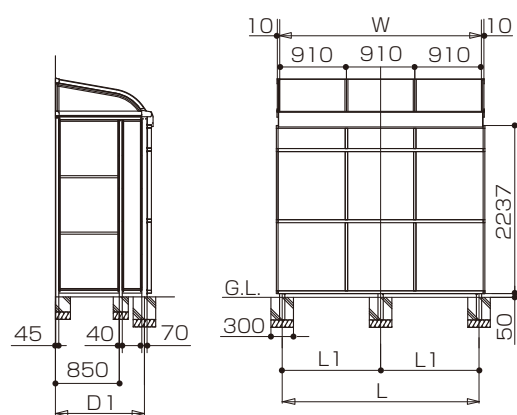


間口	W	L	L1
1間	1820	1710	—
1.5間	2730	2620	1310
2間	3640	3530	1765

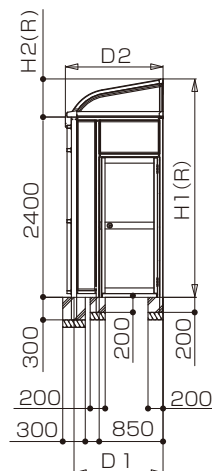
出幅	D1	D2	H1(R)	H2(R)	H1(F)	H2(F)
4尺	1185	1300	2842.5	442.5	2701.5	301.5
5尺	1485	1600	2895.5	495.5	2754.5	354.5
6尺	1785	1900	2948.5	548.5	2807	407

3 ヤード仕様

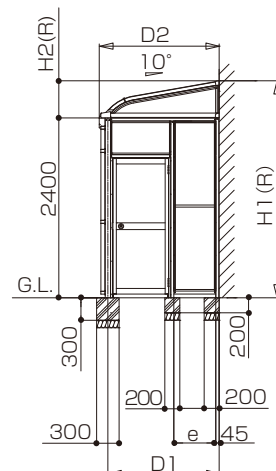
●R型・FIX側面



●R型・ドア側面



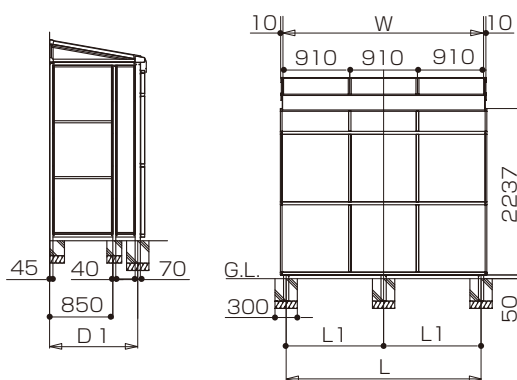
●側面図(主柱側寄せ仕様)
4・5・6尺



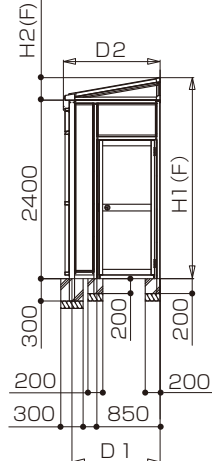
間口	W	L	L1
1間	1820	1710	—
1.5間	2730	2620	1310
2間	3640	3530	1765

出幅	D1	D2	H1(R)	H2(R)	e
3尺	885	1000	2789.5	389.5	—
4尺	1185	1300	2842.5	442.5	260
5尺	1485	1600	2895.5	495.5	560
6尺	1785	1900	2948.5	548.5	860

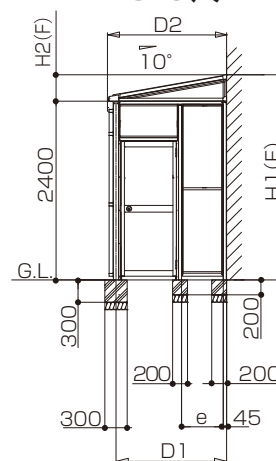
●F型・FIX側面



●F型・ドア側面



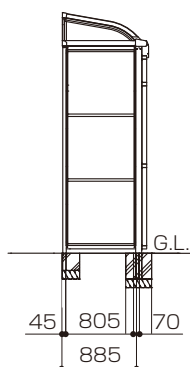
●側面図(主柱側寄せ仕様)
4・5・6尺



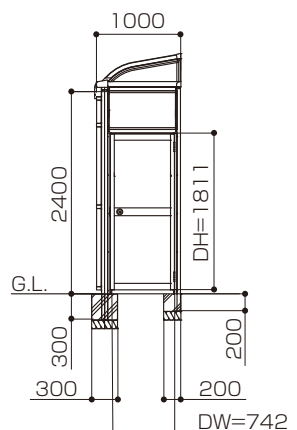
間口	W	L	L1
1間	1820	1710	—
1.5間	2730	2620	1310
2間	3640	3530	1765

出幅	D1	D2	H1(F)	H2(F)	e
3尺	885	1000	2648.5	248.5	—
4尺	1185	1300	2701.5	301.5	260
5尺	1485	1600	2754.5	354.5	560
6尺	1785	1900	2807	407	860

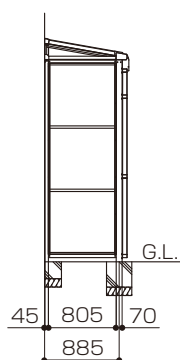
●R型・3尺
FIX側面



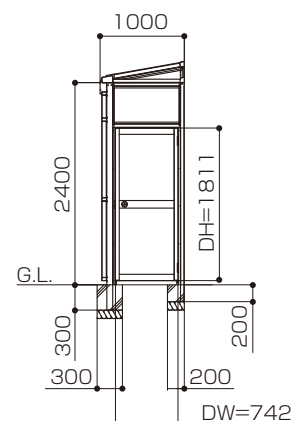
●R型・3尺
ドア側面



●F型・3尺
FIX側面



●F型・3尺
ドア側面

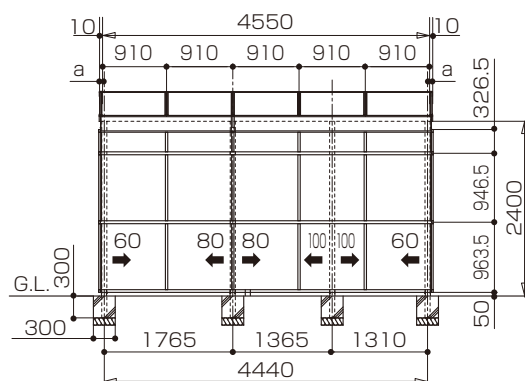


4連棟

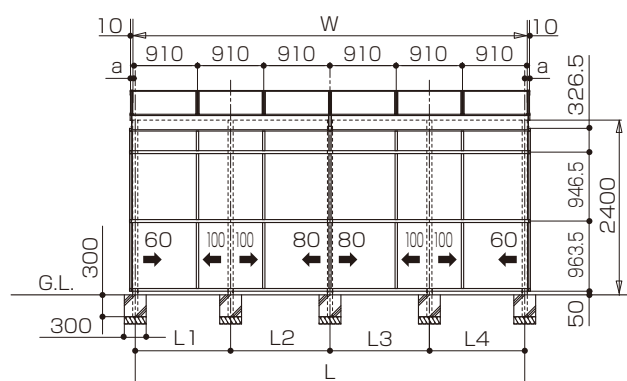
※連棟部の柱の移動可能範囲は±80mmです。

※a：端部垂木外面～柱芯（ $65 \leq a \leq 125$ ）

●2.5間
※1.0間+1.5間

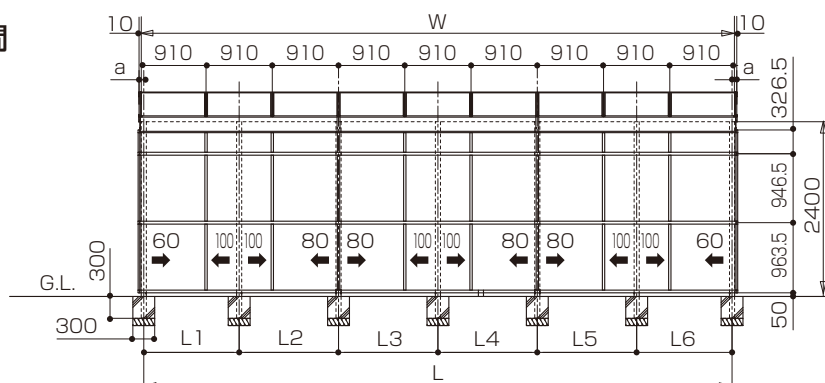


●3.0間～4.0間



間口	W	L	L1	L2	L3	L4
3.0間（1.5間+1.5間）	5460	5350	1337.5	1337.5	1337.5	1337.5
3.5間（1.5間+2.0間）	6370	6260	1792.5	1792.5	1337.5	1337.5
4.0間（2.0間+2.0間）	7280	7170	1792.5	1792.5	1792.5	1792.5

●4.5間～5.0間

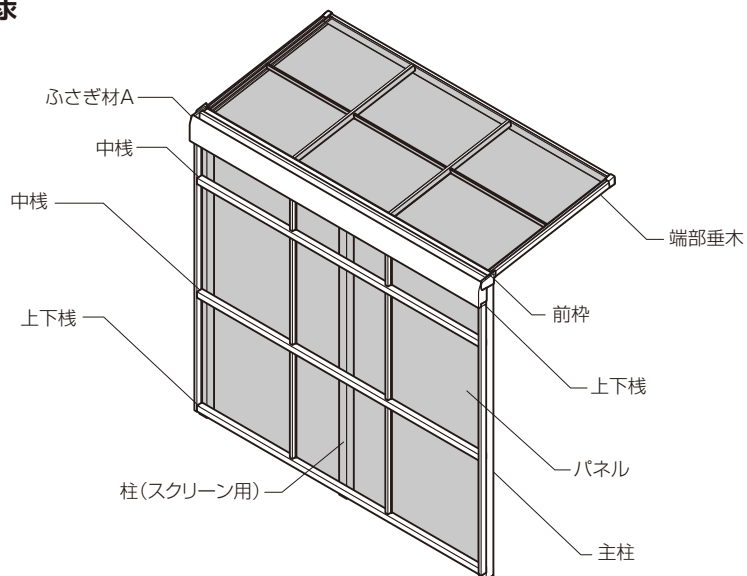


間口	W	L	L1	L2	L3	L4	L5	L6
4.5間（1.5間+1.5間+1.5間）	8190	8080	1337.5	1337.5	1365	1365	1337.5	1337.5
5.0間（1.5間+2.0間+1.5間）	9100	8990	1337.5	1337.5	1820	1820	1337.5	1337.5

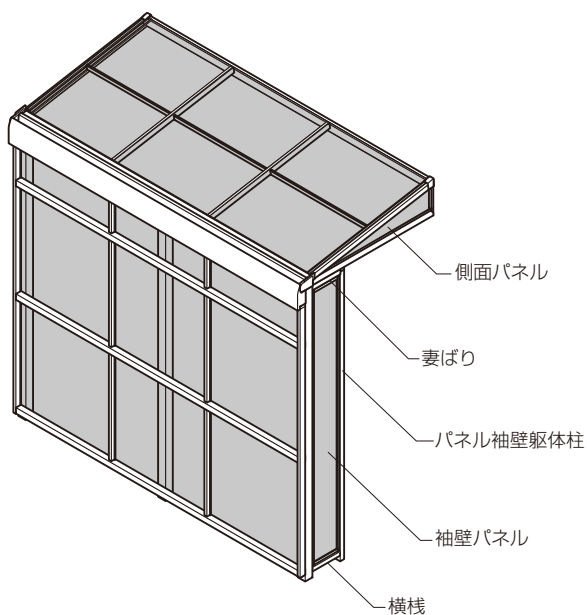
■各部名称

※1.0間の場合は、柱(スクリーン用)はありません。図は1.5間4尺で説明しています。

■1スクリーン仕様

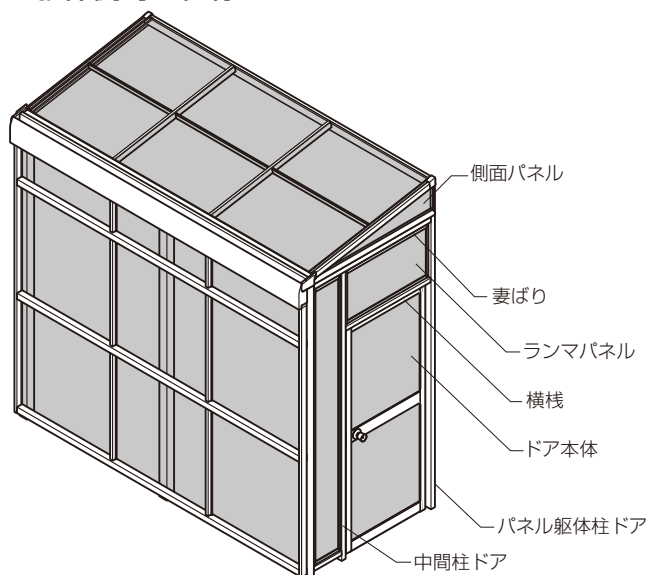


■2袖壁仕様

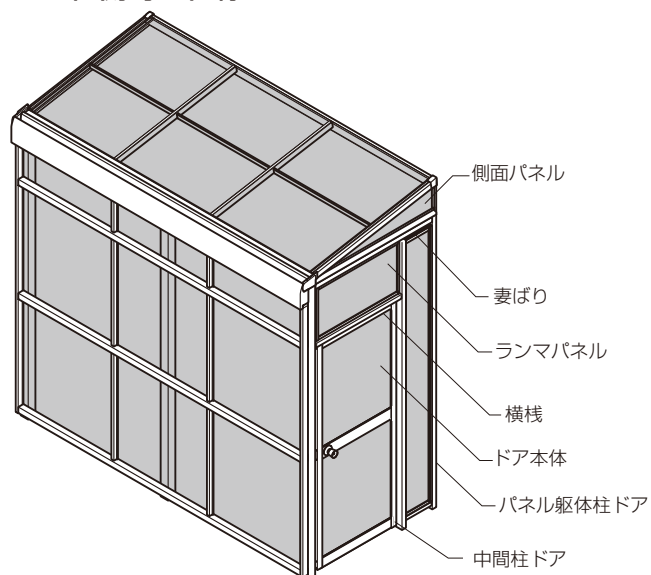


■3ヤード仕様

●ドア躯体側寄せ仕様



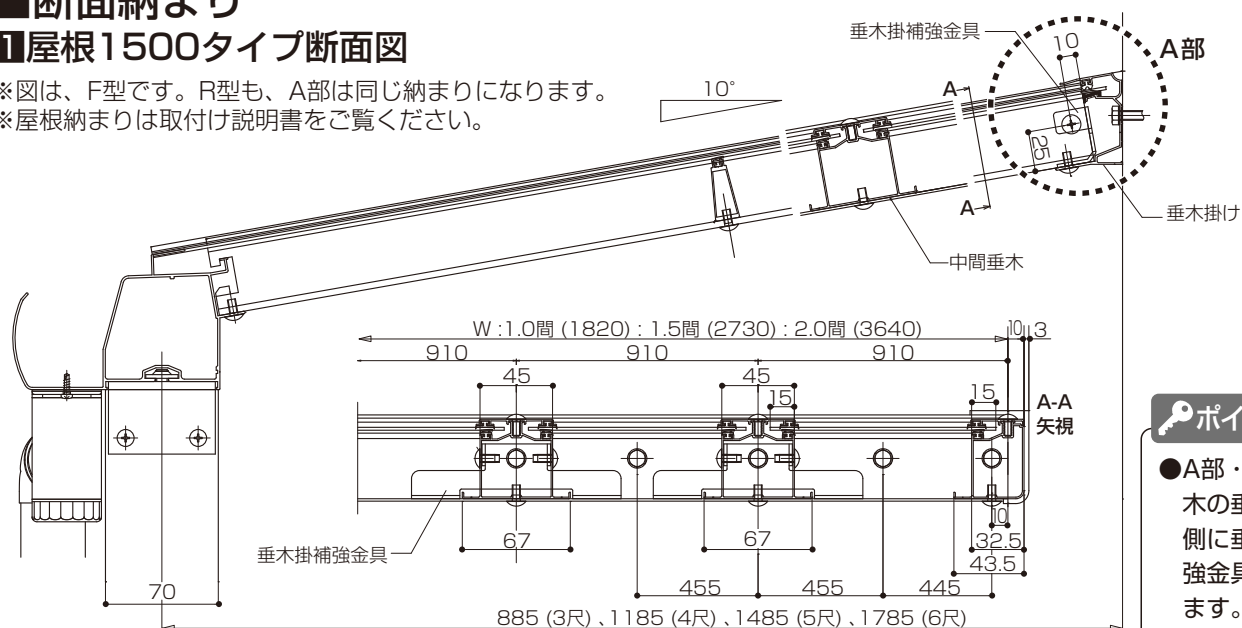
●ドア主柱側寄せ仕様



■断面納まり

■屋根1500タイプ断面図

※図は、F型です。R型も、A部は同じ納まりになります。
※屋根納まりは取付け説明書をご覧ください。



2 正面部 縦断面図

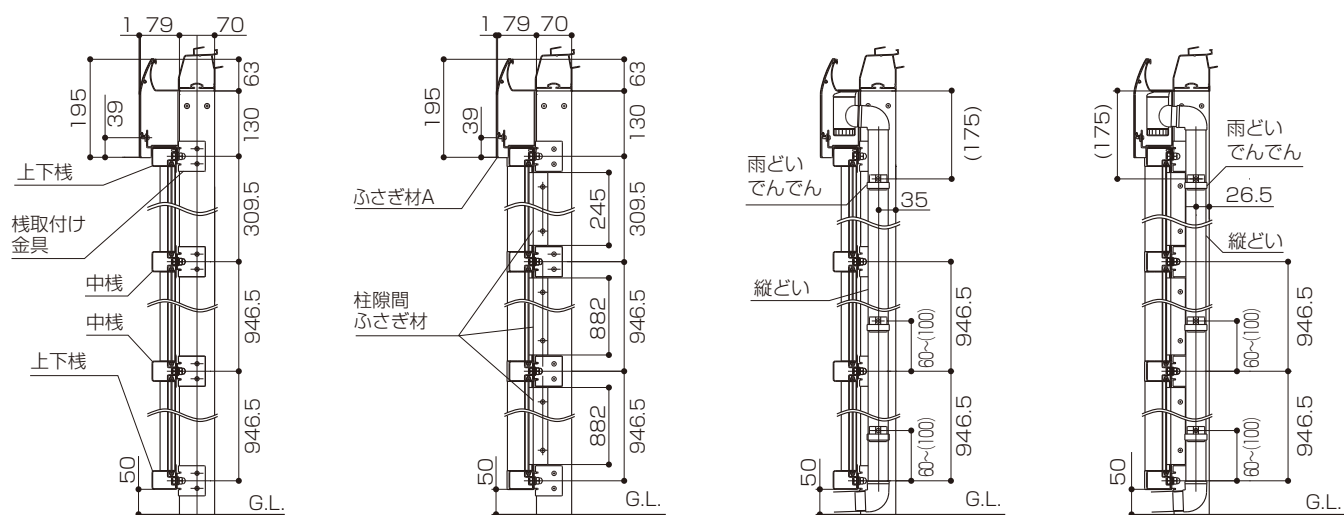


図1
スクリーン仕様
縦断面図

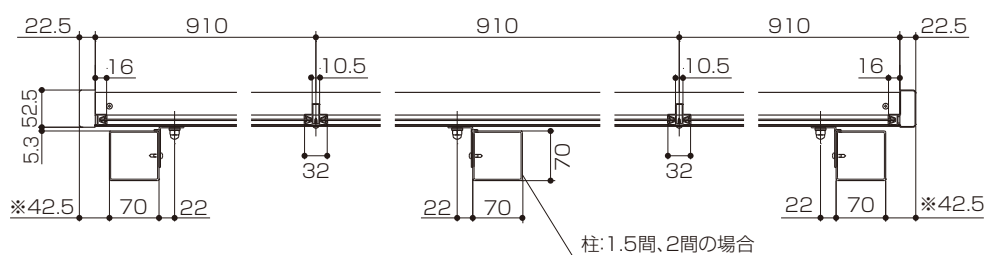
図2
袖壁・ヤード仕様
縦断面図

図3
スクリーン仕様
縦断面図(縦どい・
雨どいでんでん納まり)

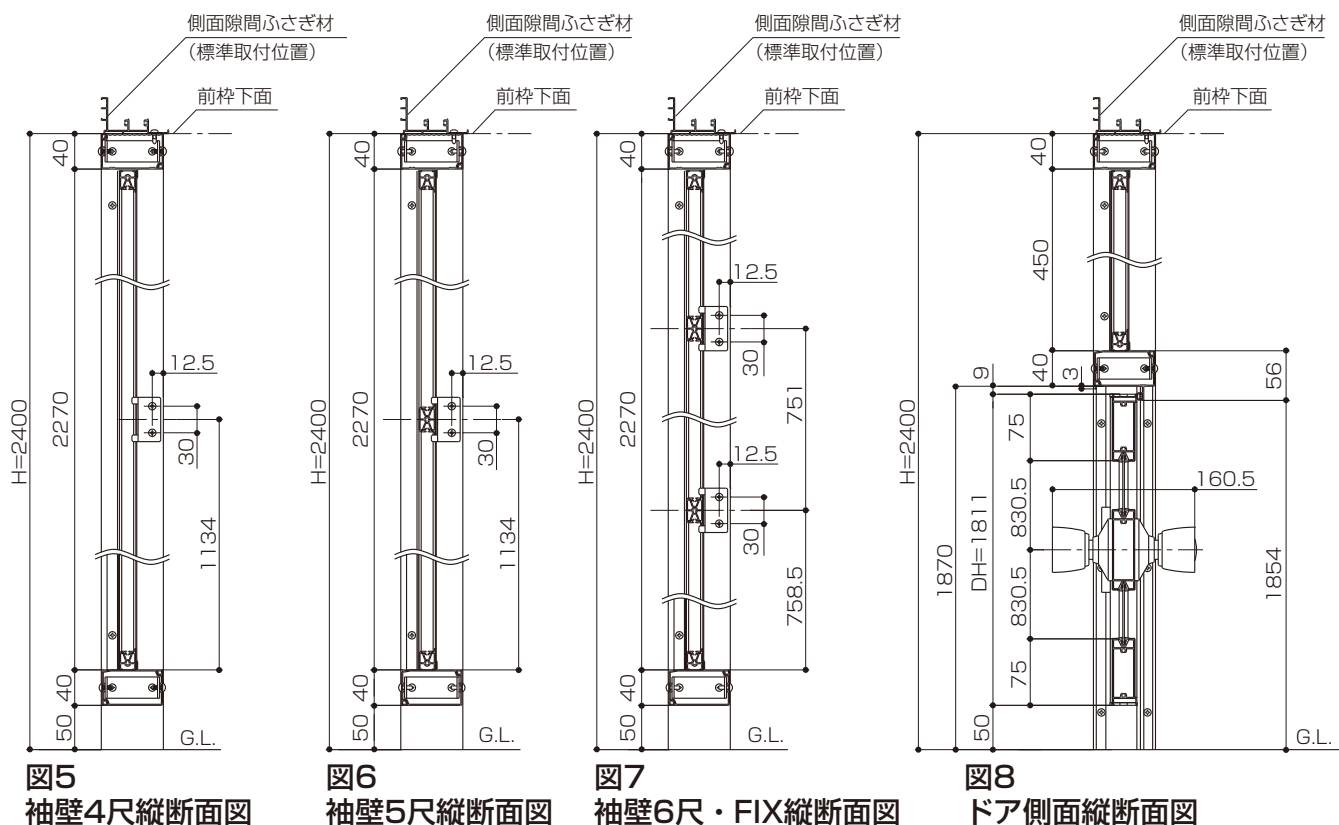
図4
袖壁・ヤード仕様縦断面図
(縦どい・雨どいでんどん
納まり)

3 正面部 横断面図

※42.5mmは柱標準位置の場合

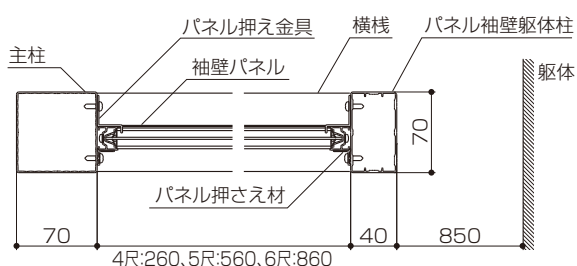


4 側面フレーム部 縦断面図

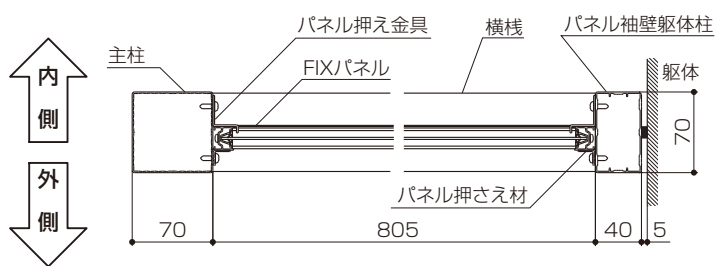


5 側面フレーム部 横断面図

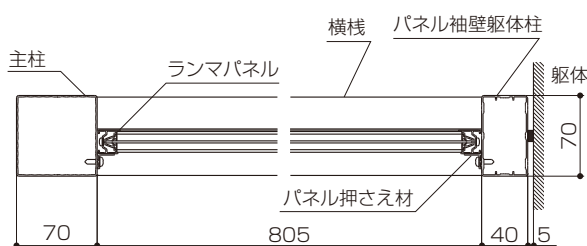
(1) 袖壁横断面図



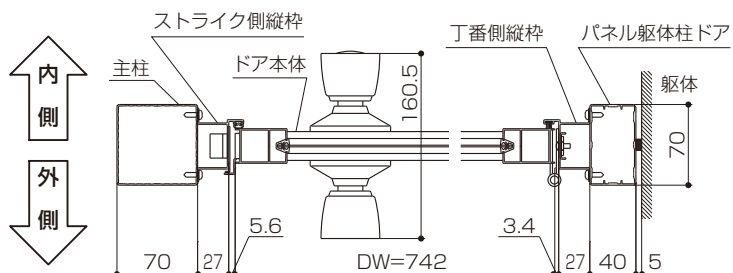
(2) 3尺・FIX横断面図



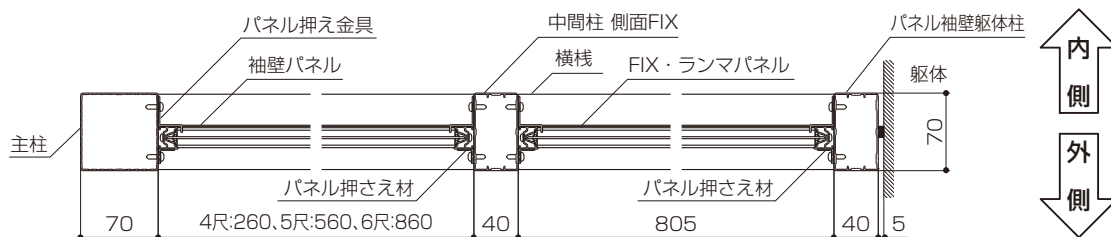
(3) 3尺・ランマパネル横断面図



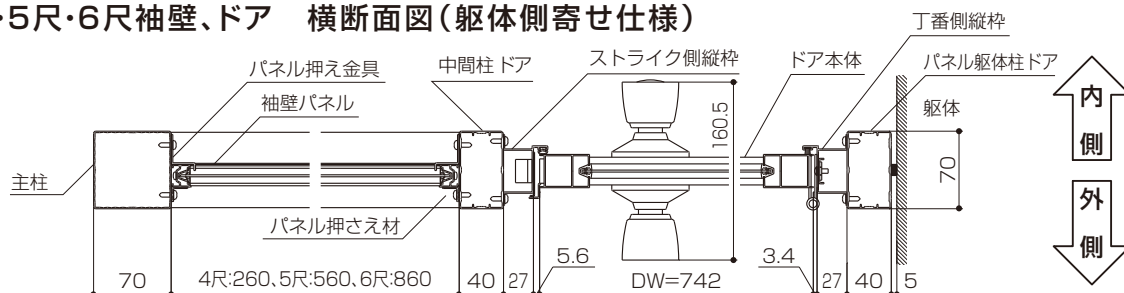
(4) 3尺・ドア横断面図



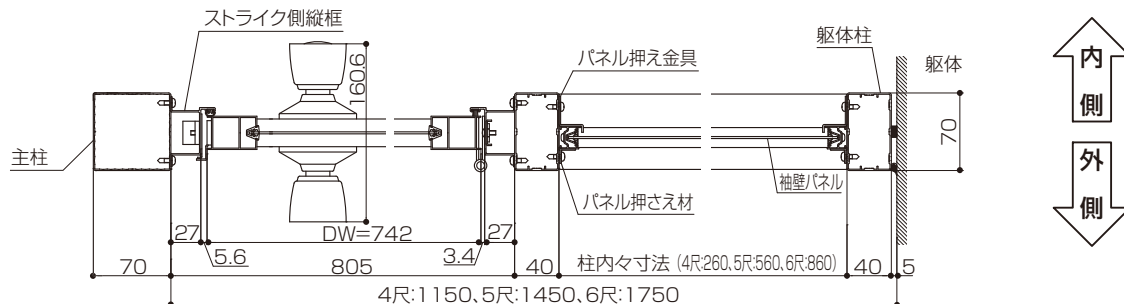
(5) 4尺・5尺・6尺袖壁、FIX、ランマ 横断面図



(6) 4尺・5尺・6尺袖壁、ドア 横断面図(躯体側寄せ仕様)



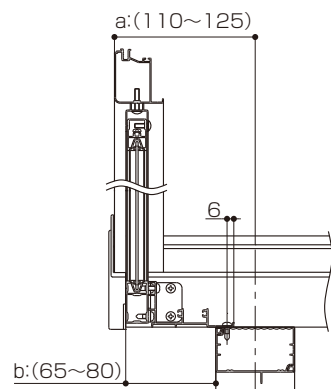
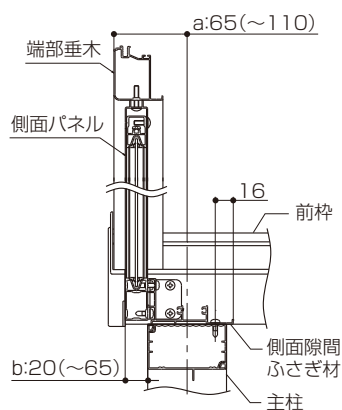
(7) 4尺・5尺・6尺袖壁、ドア 横断面図(主柱側寄せ仕様)



6 側面パネル断面図および主柱移動可能範囲

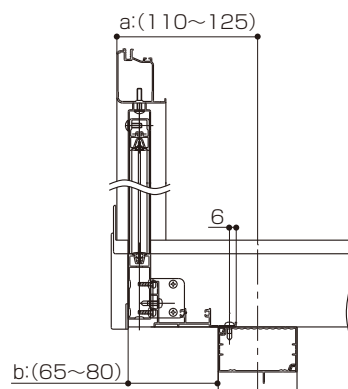
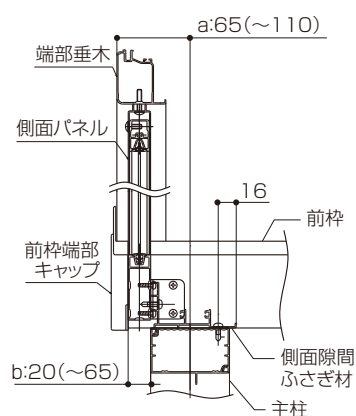
(1) F型

- ※ () 寸法は側面フレーム移動可能範囲
- ※ a寸法: 端部垂木外面 ~ 主柱芯
- ※ b寸法: 前枠外面 ~ 主柱外面



(2) R型

- ※ () 寸法は側面フレーム移動可能範囲
- ※ a寸法: 端部垂木外面 ~ 主柱芯
- ※ b寸法: 前枠外面 ~ 主柱外面



柱の位置出し

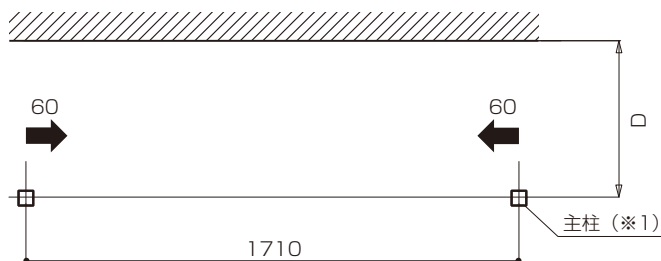
■単体 1.0間～2.0間

■1スクリーン仕様

※1 主柱移動可能範囲は60mmです。

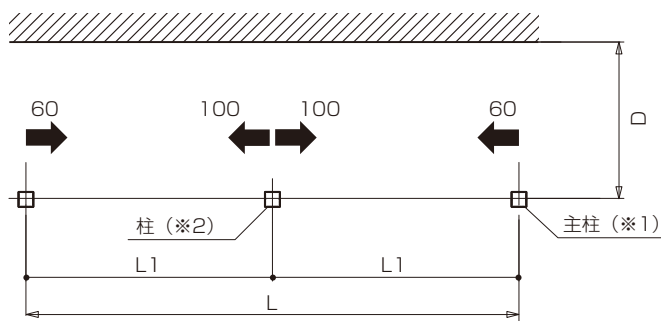
※2 柱移動可能範囲は、±100mmです。

(1) 1.0間



	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785

(2) 1.5間・2.0間



	1.5間	2.0間
L	2620	3530
L1	1310	1765

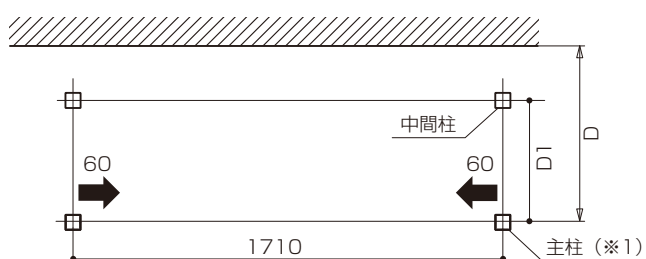
	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785

■2袖壁仕様

※1 主柱移動可能範囲は60mmです。

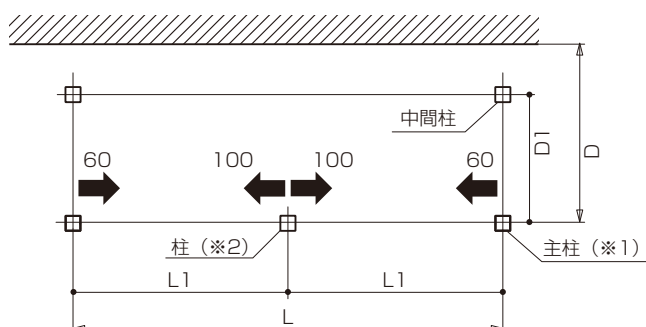
※2 柱移動可能範囲は、±100mmです。

(1) 1.0間



	4尺	5尺	6尺
D	1185	1485	1785
D1	315	615	915

(2) 1.5間・2.0間



	1.5間	2.0間
L	2620	3530
L1	1310	1765

	4尺	5尺	6尺
D	1185	1485	1785
D1	315	615	915

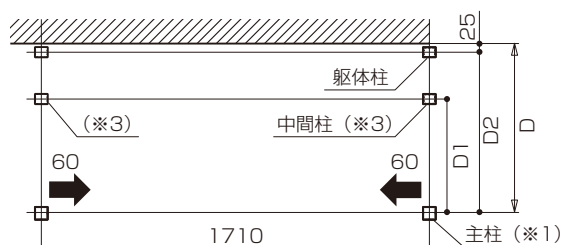
3 ヤード仕様

※1 主柱移動可能範囲は60mmです。

※2 スクリーン用中間柱移動可能範囲は、±100mmです。

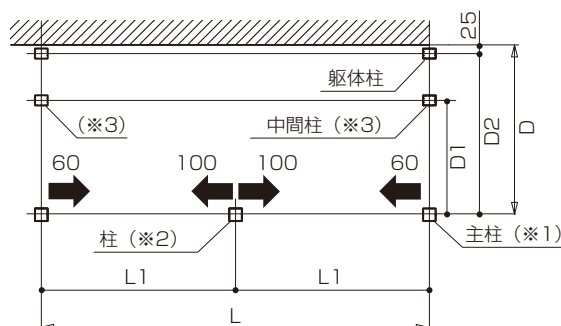
※3 中間柱は3尺の場合、使用しません。

(1) 1.0間



	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785
D1 ドア躯体側	—	315	615	915
D1 ドア主柱側寄せ	—	860	860	860
D2	860	1160	1460	1760

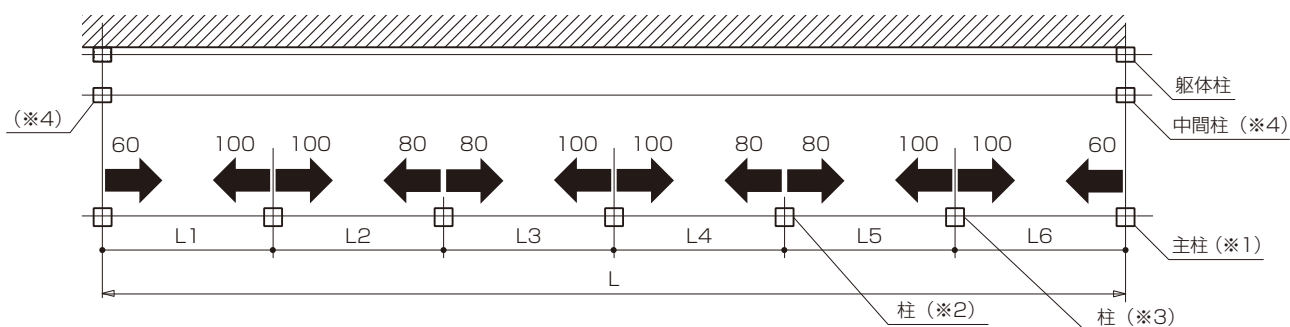
(2) 1.5間・2.0間



	1.5間	2.0間
L	2620	3530
L1	1310	1765

	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785
D1 ドア躯体側	—	315	615	915
D1 ドア主柱側寄せ	—	860	860	860
D2	860	1160	1460	1760

■連棟 2.5間～5.0間



間口	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間
組合せ	1.0+1.5	1.5+1.5	1.5+2.0	2.0+2.0	1.5+1.5+1.5	1.5+2.0+1.5
L	4440	5350	6260	7170	8080	8990
L1	1765	1337.5	1792.5	1792.5	1337.5	1337.5
L2	1365	1337.5	1792.5	1792.5	1337.5	1337.5
L3	1310	1337.5	1337.5	1792.5	1365	1820
L4	—	1337.5	1337.5	1792.5	1365	1820
L5	—	—	—	—	1337.5	1337.5
L6	—	—	—	—	1337.5	1337.5

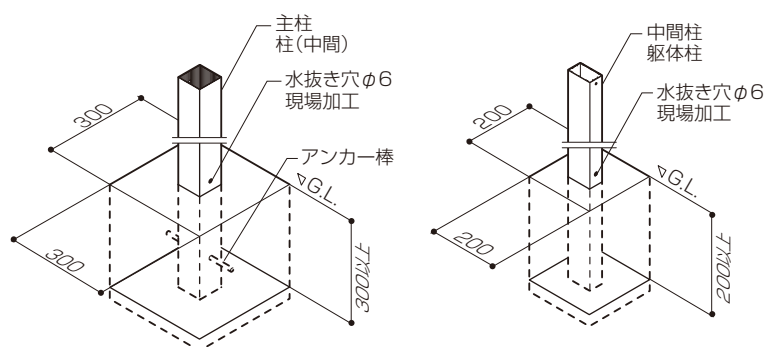
ポイント

- 側面の柱位置は単体の各仕様と同じです。
- 主柱の移動可能範囲は60mmです。(※1)
- 連棟部の柱移動可能範囲は、±80mmです。(※2) 連棟部以外の柱移動可能範囲は、±100mmです。(※3)
- 側面柱は3尺の場合、使用しません。(※4)

本体の施工

■テラス本体の施工

■1 柱の施工

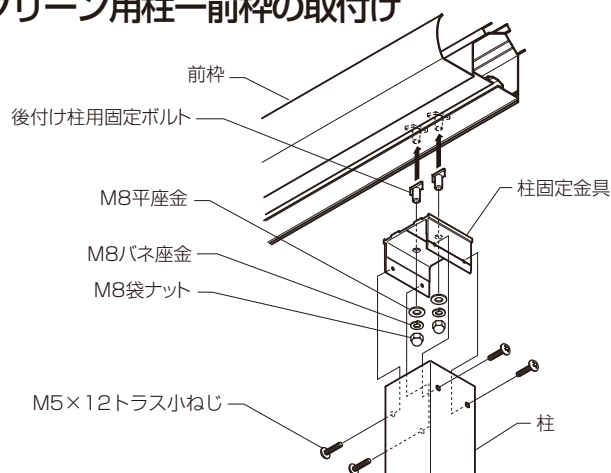


- ①「柱の位置出し」を参考に主柱、柱、中間柱、躯体柱の基礎穴を掘ってください。
- ②各柱にφ6の水抜き穴をあけてください。

ポイント

- テラスと主柱の標準位置が異なります。
- 基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水勾配をつけてください。

■2 スクリーン用柱—前枠の取付け



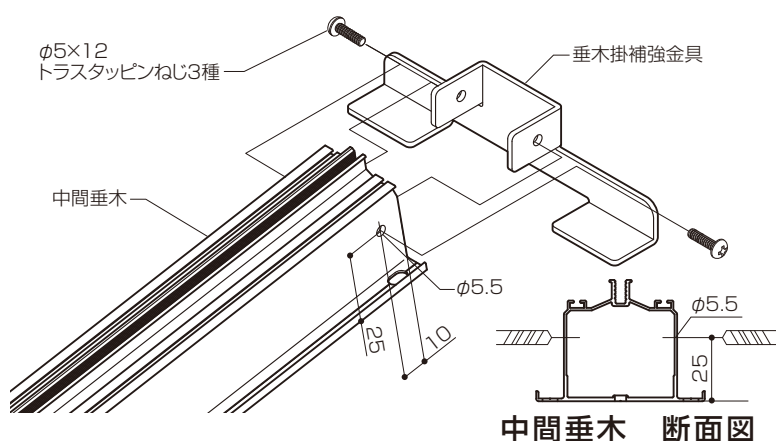
- ①柱固定金具と前枠を固定してください。
- ②柱固定金具と柱を固定してください。

補足

- テラス本体とスクリーン用柱を同時に施工する場合、スクリーン用柱は主柱と同様の取付けを行ってください。その時は、柱取付け裏板を使用してください。

■3 垂木掛補強金具の取付け

※ストックヤード1500タイプを施工する場合の作業です。



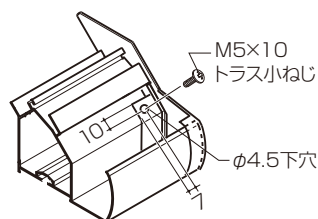
- ①中間垂木に垂木掛補強金具取付け用のφ5.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛補強金具を中間垂木に、取付けてください。

ポイント

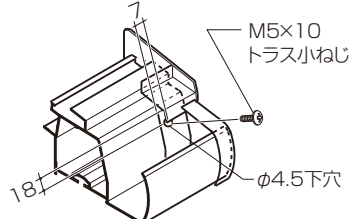
- 垂木掛補強金具に同梱のブランドラベルは「ブランドラベルの張付け」にしたがって、前枠に張付けてください。

■4 テラス本体の施工

【スピーネRの場合】



【スピーネFの場合】



- ①テラス取付け説明書を参照の上、テラス部を施工してください。
- ②側面ユニットを取付ける場合は前枠キャップのねじを取外し、図の位置にねじ止めしてください。

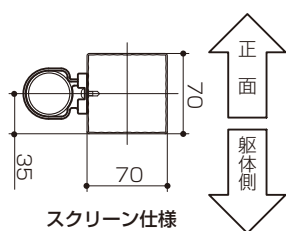
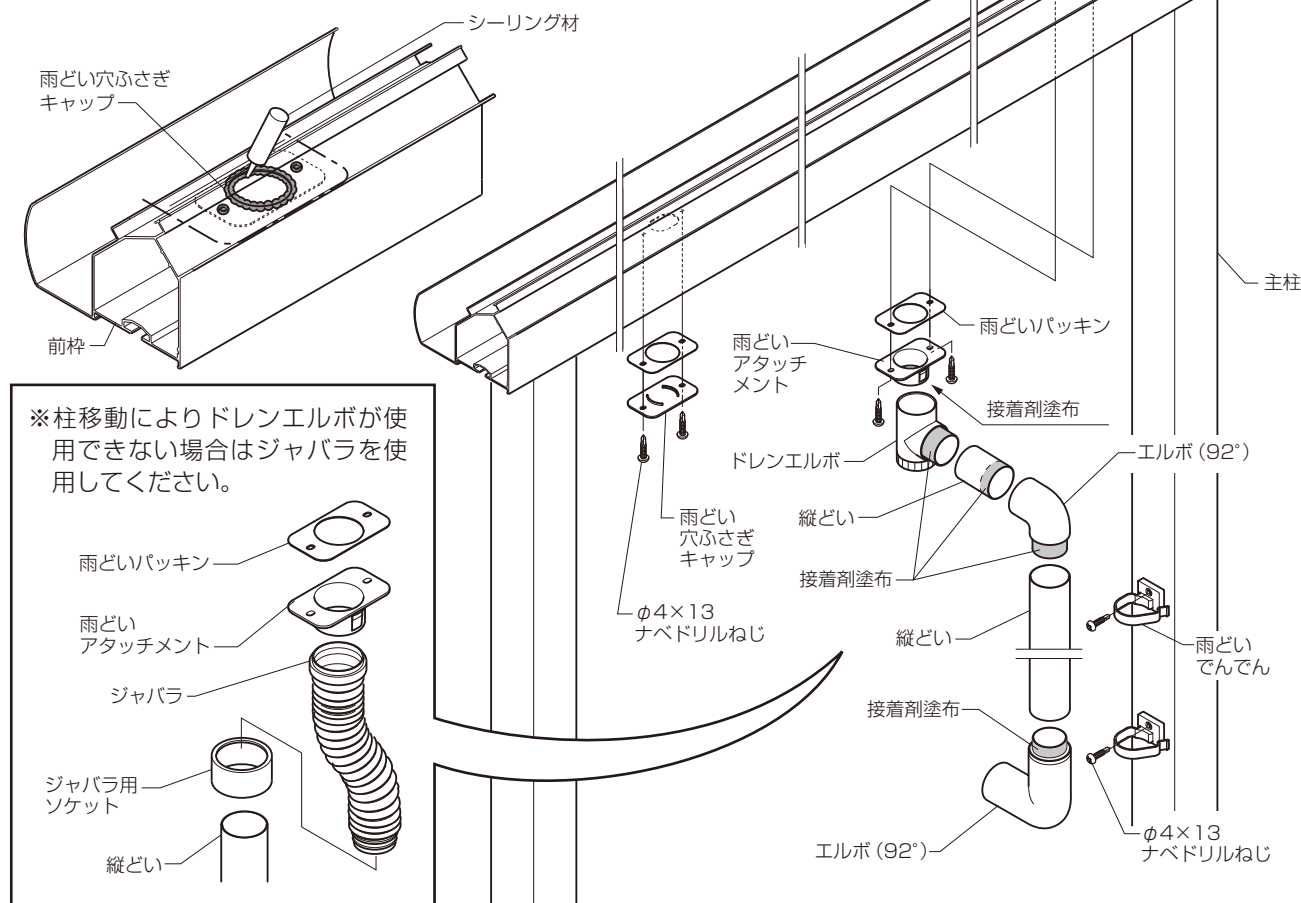
ポイント

- 雨どいの取付けは、本取説の「雨どいの取付け」を参照してください。

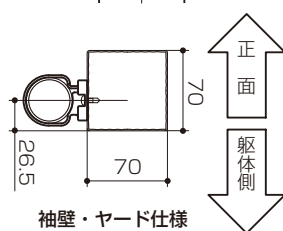
■正面部の取付け

①雨どいの取付け

※雨どい穴ふさぎキャップ取付け後、
図のようにシーリングしてください。



スクリーン仕様



袖壁・ヤード仕様

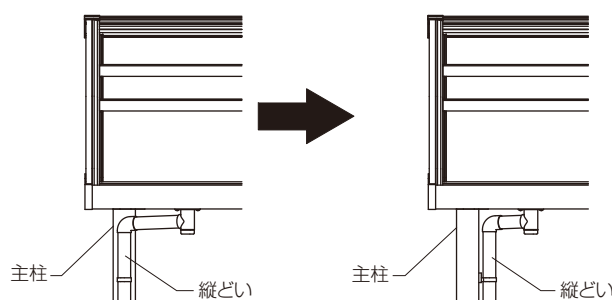
補足

●ジャバラセットはテラスの雨どい部品を使用してください。

●雨どいでんでん取付け位置(内観)

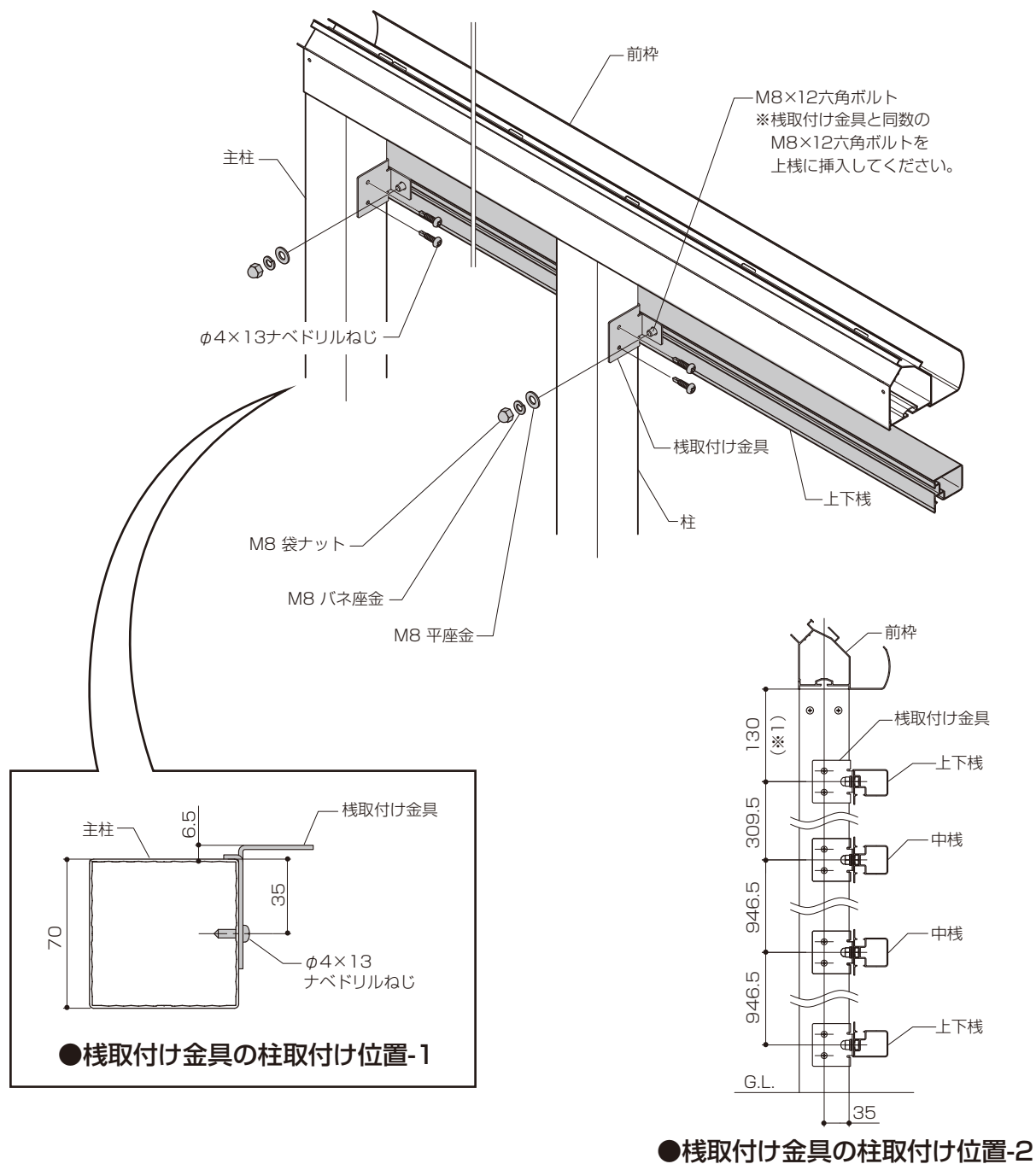
①主柱の側面に縦どいを取付けてください。

②縦どいの移動



①縦どいが主柱の正面（外側）に付いている場合は、主柱の側面に取付け直してください。

3 上下棧(上部)の柱への取付け

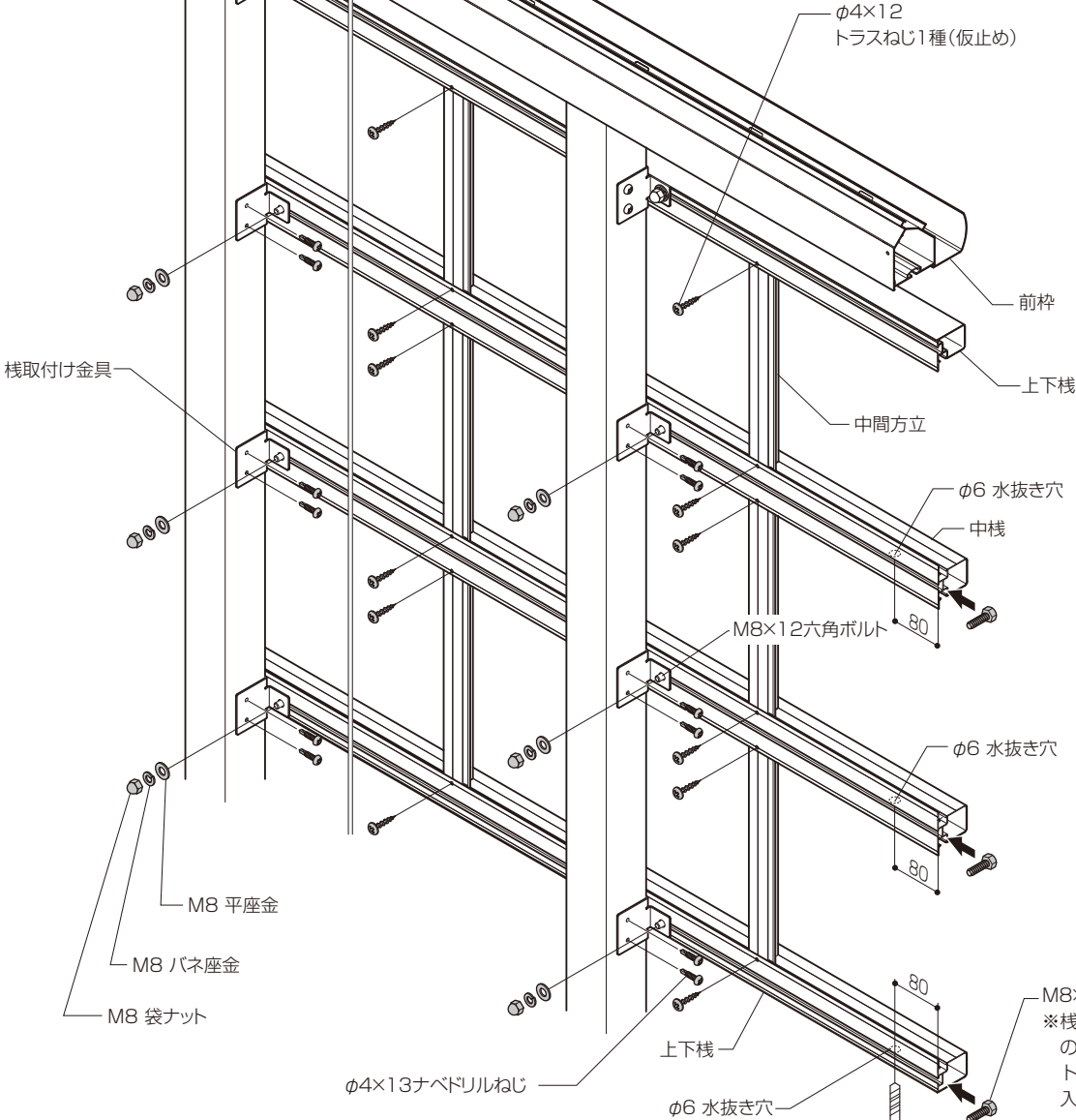


ポイント

- 棧取付け金具の取付け位置は、棧取付け金具の柱取付け位置-1、2を参照してください。
(※1) の寸法より、せまい位置に取付けると「前面スクリーンふさがり材の取付け」ができなくなります。
- 連棟部のみ、柱の両側に棧取付け金具を取付けます。

- ① 棧取付け金具を主柱と柱に、取付けてください。
- ② 上下棧を棧取付け金具に取付けてください。

4 中棧・上下棧の柱への取付け

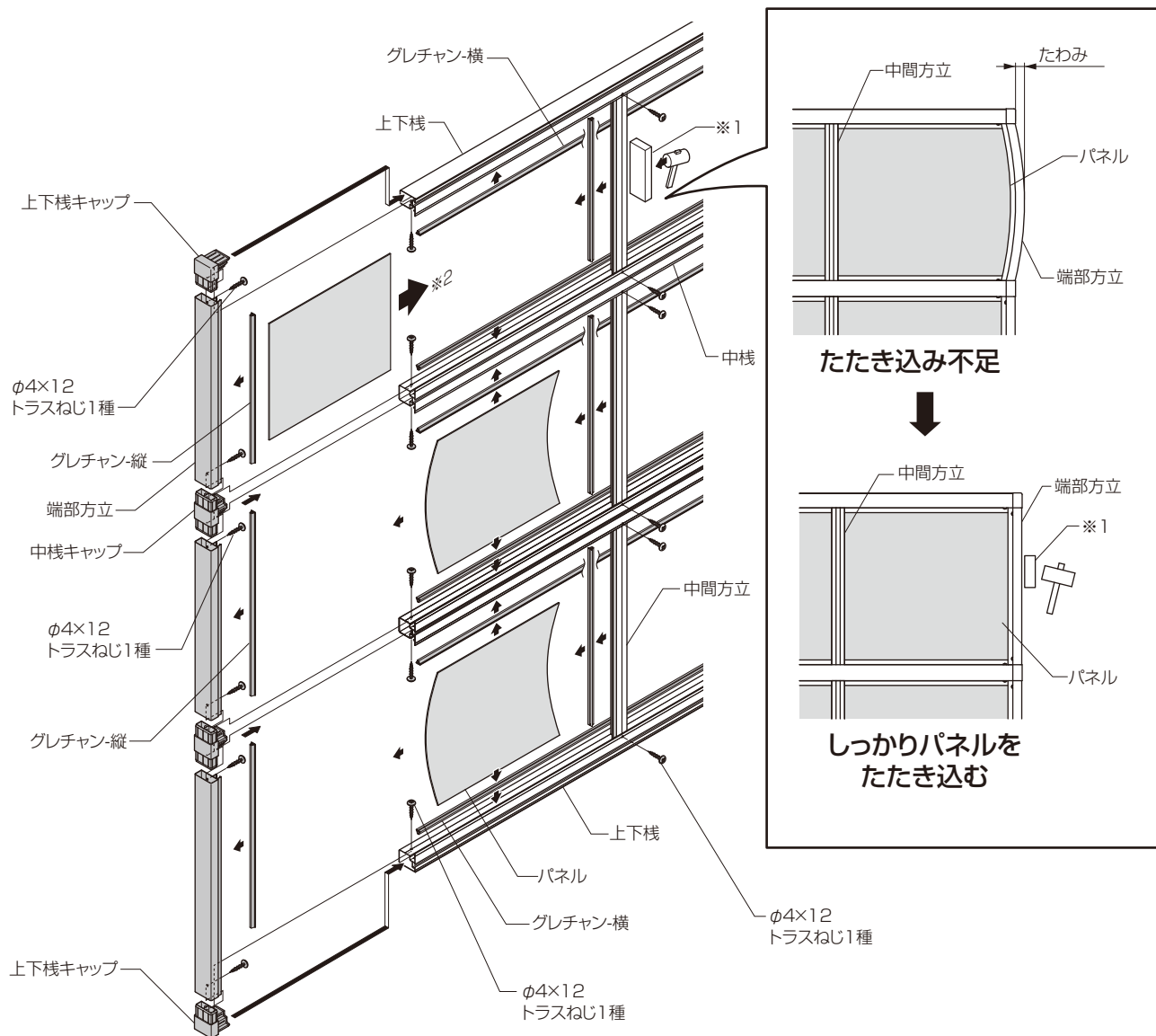


ポイント

- 連棟部のみ、柱の両側に栈取付け金具を取付けます。
- 取外した中間方立、取付けねじは再度使用します。

- ① 棧取付け金具を主柱と柱に、取付けてください。
- ② 上下棧（下部）左右の下面にφ6の水抜き穴をあけてください。
- ③ 中棧、上下棧を棧取付け金具に、仮固定してください。
- ④ 左右位置出しのため、上下棧・中棧に中間方立を仮止めしてください。
- ⑤ 柱と中間方立が重ならない場合は、本締めしてください。
- ⑥ 仮止めした中間方立を取外してください。

5 パネルの取付け



補足

- 間口サイズにより、方立が柱の裏になるため、そのままではねじ止めはできません。その場合は前面スクリーン全体を少し横（間口方向）へ、ずらすなどして取付けてください。

ポイント

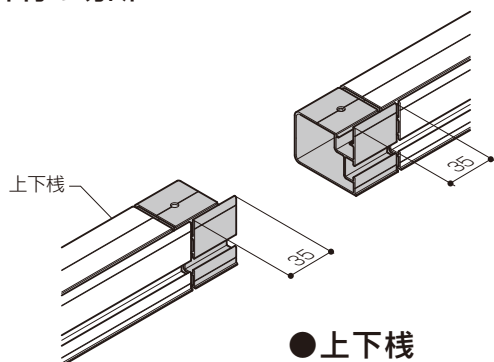
- 端部方立・中間方立はあて木などを使用して、しっかりパネルをたたき込んでください。
たたき込みが不足すると端部方立・中間方立がたわみ、パネルの耐風圧強度が低下するおそれがあります。（※1）
- パネルの表裏を確認してから取付けてください。

- ①中間方立を上下棧・中棧に、取付けてください。
- ②グレチャンを上下棧・中棧・中間方立に、取付けてください。
- ③上下棧キャップと中棧キャップを端部方立に、取付けてください。
- ④パネル最上段（3段目）の端部は、パネルを横からグレチャンに差込んで取付けてください。（※2）
- ⑤その他のパネルは、下側のグレチャンに差込み、パネルを縦に曲げた状態で上側のグレチャンに差込んで取付けてください。
- ⑥端部方立を上下棧・中棧に、取付けてください。

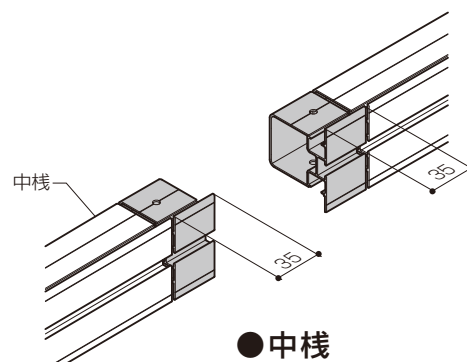
■連棟の取付け

1 連棟部の組立て

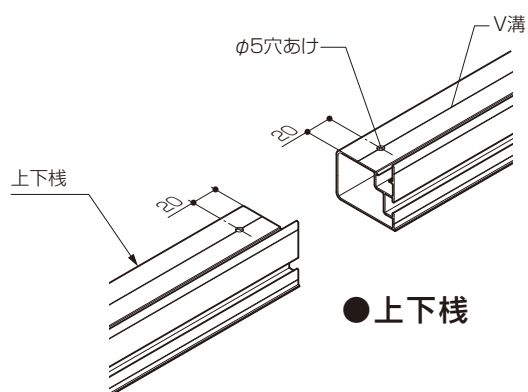
(1) 部材の切断



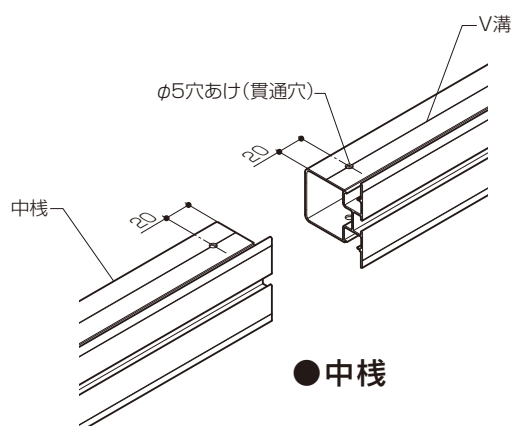
①上下棧、中棧を端から35mm切断してください。



(2) 部材の穴加工



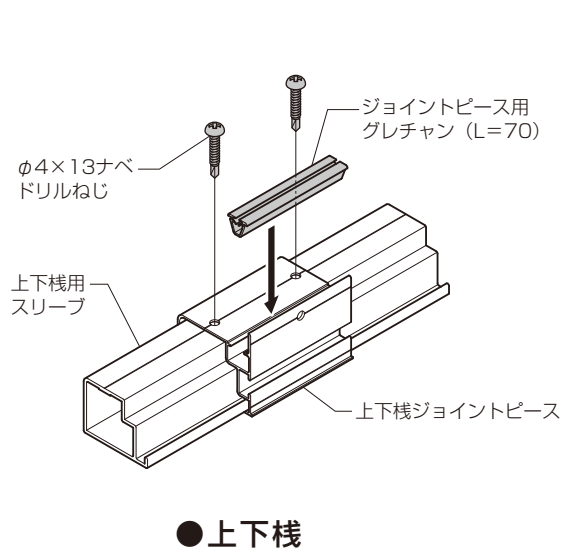
①上下棧、中棧の端から20mmの位置に穴をあけてください。



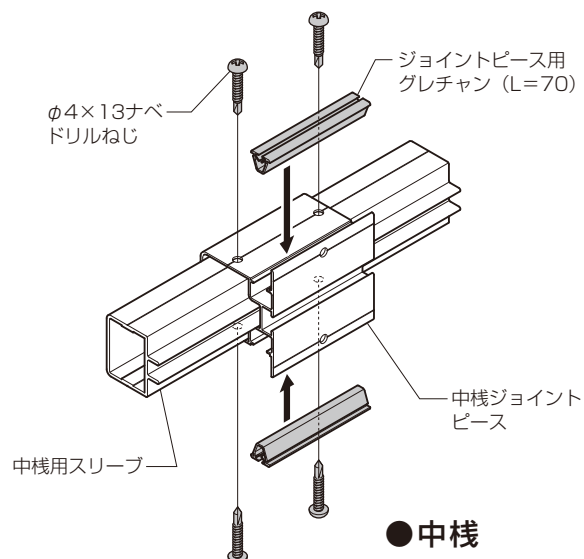
ポイント

●V溝をガイドにして穴加工をしてください。

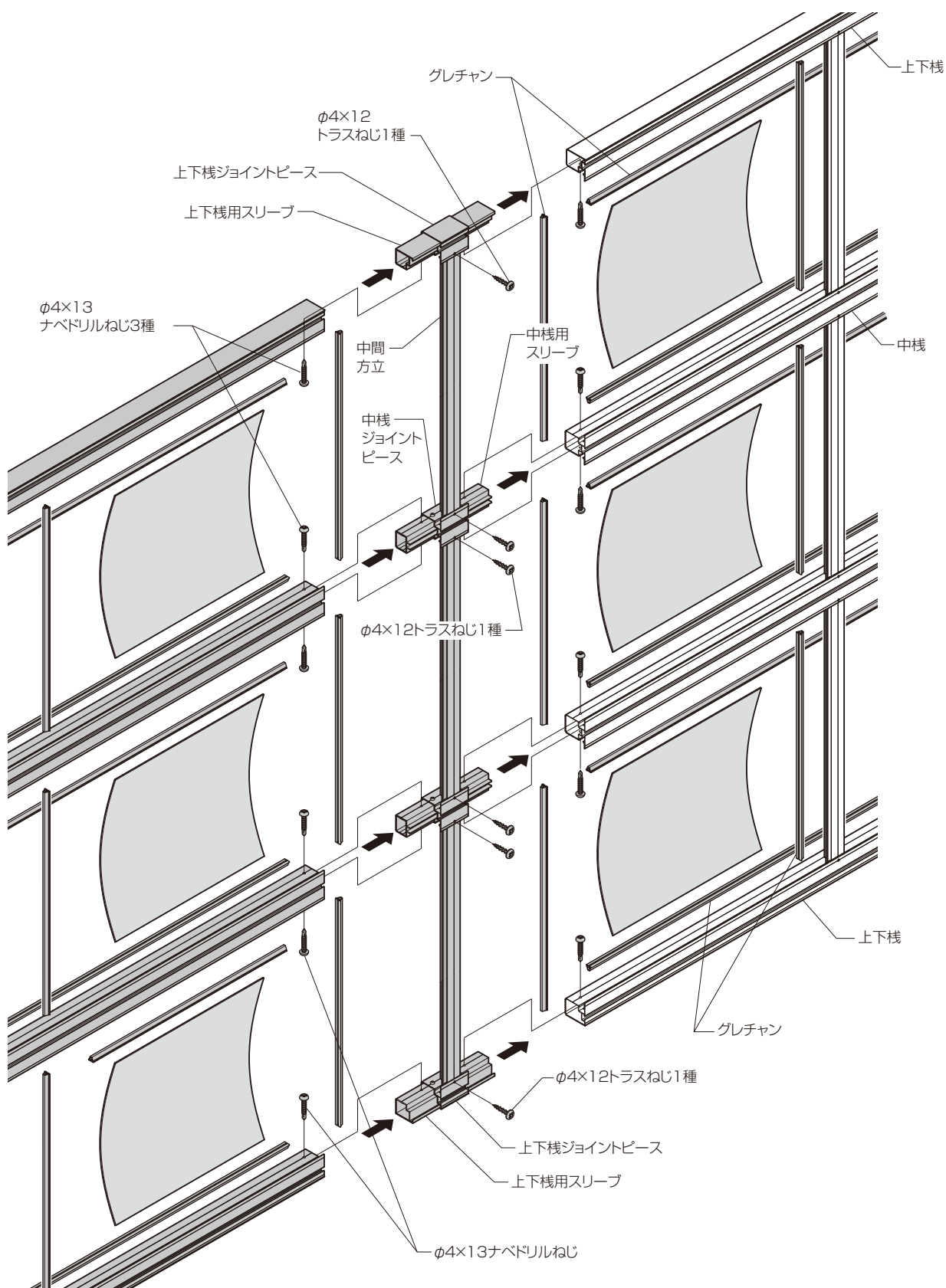
(3) ジョイントピースの取付け



①上下棧、中棧を各棧ジョイントピースに差込み、固定してください。



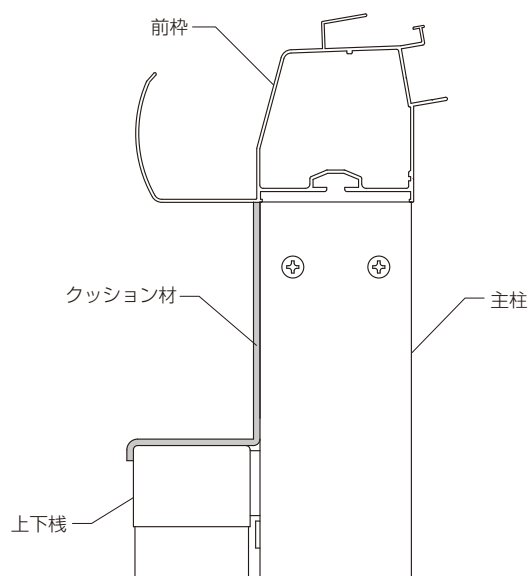
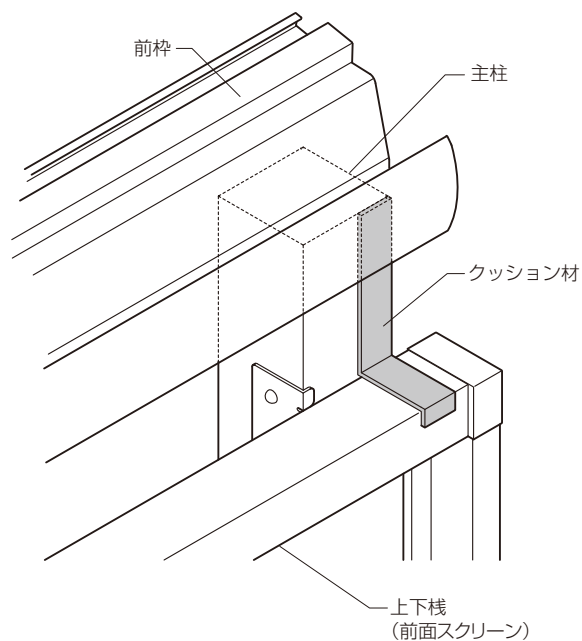
2 各連結部の取付け



- ① 上下棧・中棧ジョイントピースを中間方立に、取付けてください。
- ② 中間方立にグレチャンを取付けてください。
- ③ 上下棧・中棧ジョイントピースを、パネルをはめ込んだ棧に、取付けてください。

■前面スクリーンふさぎ材の取付け

1 クッション材の取付け

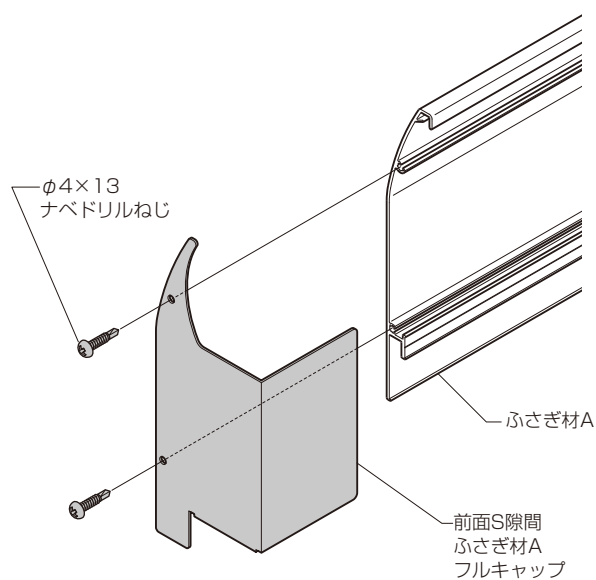


ポイント

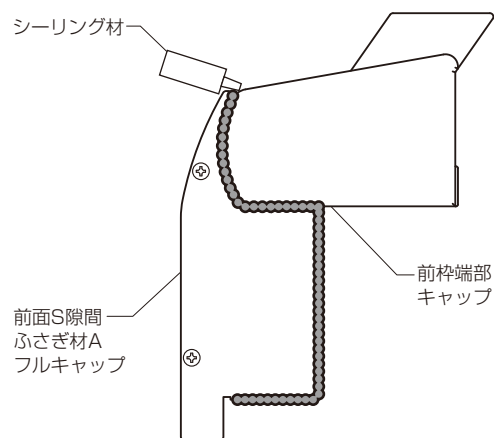
●主柱の外側側に合わせてクッション材を張付けてください。

①クッション材を前枠下から主柱、上下棧に張付けてください。

2 前面スクリーン隙間ふさぎ材Aフルキャップの取付け

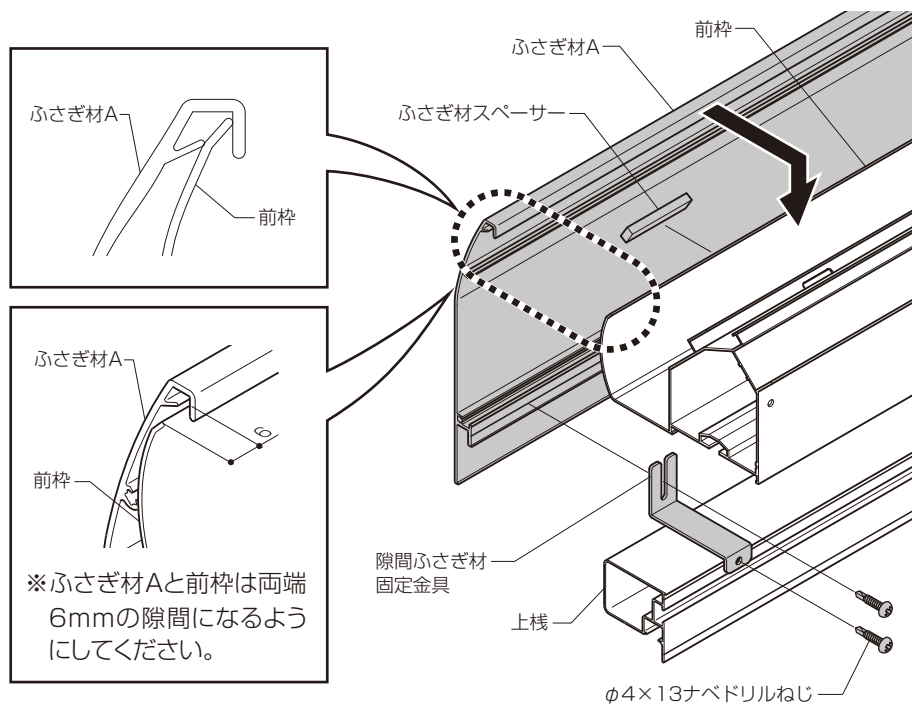


■シーリング位置



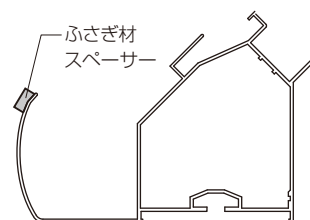
- ①ふさぎ材Aを前面S隙間ふさぎ材Aフルキャップに、取付けてください。
- ②前面スクリーンふさぎ材の取付け完了後、シーリングしてください。

3 前面スクリーンふさぎ材の取付け



■ふさぎ材スペーサー張付け位置

※前枠の長さから両端1/3の位置に2カ所張付けてください。

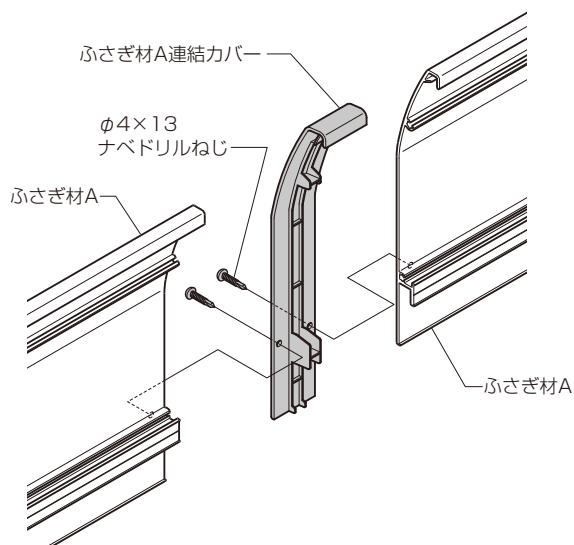


ポイント

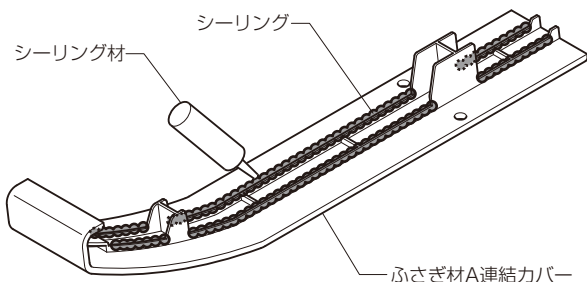
- 隙間ふさぎ材固定金具は1.0間～1.5間は4個、2.0間は6個取付きます。柱の位置を避けて、なるべく等間隔で取付けてください。

- ①隙間ふさぎ材固定金具を上棧に、取付けてください。
- ②ふさぎ材スペーサーを前枠に張付けてください。
- ③ふさぎ材Aを前枠に引っかけ、ふさぎ材Aと隙間ふさぎ材固定金具を固定してください。

4 前面スクリーンふさぎ材・連棟部の組立て



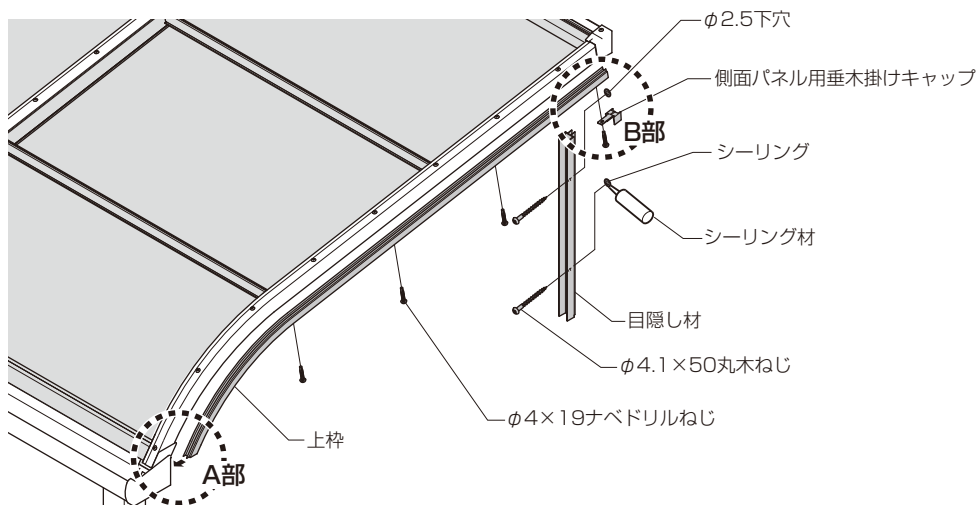
■シーリング位置



- ①ふさぎ材A連結カバーにシーリングしてください。
- ②ふさぎ材Aをふさぎ材A連結カバーに差込み、固定してください。

■側面ランマパネルの取付け

1 側面ランマパネル上枠・目隠し材の取付け

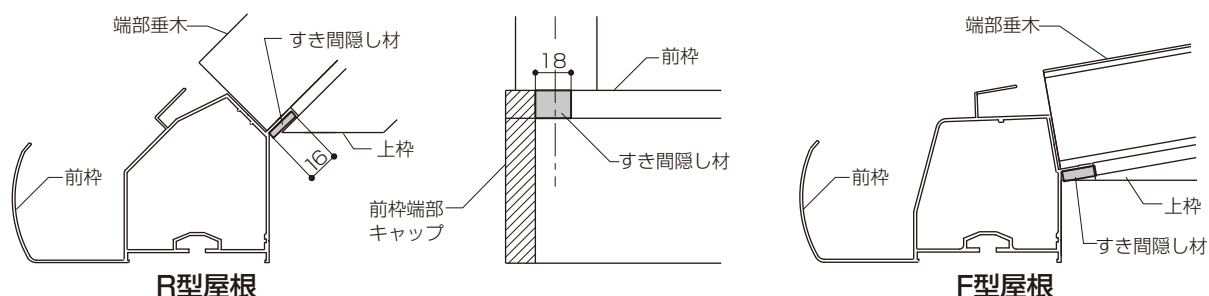


ポイント

- すき間隠し材を張付けた後、上枠を取付けてください。
- R型屋根はフィンと切欠きを突き当ててください。
- F型屋根はフィンと切断面を突き当ててください。

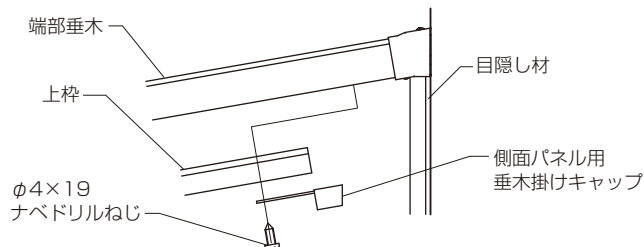
(1) すき間隠し材張付け位置

■A部詳細図



(2) 側面パネル用垂木掛けキャップの取付け

■B部詳細図



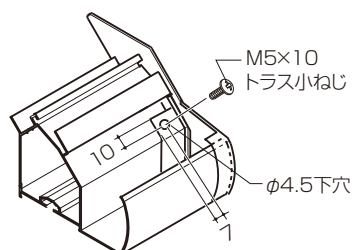
ポイント

- 目隠し材を垂木掛けに突き当てた後、固定してください。
- 側面パネル用垂木掛けキャップは目隠し材を取付けた後、前後調整しますので、ねじは仮止めしてください。
- 側面パネル用垂木掛けキャップはテープで上枠に仮止めしてください。

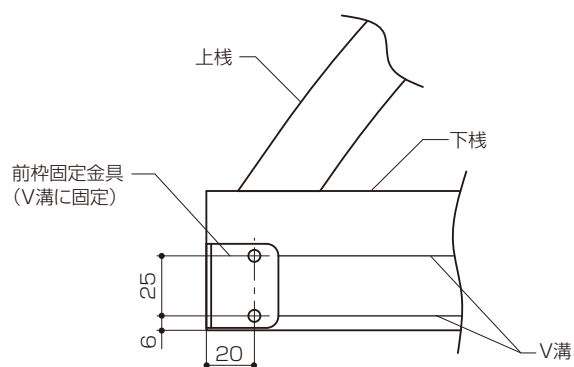
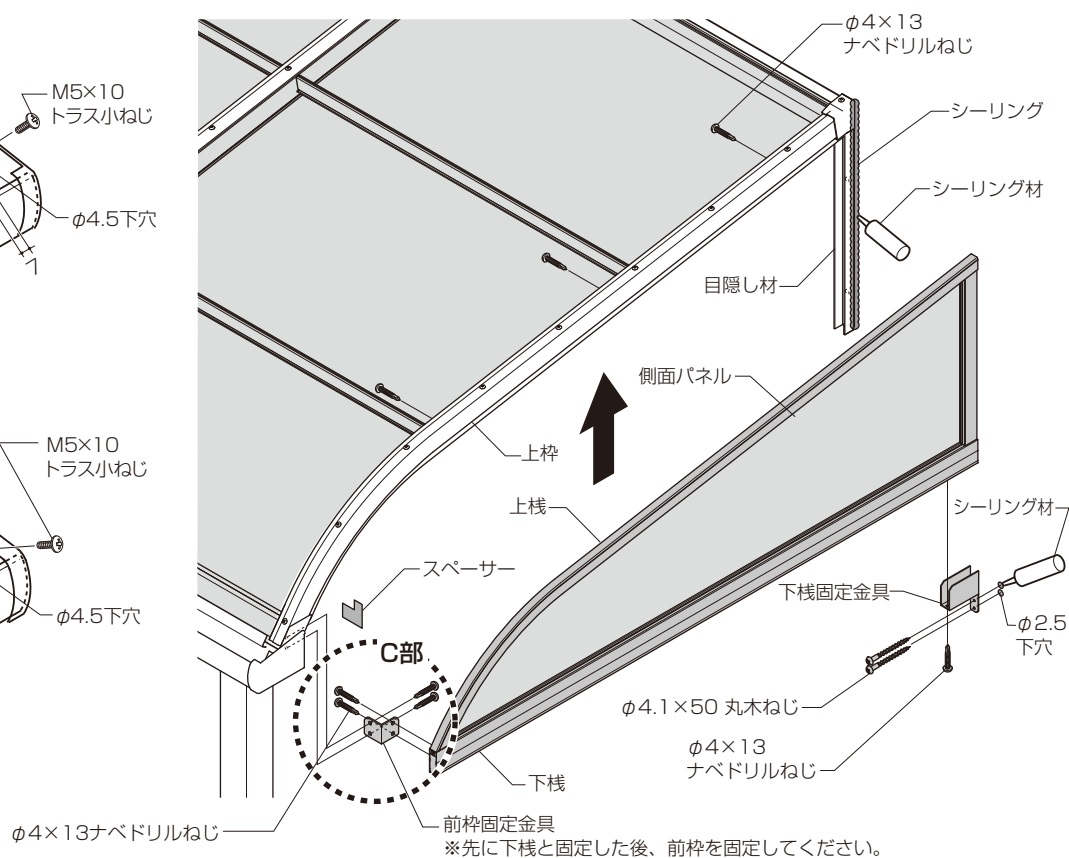
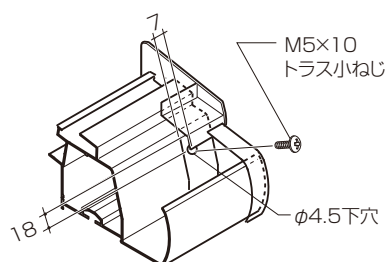
- ①目隠し材の取付位置を確認し、躯体にφ2.5の下穴をあけてください。
- ②躯体の穴にシーリングをして目隠し材を躯体に、取付けてください。
- ③前枠にすき間隠し材を張付け、端部垂木に、上枠、側面パネル用垂木掛けキャップを取付けてください。

2 側面ランマパネルの取付け

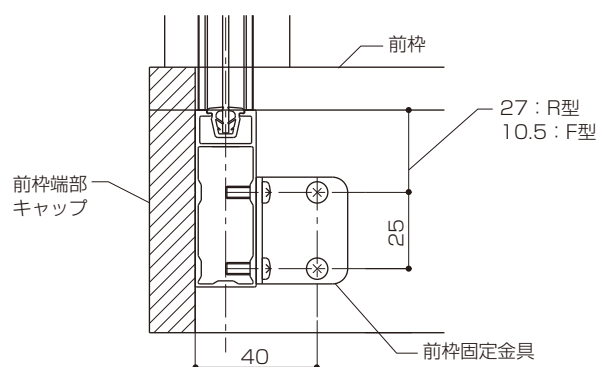
●スピーネRの場合



●スピーネFの場合



●C部詳細図



●C部納まり図

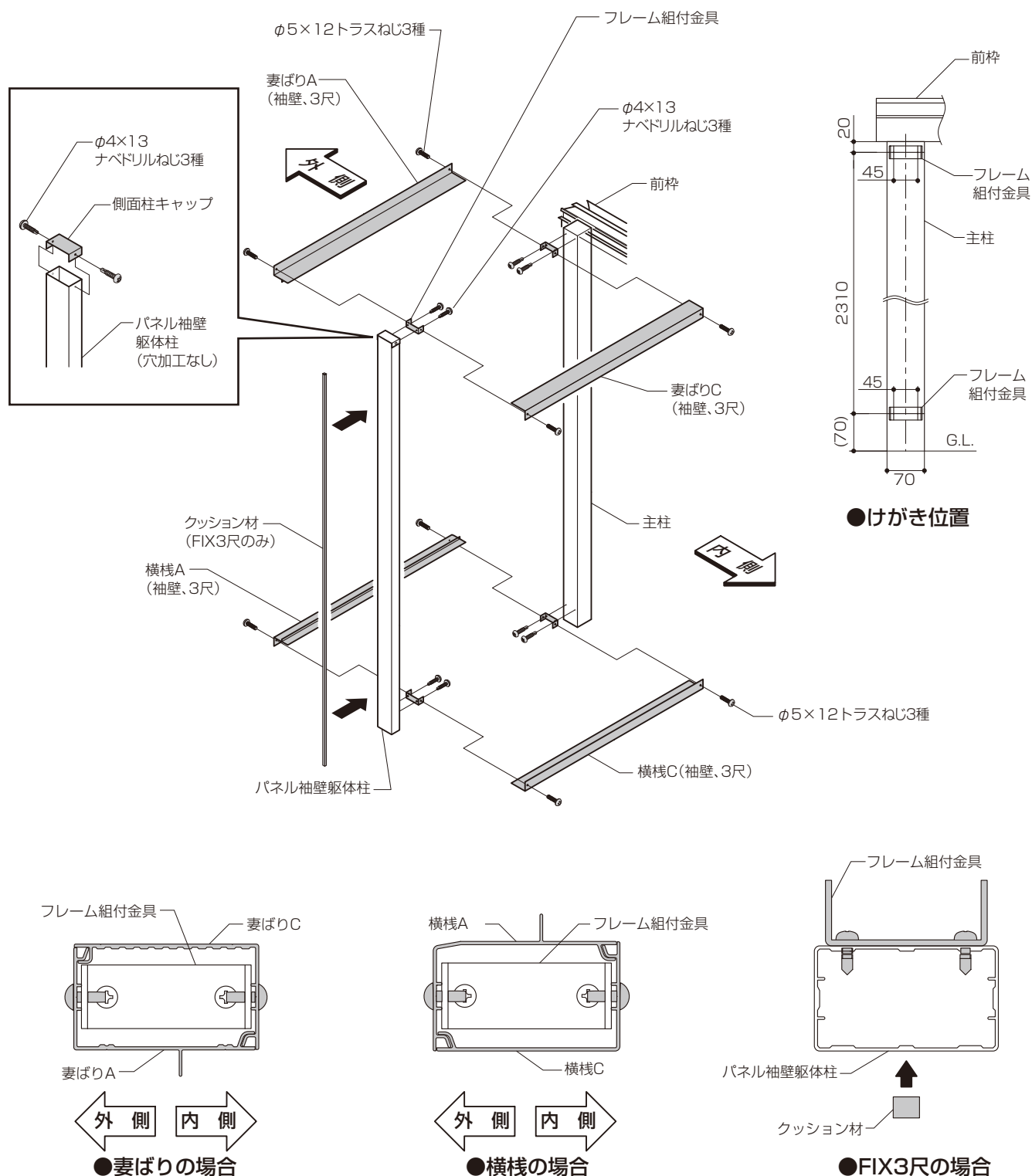
ポイント

- F型屋根の場合、側面ランマパネルを取付ける前に前枠端部キャップのねじを取外し、図の位置にねじ止めしてください。

- ①下枠固定金具の取付け位置を確認し、躯体にφ2.5の穴をあけてください。
- ②側面パネルが目隠し材にあたる位置にシーリングしてください。
- ③前枠固定金具と下枠固定金具を側面パネルの下枠に、取付けてください。
- ④前枠固定金具を前枠に、取付けてください。
- ⑤側面パネル上枠と上枠を固定してください。
- ⑥躯体の穴にシーリングをして下枠固定金具を躯体に、取付けてください。

■側面ユニット・フレームの取付け

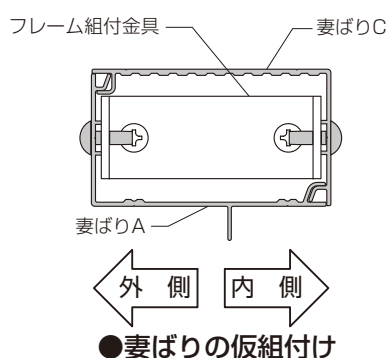
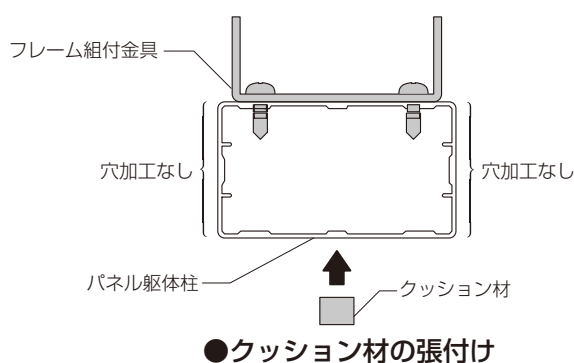
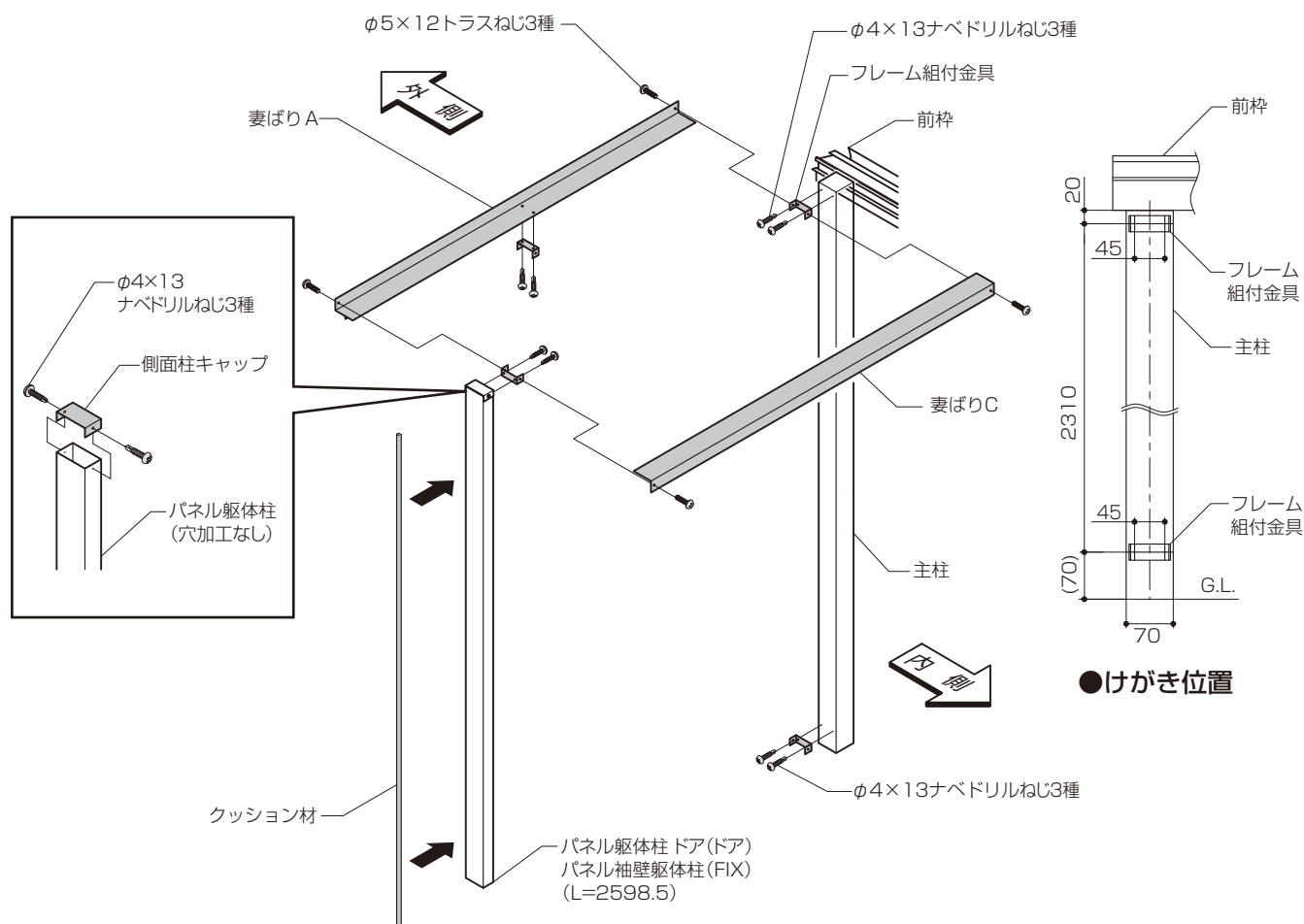
■1袖壁4・5・6尺、FIX3尺(ヤード仕様)フレームの取付け



本体の施工

- ①主柱にフレーム組付金具取付け位置のけがきを行ってください。
- ②フレーム組付金具を主柱、パネル袖壁躯体柱の上下に取付けてください。
- ③側面柱キャップをパネル袖壁躯体柱に取付けてください。下穴はありません。
- ④FIX3尺の場合のみ、クッション材をパネル袖壁躯体柱の躯体面に張付けてください。
- ⑤妻ばりA (袖壁、3尺)、妻ばりC (袖壁、3尺)をフレーム組付金具に仮組付けしてください。
- ⑥横棧A (袖壁、3尺)、横棧C (袖壁、3尺)をフレーム組付金具に取付けてください。

2 FIX 3尺、ドア(ヤード仕様)フレームの取付け



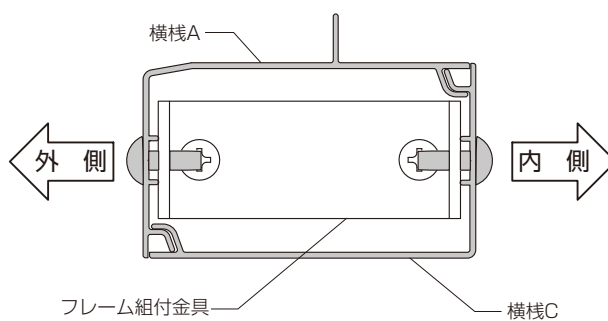
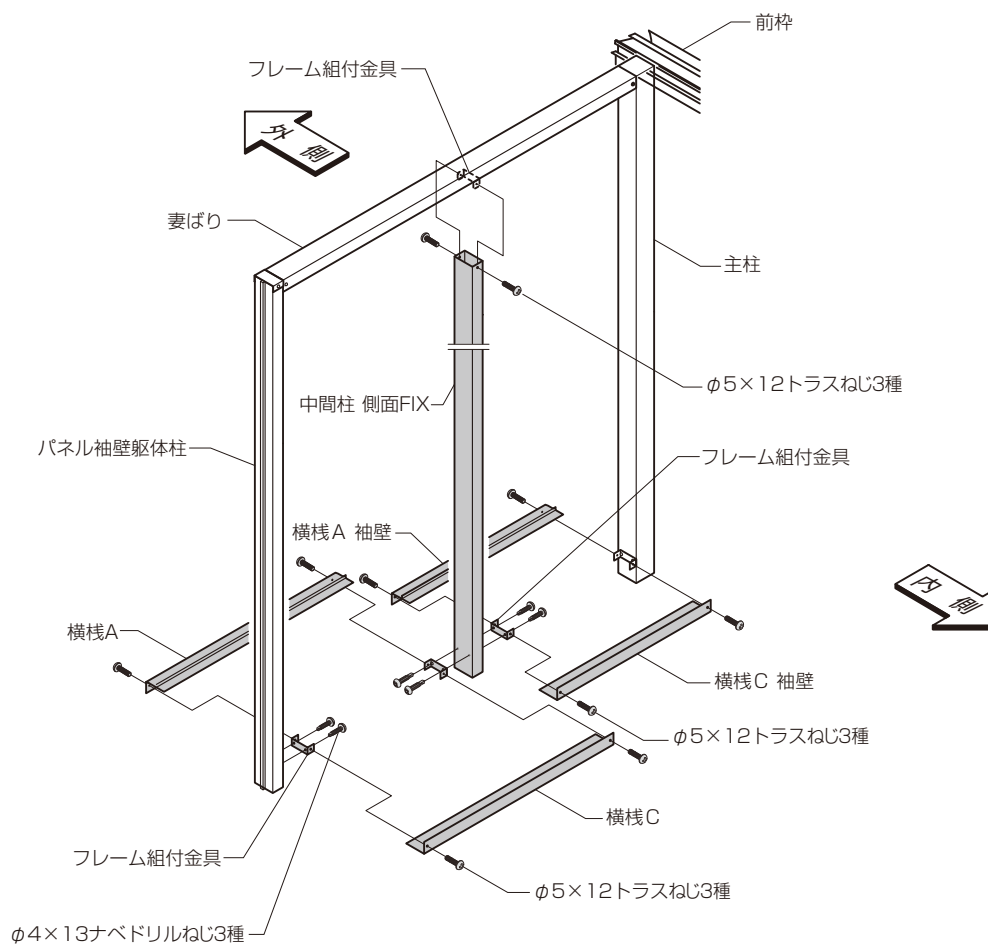
ポイント

●同梱のパネル躯体柱と中間柱 側面FIXまたは中間柱 ドアは長さが異なります。長い方(2598.5mm)がパネル躯体柱です。

- ①主柱にフレーム組付金具取付け位置のけがきを行ってください。
- ②フレーム組付金具を主柱、パネル躯体柱・妻ばりAに取付けてください。
- ③側面柱キャップをパネル躯体柱に取付けてください。下穴はありません。
- ④クッション材をパネル躯体柱の躯体面に張付けてください。
- ⑤妻ばりA、妻ばりCをフレーム組付金具に仮組付けしてください。

※FIXフレームは「3 FIX(ヤード仕様)フレームの取付け」へ、ドアフレームは「4 ドア(ヤード仕様)フレームの取付け」に進んでください。

3 FIX 4～6尺(ヤード仕様)フレームの取付け



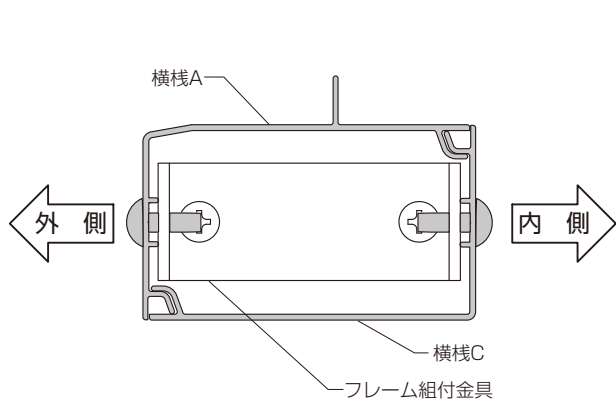
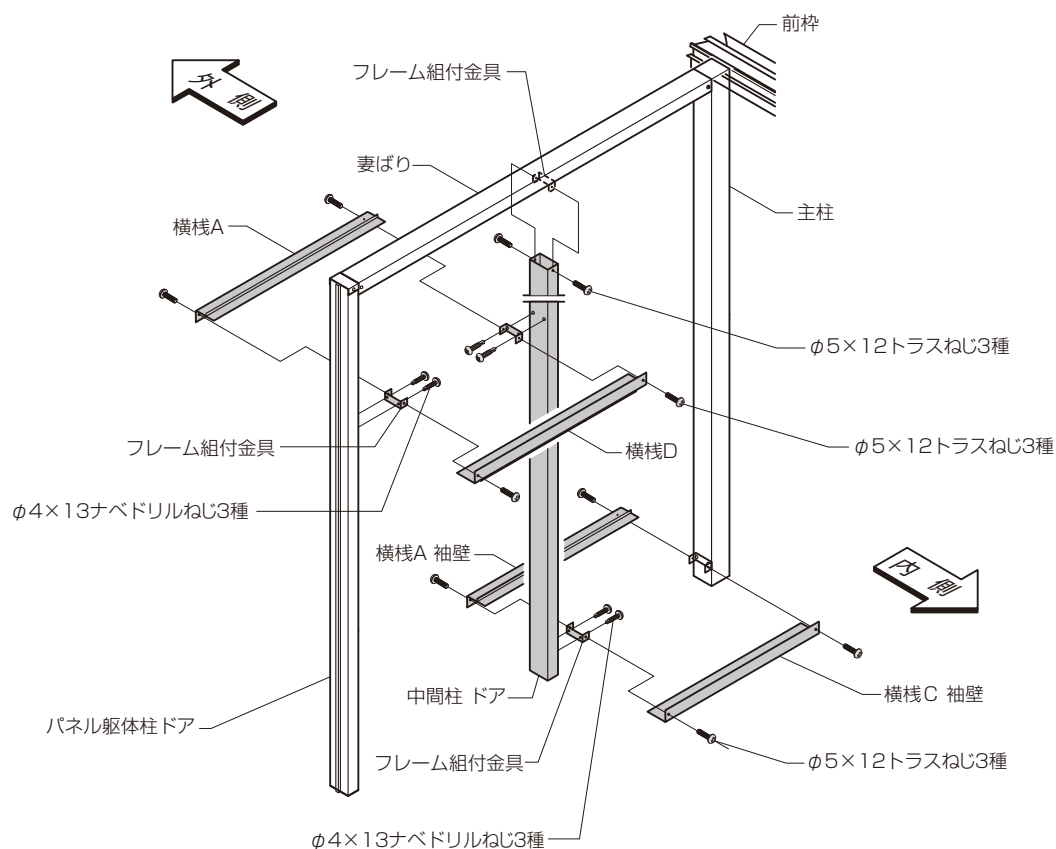
●横棧の取付け

- ①フレーム組付金具を中間柱 側面FIX、パネル袖壁躯体柱に取付けてください。
- ②中間柱 側面FIXを妻ばりの下面に取付けたフレーム組付金具に取付けてください。
- ③横棧A 袖壁、横棧C 袖壁をフレーム組付金具に取付けてください。
- ④横棧A、横棧Cをフレーム組付金具に取付けてください。

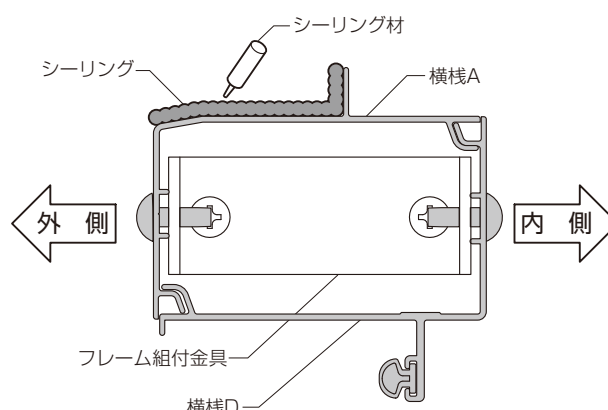
4 ドア(ヤード仕様)フレームの取付け

※図はドア躯体側寄せ仕様の場合を示します。

ドア主柱側寄せ仕様の場合はドア位置が異なりますのでご注意ください。



●横桟の取付け



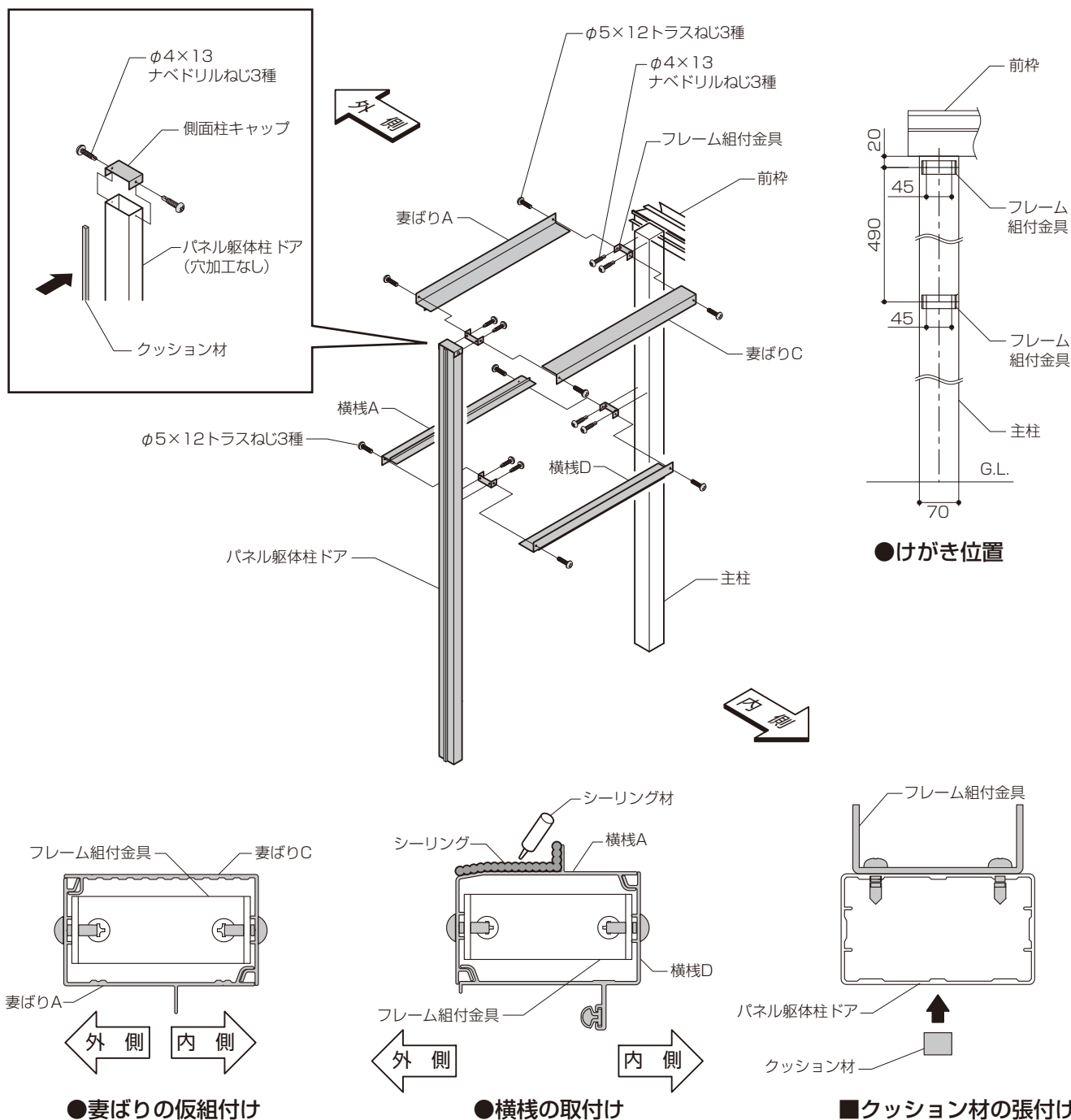
●横桟の取付けとシーリング

ポイント

●「本製品の施工について 11 シーリング処理」のC部詳細図を参照してください。

- ① フレーム組付金具を中間柱 ドア、パネル躯体柱 ドアに取付けてください。
- ② 中間柱 ドアを妻ばりの下面に取付けたフレーム組付金具に取付けてください。
- ③ 横桟A 袖壁、横桟C 袖壁をフレーム組付金具に取付けてください。
- ④ 横桟A、横桟Dをフレーム組付金具に取付けてください。
- ⑤ 横桟と柱との接続部をシーリングしてください。

5 ドア3尺(ヤード仕様)フレームの取付け



本体の施工

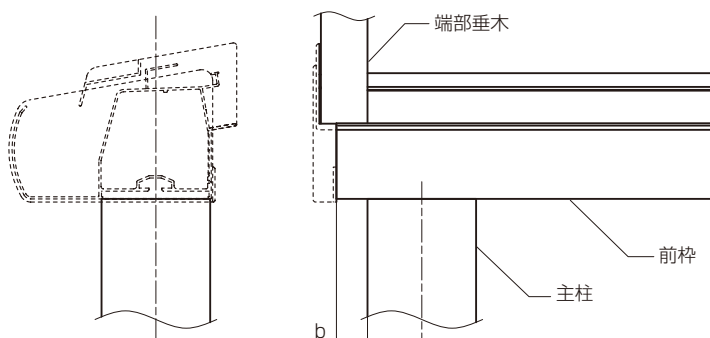
ポイント

●「本製品の施工について 1 シーリング処理」のC部詳細図を参照してください。

- ①主柱にフレーム組付金具取付け位置のけがきを行ってください。
- ②フレーム組付金具を主柱、パネル躯体柱 ドアに取付けてください。
- ③側面柱キャップをパネル躯体柱 ドアに取付けてください。下穴はありません。
- ④クッション材をパネル躯体柱 ドアの躯体面に張付けてください。
- ⑤妻ばりA、妻ばりCをフレーム組付金具に仮組付けしてください。
- ⑥横棧A、横棧Dをフレーム組付金具に取付けてください。
- ⑦横棧と柱との接続部をシーリングしてください。

6 袖壁フレーム・側面隙間ふさぎ材の取付け準備

※図は内観左・F型の場合を示します。



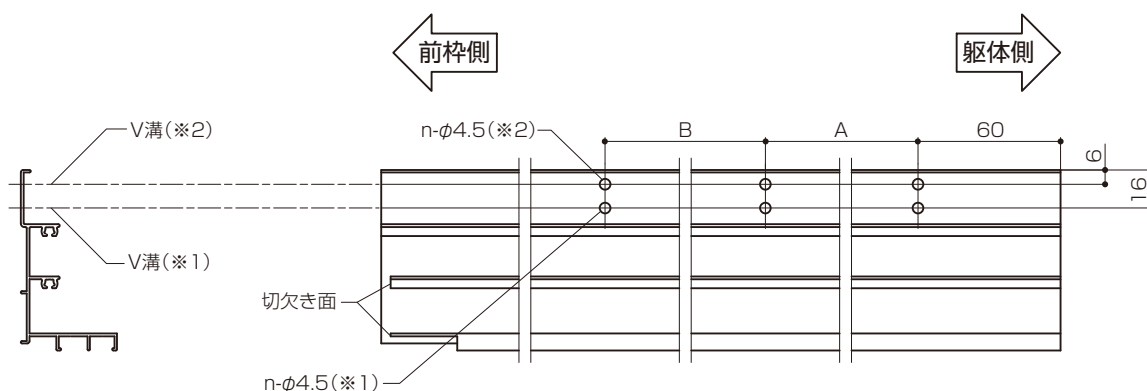
ポイント

●「6 側面パネル断面図および主柱移動可能範囲」(P.19)を参照してください。

※b寸法:前枠外面～主柱外面

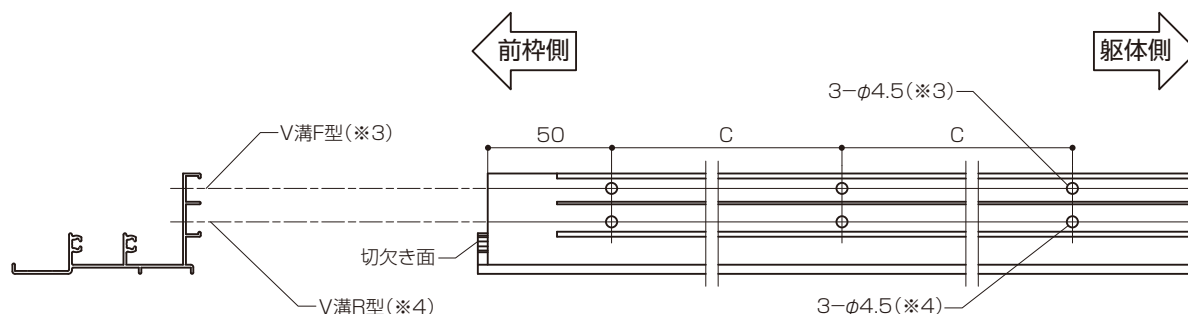
b寸法	穴加工V溝
20～65	V溝 (※1)
65～80	V溝 (※2)

①側面隙間ふさぎ材の取付け穴加工位置は、b寸法およびテラス屋根(F型、R型)により異なりますので、b寸法を確認の上、下記の加工指示に従って穴加工してください。



	A	B	n
4尺	90	—	2
5尺	195	195	3
6尺	345	345	3

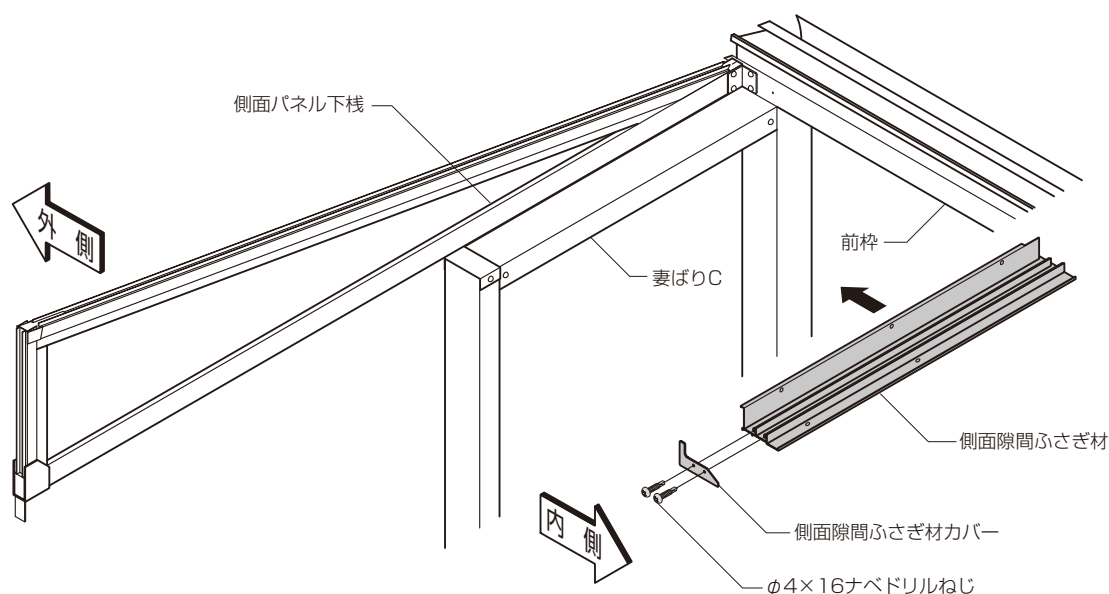
②b寸法・穴加工V溝の表を確認の上、V溝にφ4.5の穴加工をしてください。



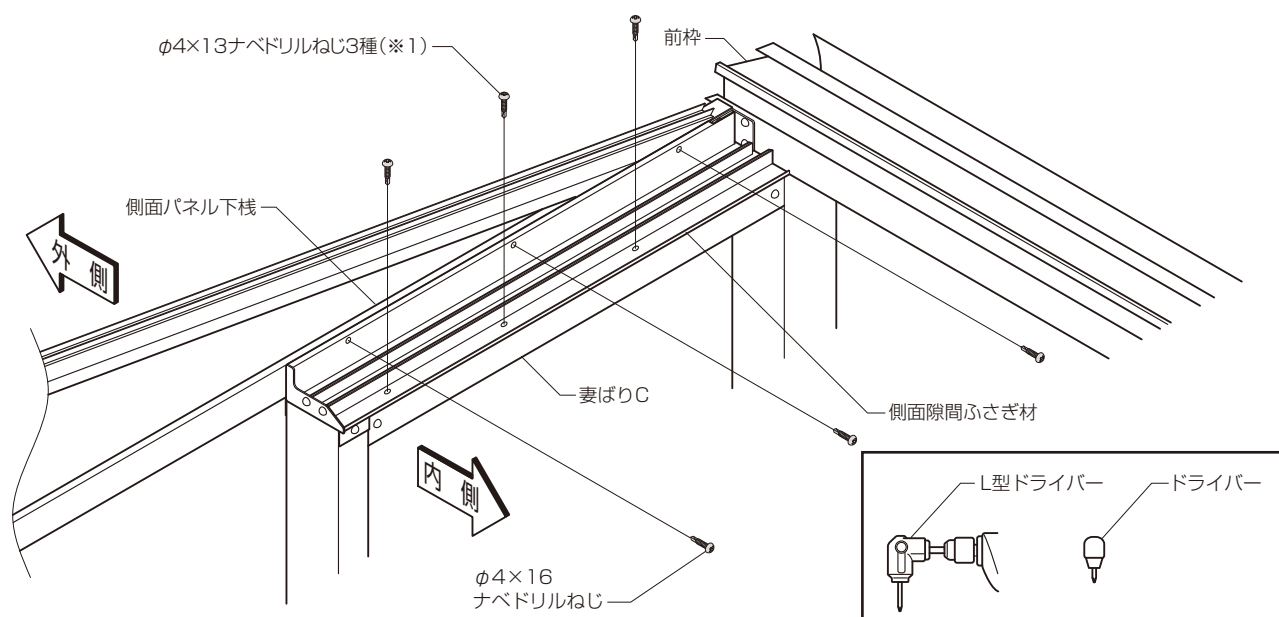
	C
4尺	100
5尺	250
6尺	400

③テラス屋根形状F型(※3)・R型(※4)を確認の上、V溝にφ4.5の穴加工をしてください。

7 袖壁フレーム・側面隙間ふさぎ材の取付け



- ①側面隙間ふさぎ材カバーを側面隙間ふさぎ材の端部に切欠きの無い面に、取付けてください。
- ②側面隙間ふさぎ材を妻ばりCの上に乘せて、前枠・側面パネル下棧に突き当て納まりを確認してください。



ポイント

- 「シーリング処理の1F型、2R型の図」(P.4)を参照してください。

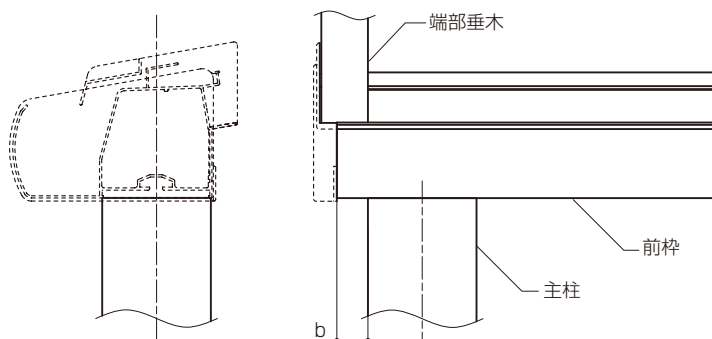
補足

- ねじの取付けは、L型ドライバーをご使用ください。(※1)
- その他のドライバーで取付ける場合は、妻ばりCの天面に側面隙間ふさぎ材の穴位置にけがきを行ってください。妻ばりCを取外してφ3の下穴を加工し、元の位置に組付けた後、短めのドライバーで側面隙間ふさぎ材を取付けてください。(※1)

- ③側面隙間ふさぎ材を妻ばりCに乗せ、前枠・側面パネル下棧に突き当て、側面パネル下棧に取付けた後、妻ばりCに取付けてください。
- ④側面隙間ふさぎ材と妻ばり部分をシーリングしてください。

8FIX、ドアフレーム(ヤード仕様)側面隙間ふさぎ材の取付け準備

※図は内観左・F型の場合を示します。



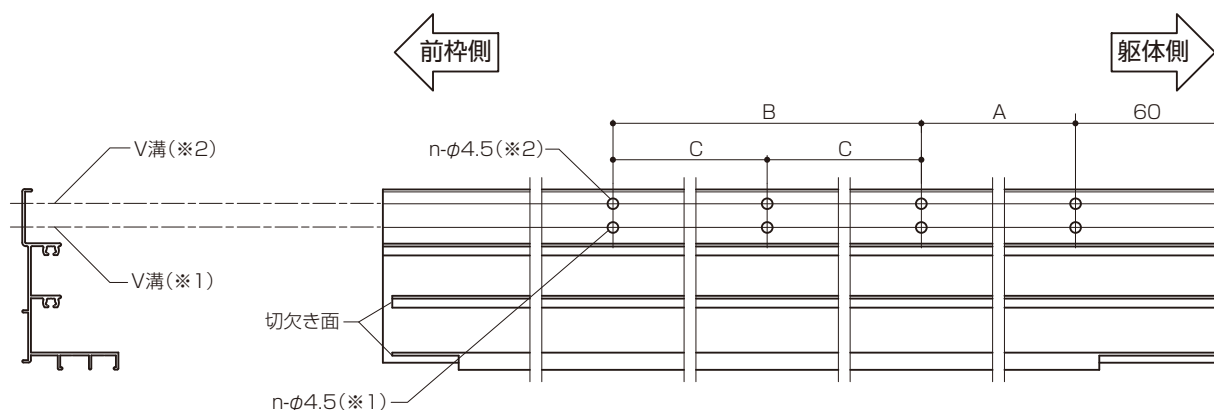
ポイント

●「6側面パネル断面図および主柱移動可能範囲」(P.19)を参照してください。

※b寸法:前枠外面～主柱外面

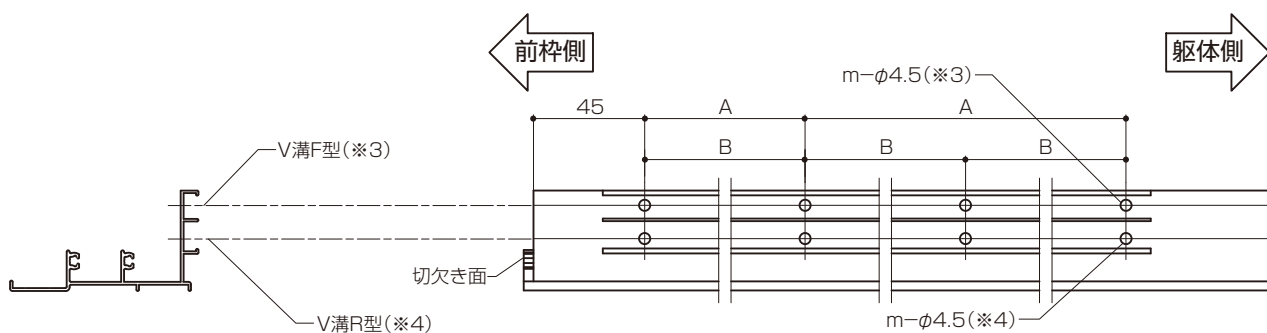
b寸法	穴加工V溝
20～65	V溝(※1)
65～80	V溝(※2)

①側面隙間ふさぎ材の取付け穴加工位置は、b寸法およびテラス屋根(F型、R型)により異なりますので、b寸法を確認の上、下記の加工指示に従って穴加工してください。



	A	B	C	n
3R	315	315	—	3
4R	310	—	310	4
5R	410	—	410	4
6R	510	—	510	4

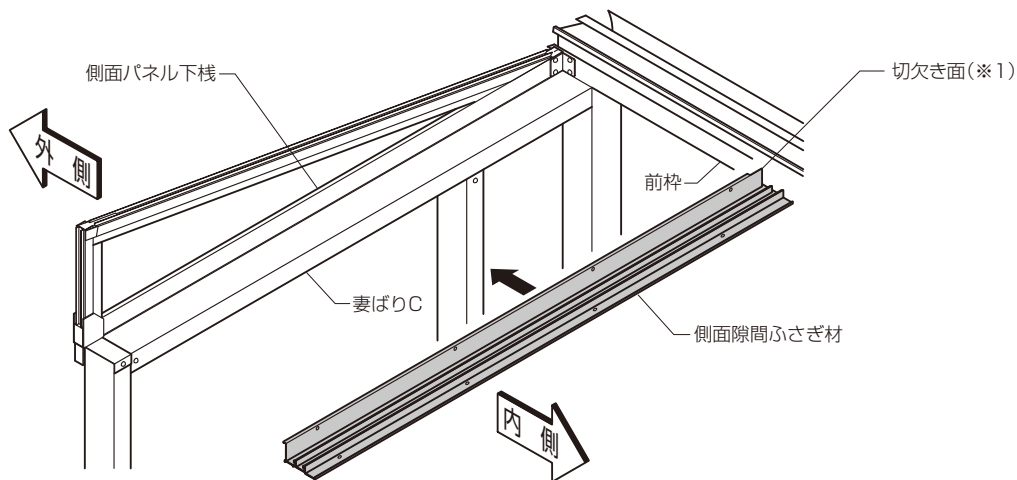
②b寸法・穴加工V溝の表を確認の上、V溝にφ4.5の穴加工をしてください。



	A	B	m
3R	365	—	3
4R	—	345	4
5R	—	445	4
6R	—	545	4

③テラス屋根形状F型(※3)・R型(※4)を確認の上、V溝にφ4.5の穴加工をしてください。

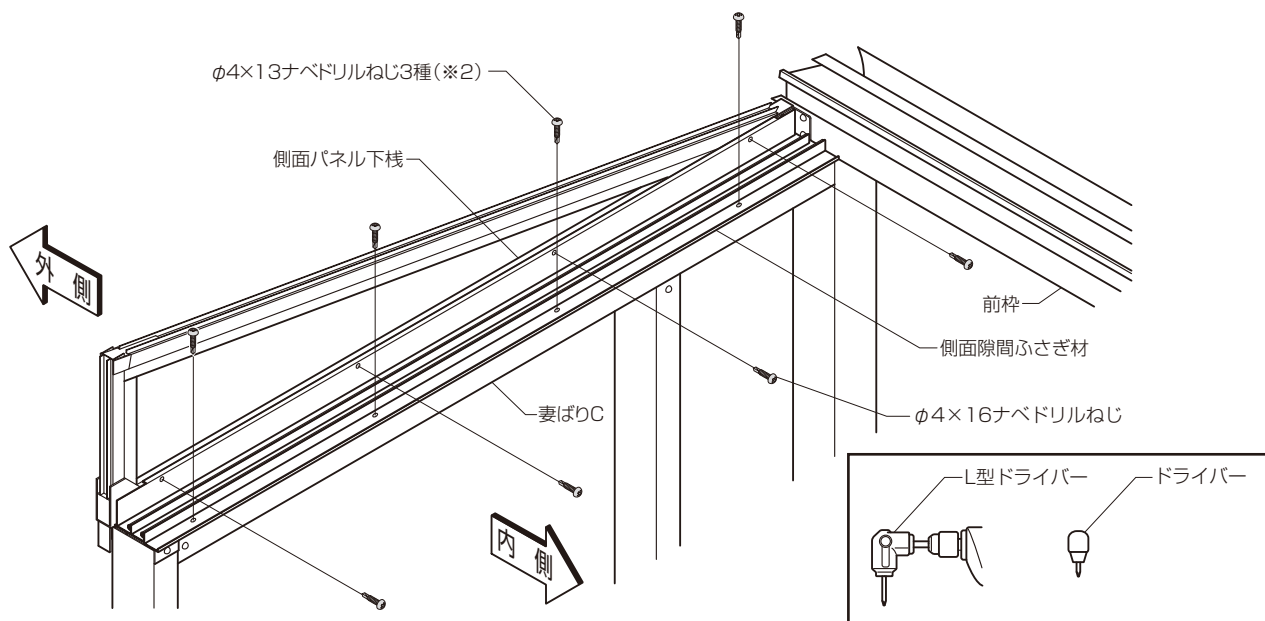
9FIX、ドアフレーム(ヤード仕様)側面隙間ふさぎ材の取付け



①側面隙間ふさぎ材を妻ばりCの上に乘せて、前枠・側面パネル下枠に突き当て納まりを確認してください。

ポイント

- 側面隙間ふさぎ材の端部のタッピングホルのフィンに切欠きのある面を前枠側へ突き当ててください。(※1)



ポイント

- 「シーリング処理の1F型、2R型の図」(P.4)を参照してください。

補足

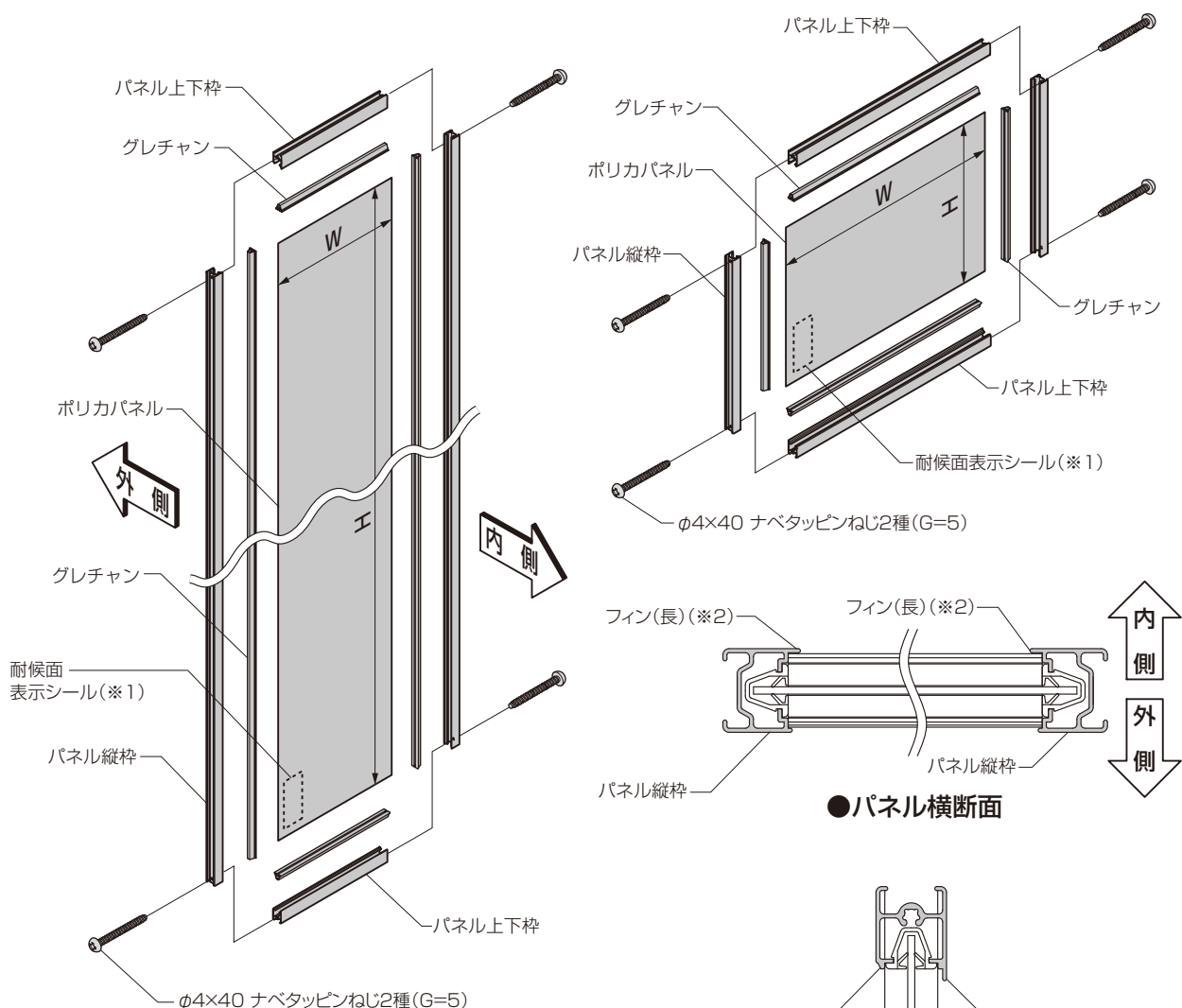
- ねじの取付けは、L型ドライバーをご使用ください。(※2)
- その他のドライバーで取付ける場合は、妻ばりCの天面に側面隙間ふさぎ材の穴位置にけがきを行ってください。妻ばりCを取外してφ3の下穴を加工し、元の位置に組付けた後、短めのドライバーで側面隙間ふさぎ材を取付けてください。(※2)

②側面隙間ふさぎ材を妻ばりCに乗せ、前枠・側面パネル下枠に突き当て、側面パネル下枠に取付けた後、妻ばりCに取付けてください。

③側面隙間ふさぎ材と妻ばり部分をシーリングしてください。

■袖壁・ヤード仕様 側面パネルの組立て

①袖壁4尺パネル、ランマパネルの組立て



【ポリカパネル寸法表】

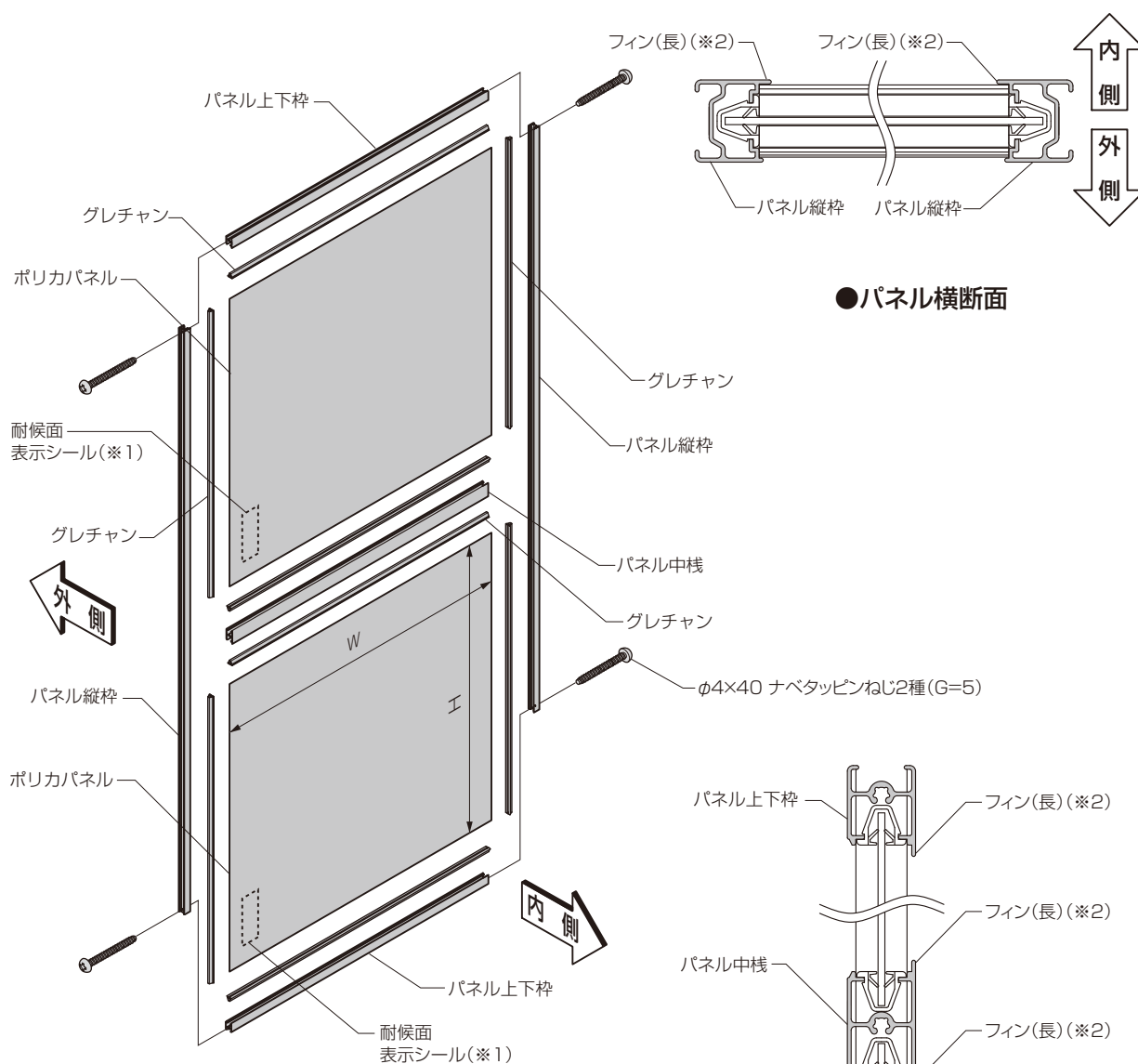
名 称	H	W
袖壁4尺	2243.5	243
ランマ	424	788

ポイント

- ポリカパネル表面に耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように組付けてください。(※1)
- パネル縦枠、パネル上下枠のフィンの長い面が内側になるように組付けてください。(※2)

- ①グレチャンをポリカパネルに取り付けてください。
- ②パネル縦枠、パネル上下枠をポリカパネルにはめ込み、固定してください。

2 袖壁5尺パネルの組立て



【ポリカパネル寸法表】

名 称	H	W
袖壁5尺	1116.5	543

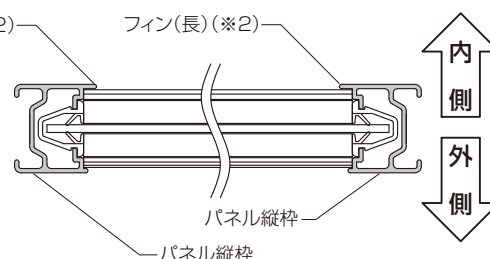
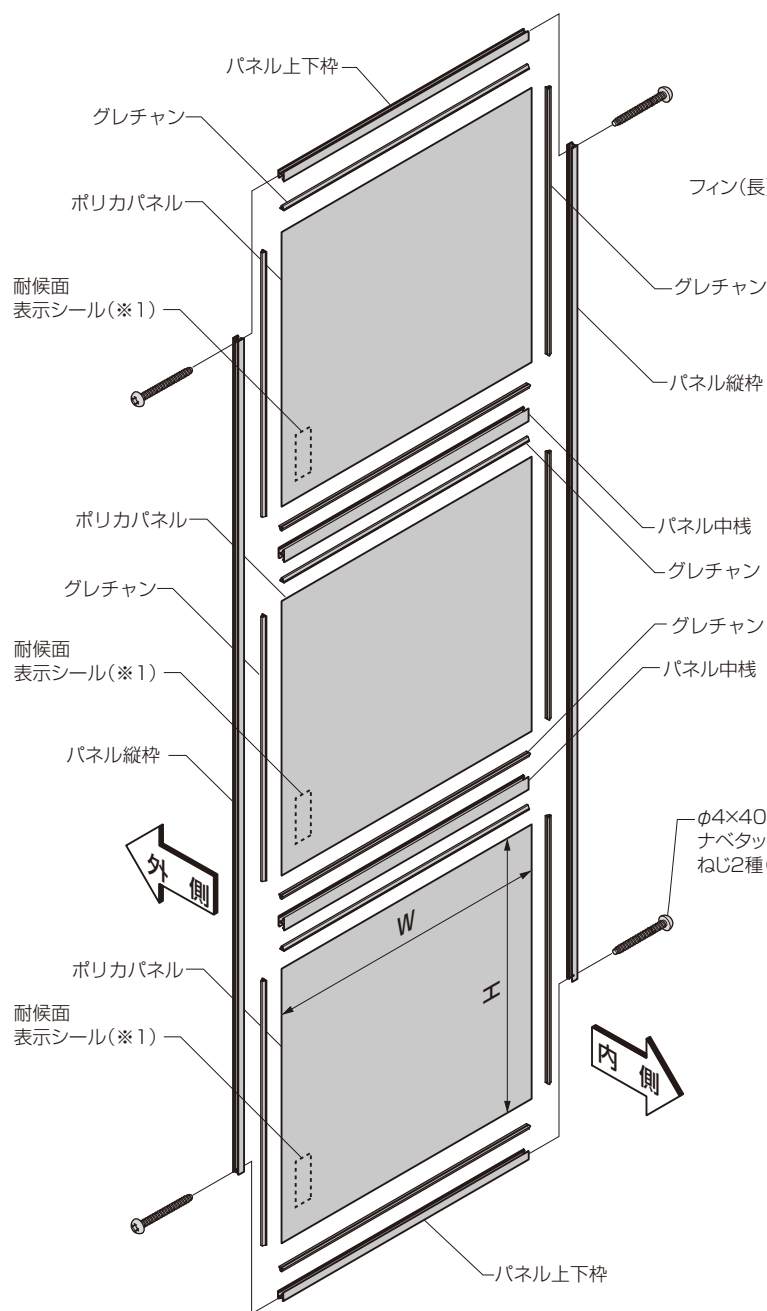
ポイント

- ポリカパネル表面に耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように組付けてください。(※1)
- パネル縦枠、パネル上下枠、パネル中棧のフィンの長い面が内側になるように組付けてください。(※2)

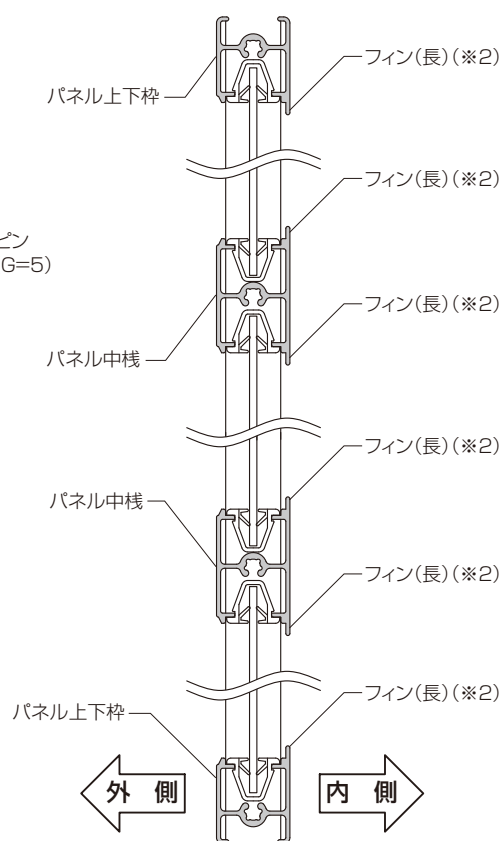
①グレチャンをポリカパネルに取付けてください。

②パネル縦枠、パネル上下枠、パネル中棧をポリカパネルにはめ込み、で固定してください。

3 袖壁6尺パネル、FIXパネルの組立て



●パネル横断面



●パネル縦断面

【ポリカパネル寸法表】

名 称	H	W
袖壁6尺	740.5	843
FIX	740.5	788

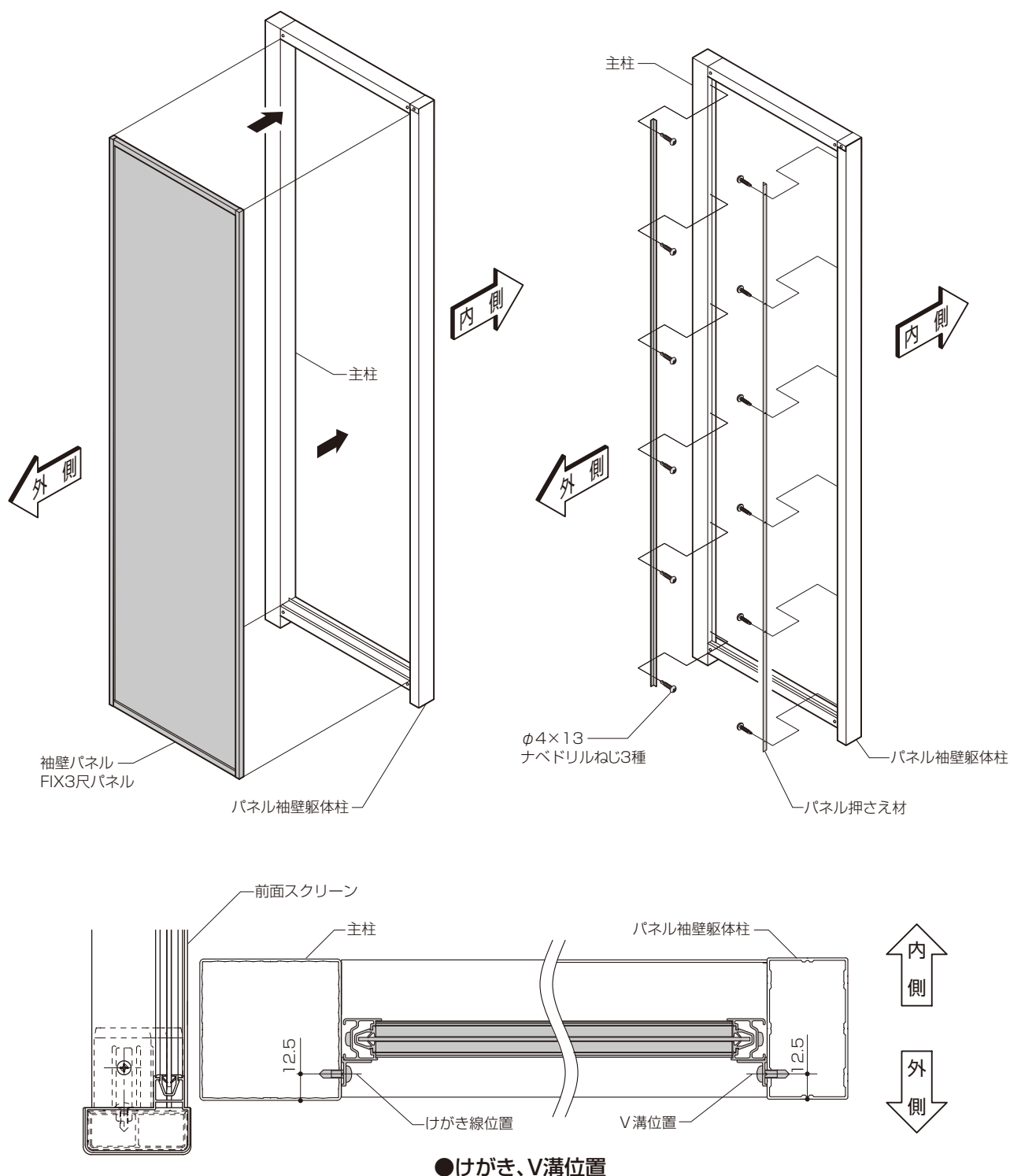
ポイント

- ポリカパネル表面に耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように組付けてください。(※1)
- パネル縦枠、パネル上下枠、パネル中棧のフィンの長い面が内側になるように組付けてください。(※2)

- ① グレチャンをポリカパネルに取付けてください。
- ② パネル縦枠、パネル上下枠、パネル中棧をポリカパネルにはめ込み、固定してください。

■側面ユニット・パネルの取付け

①袖壁パネル4・5・6尺、FIX3尺(ヤード仕様)パネルの取付け



本体の施工

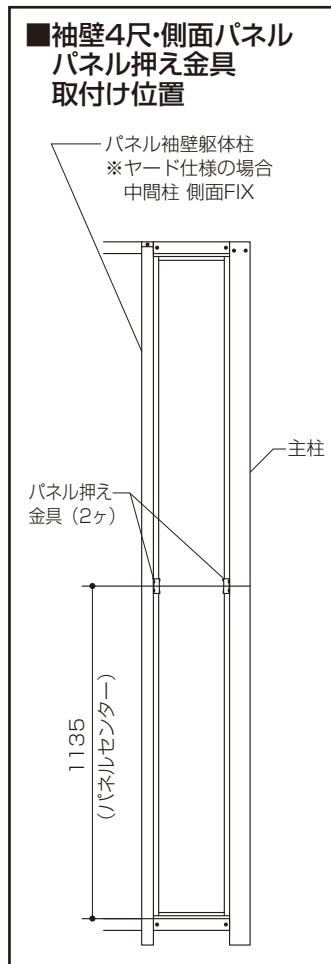
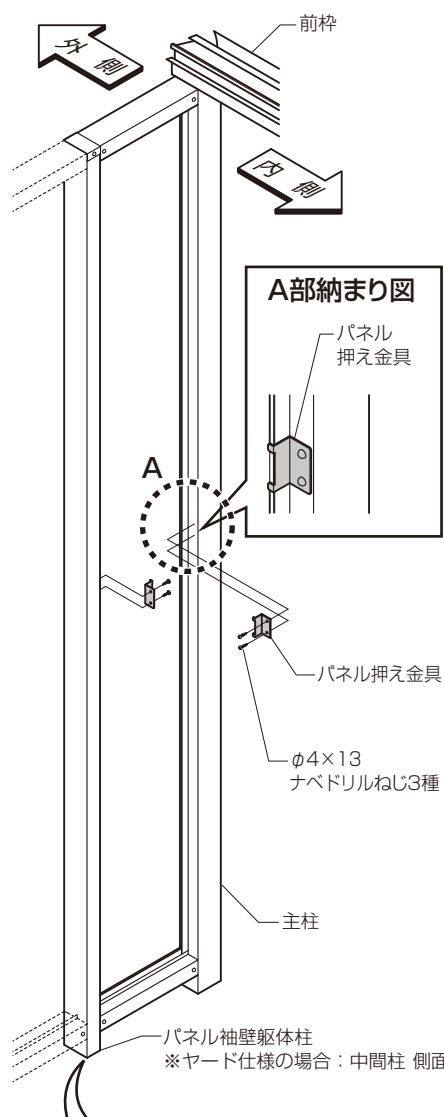
ポイント

●ポリカパネル表面に耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように取付けてください。

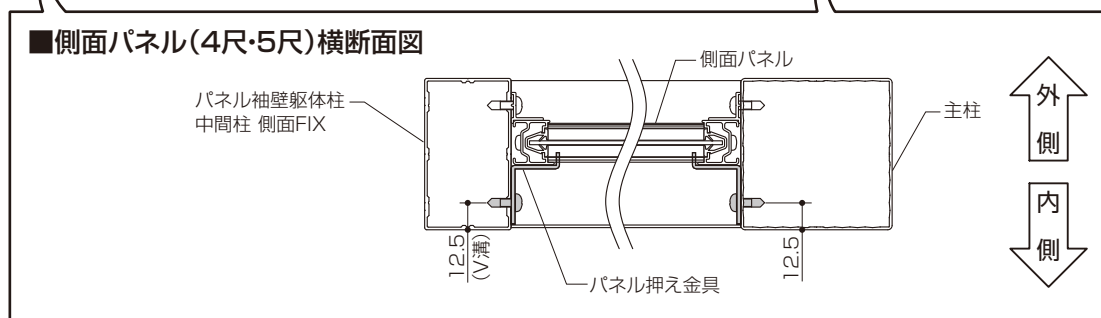
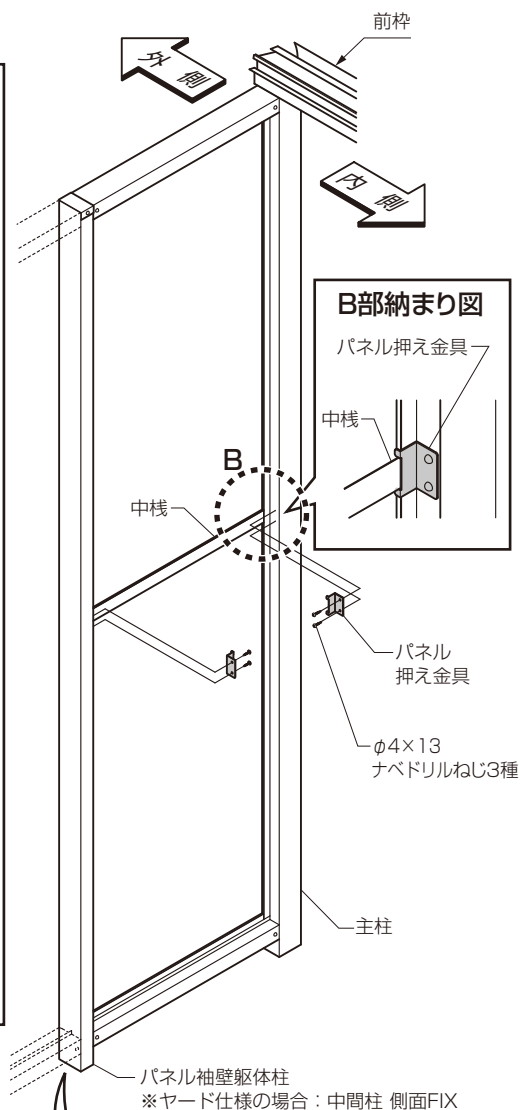
- ①主柱にパネル押さえ材取付け位置のけがきを行ってください。
- ②外側から袖壁パネルをフレーム内にはめ込んでください。
- ③パネル押さえ材を主柱のけがき線位置、パネル袖壁躯体柱の端部から2本目のV溝位置に取付けてください。

2 袖壁・ヤード 4尺・5尺側面パネルの取付け(内側)

〈袖壁4尺の場合〉



〈袖壁5尺の場合〉

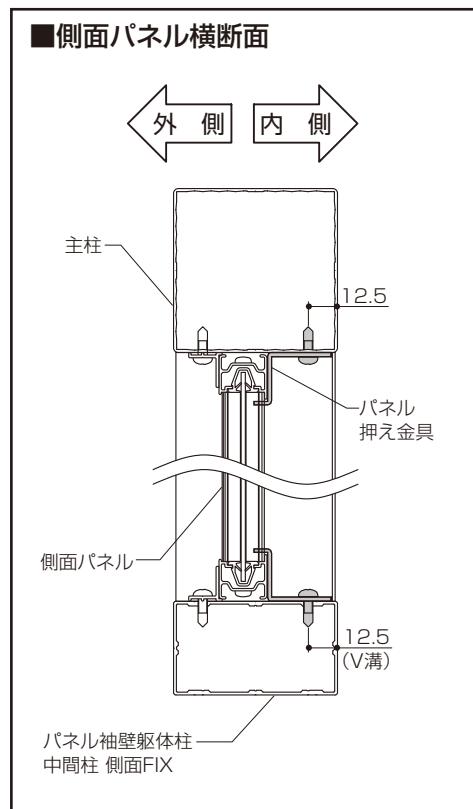
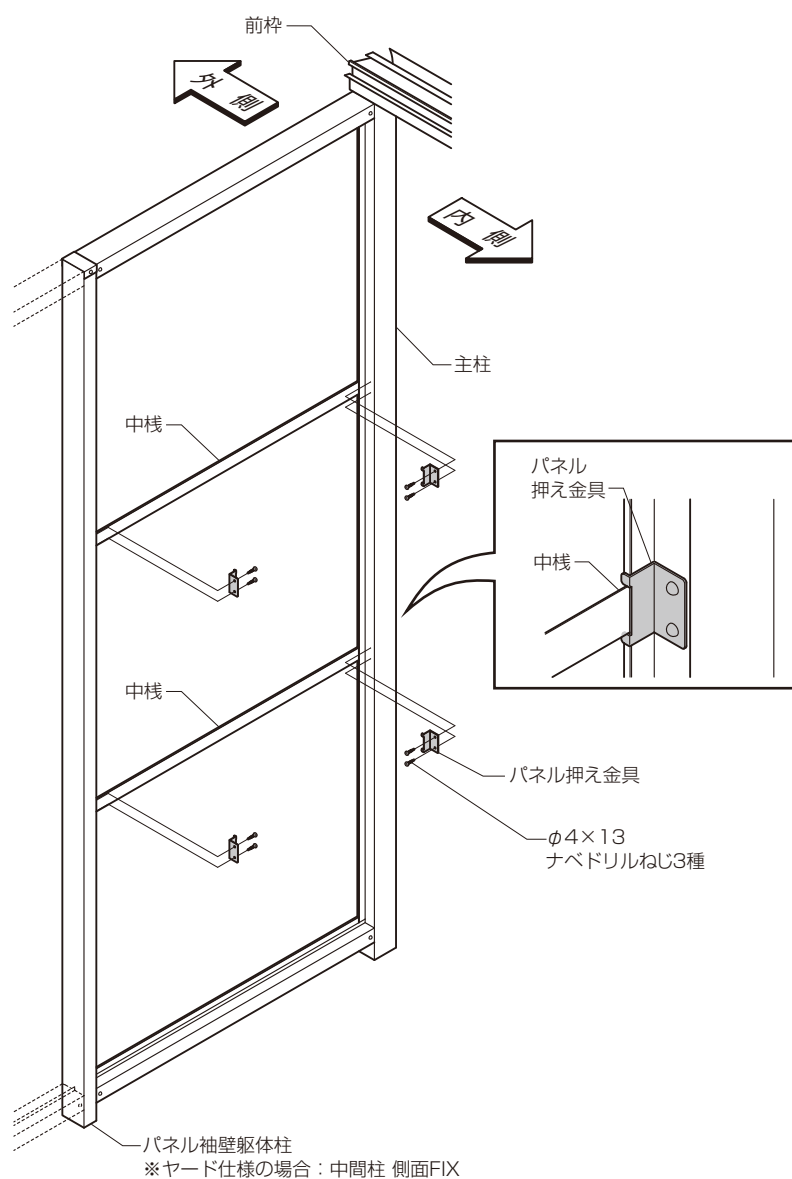


ポイント

- 袖壁4尺の側面パネルには、中棧がありませんのでパネルセンターの位置だしを行い、パネル押え金具を取付けてください。

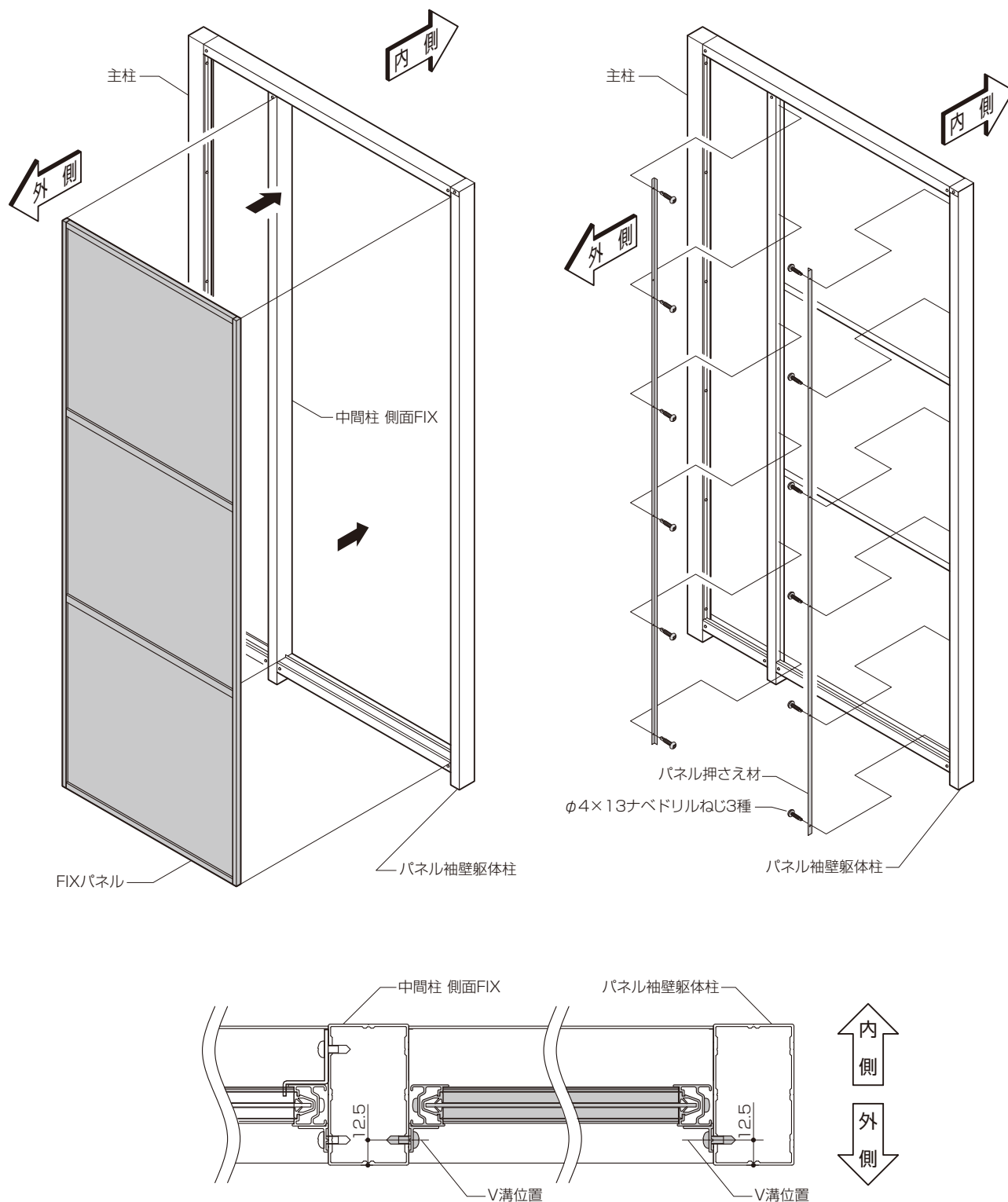
- ①側面パネル内観側より、パネル押え金具を側面パネルのパネルセンター部（袖壁4尺）、または中棧（袖壁5尺）に押し当て主柱、パネル袖壁躯体柱へ取付けてください。

3 袖壁6尺、FIX3尺(ヤード仕様)側面パネルの取付け(内側)



①側面パネル内観側より、パネル押え金具を側面パネルの中棧に押し当てて主柱、パネル袖壁躯体柱へ取付けてください。

4 FIX(ヤード仕様)パネルの取付け



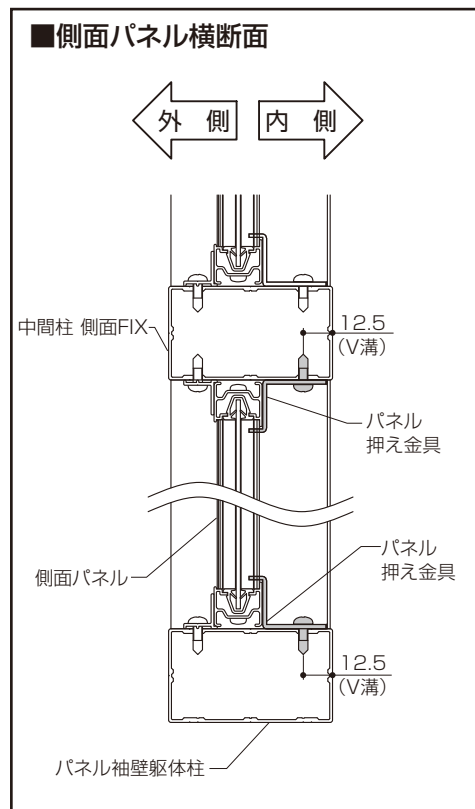
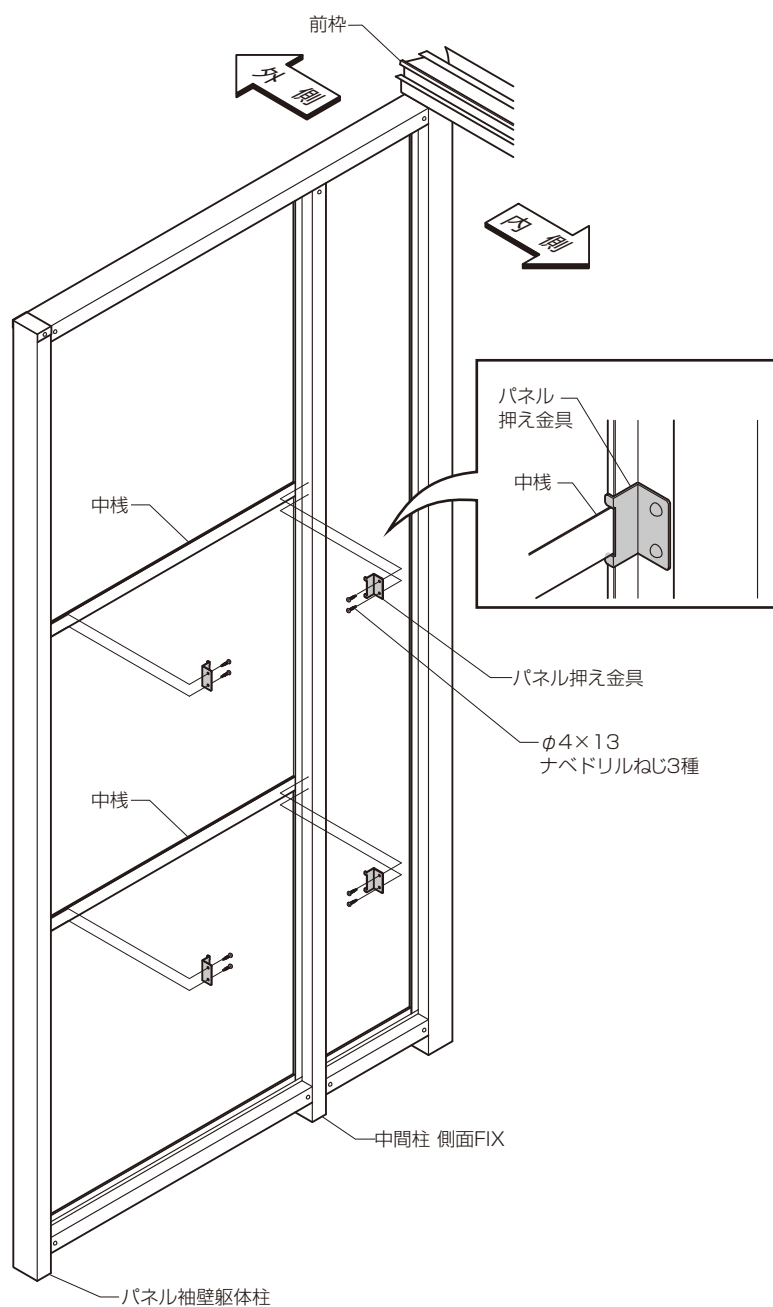
●V溝位置

ポイント

- ポリカパネル表面に耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように取付けてください。

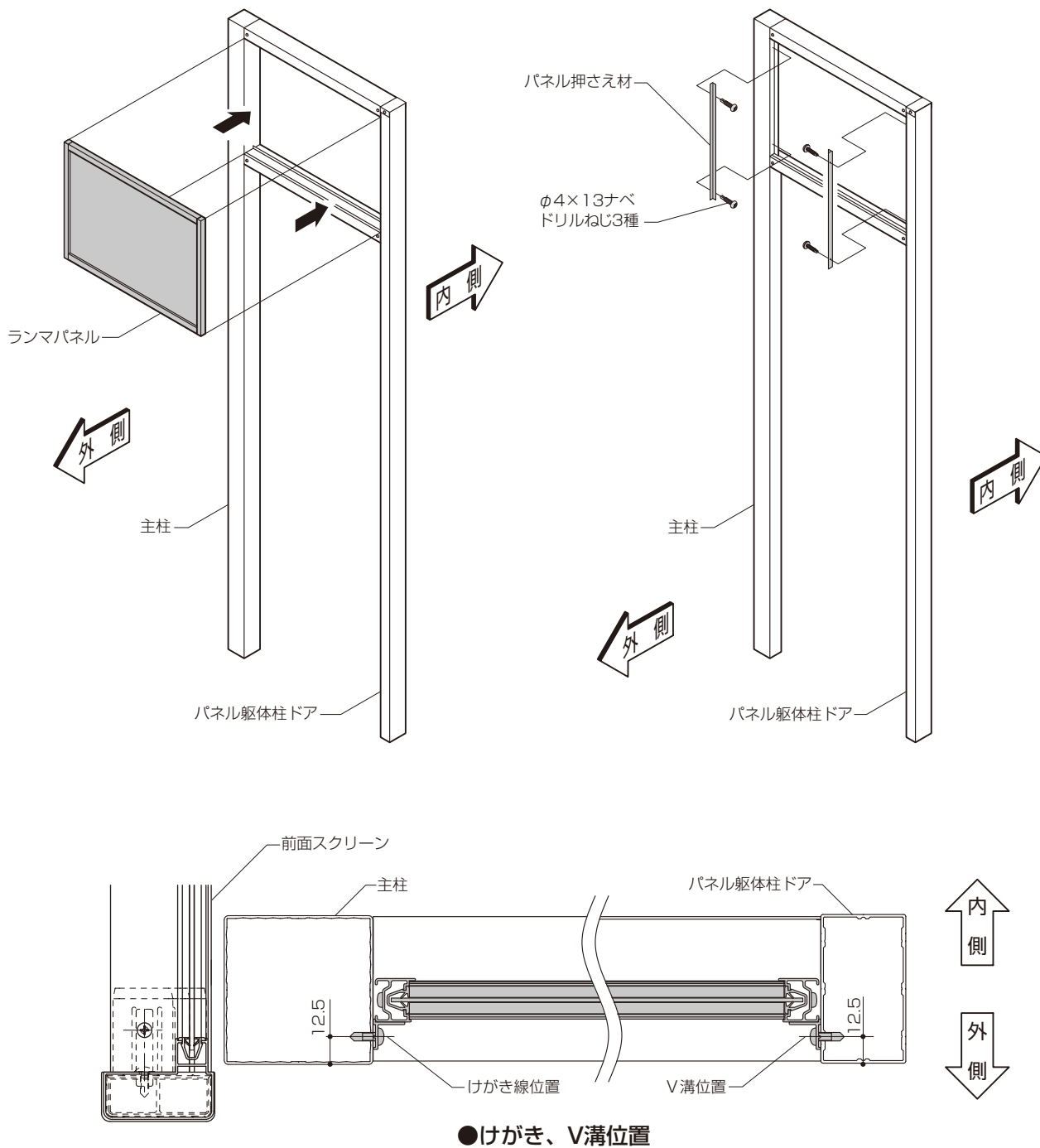
- ①外側から側面パネルをフレーム内にはめ込んでください。
- ②パネル押さえ材を中間柱 側面FIX、パネル袖壁躯体柱の端部から2本目のV溝位置に取付けてください。

5 FIX(ヤード仕様)側面パネルの取付け(内側)



①側面パネル内観側より、パネル押え金具を側面パネルの中棧に押し当てて主柱、パネル袖壁躯体柱へ取付けてください。

6 ドア3尺(ヤード仕様)パネルの取付け

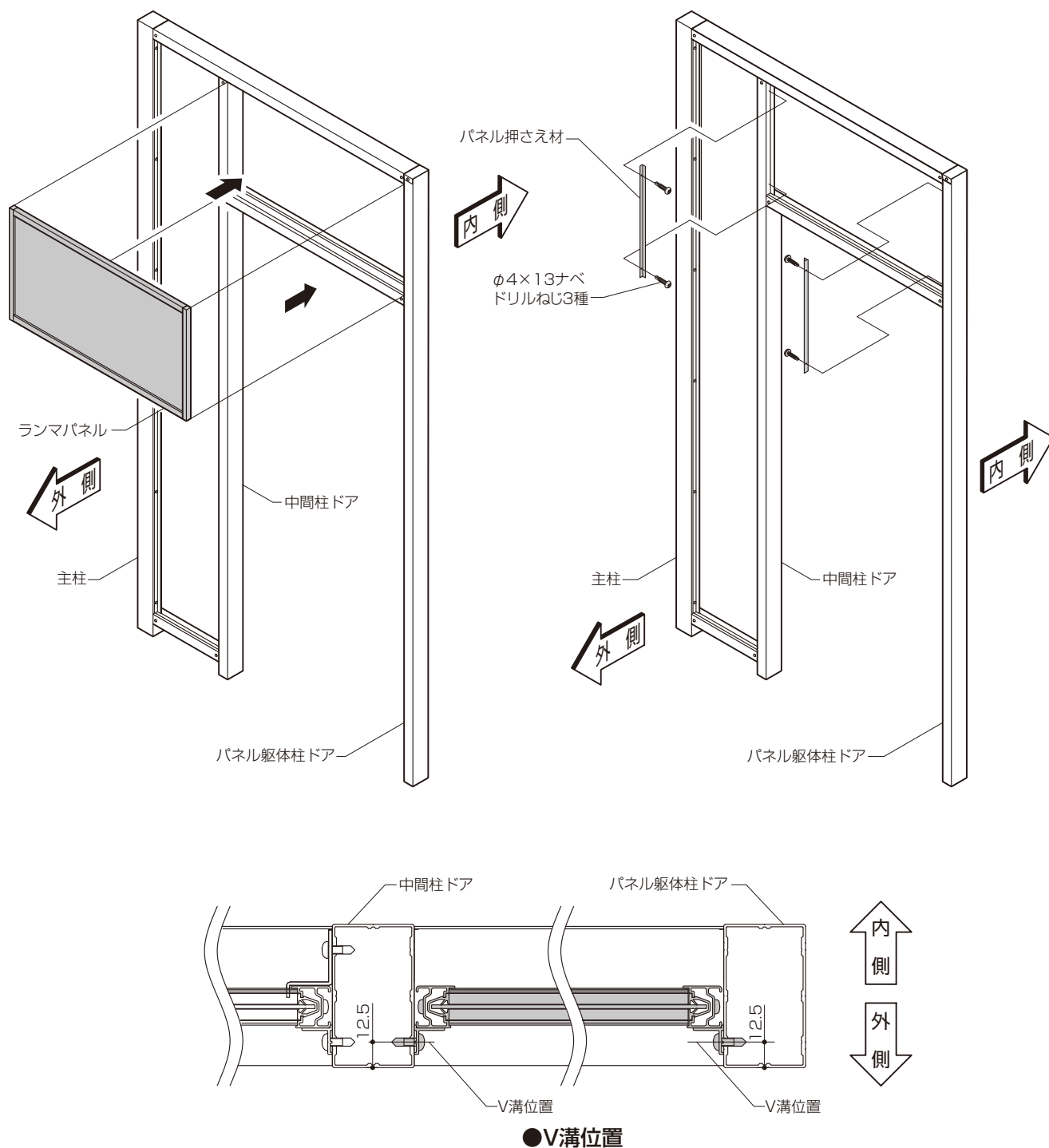


ポイント

- ポリカパネル表面に耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように取付けてください。

- ①主柱にパネル押さえ材取付け位置のけがきを行ってください。
- ②外側からランマパネルをフレーム内にはめ込んでください。
- ③パネル押さえ材を主柱のけがき線位置、パネル躯体柱 ドアの端部から2本目のV溝位置に取付けてください。

7 ドア4～6尺(ヤード仕様)パネルの取付け



ポイント

- ポリカパネル表面に耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように取付けてください。

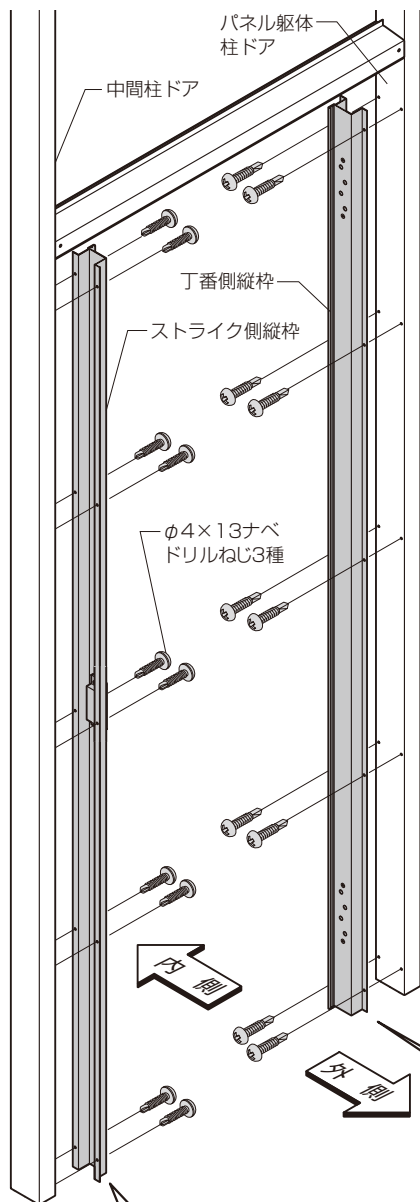
- ①外側からランマパネルをフレーム内にはめ込んでください。
- ②パネル押さえ材を中間柱 ドア、パネル躯体柱 ドアの端部から2本目のV溝位置に取付けてください。

■ドア部の取付け

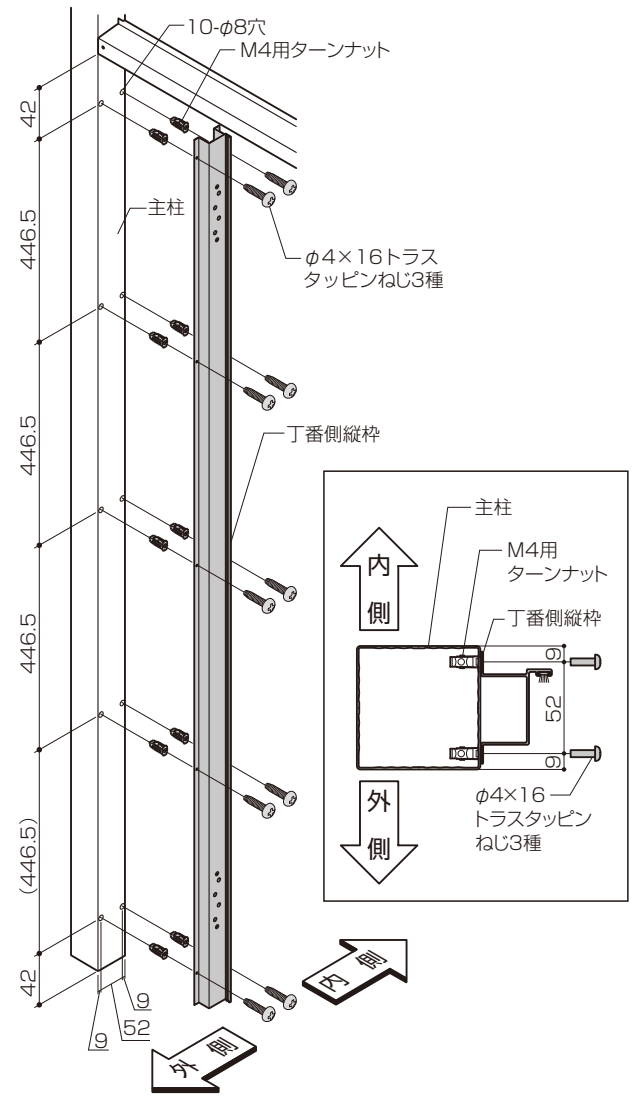
※図はテラス外観右取付けの場合を示します。外観左の場合は左右が反対になります。

■1ドア縦枠の取付け

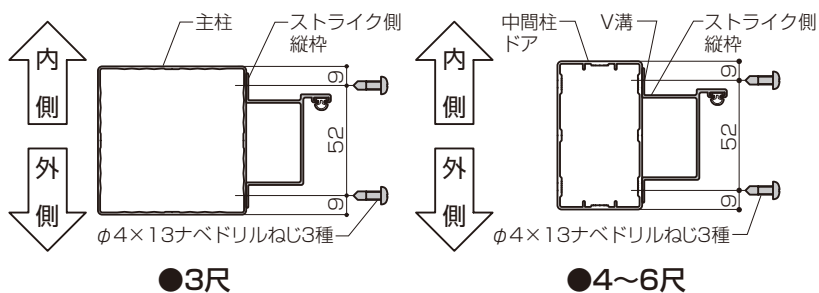
※図は外観右吊元の場合を示します。



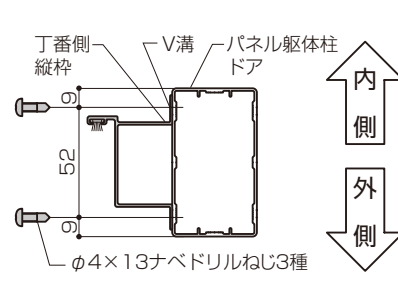
■ドア支柱側取付け支柱側吊元の場合



■ストライク側縦枠の取付け



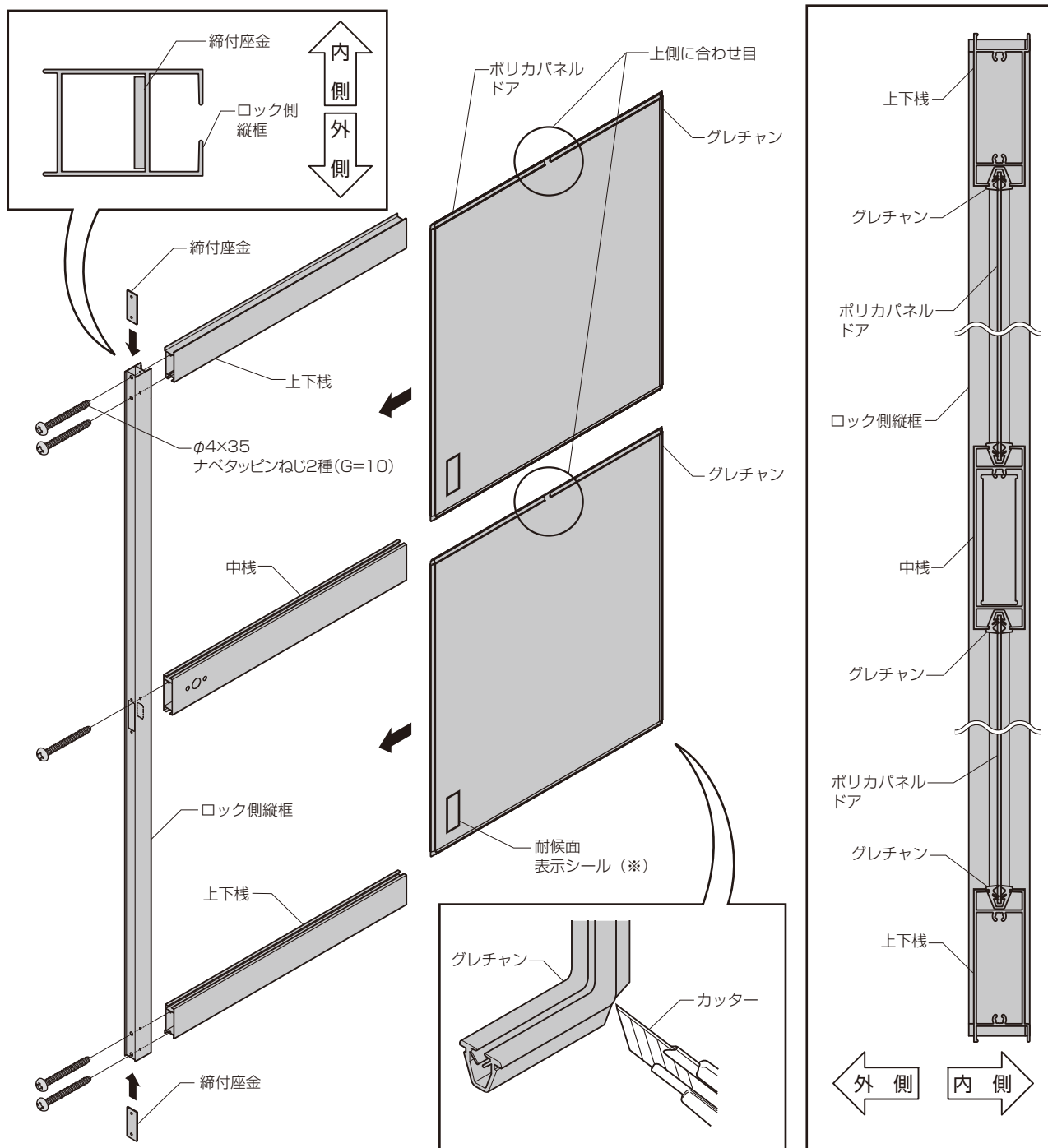
■丁番側縦枠の取付け



- ①ストライク側縦枠を主柱または中間柱ドアに当て、上側に突き当てた状態で取付け位置を確認してください。
- ②ストライク側縦枠を主柱または、中間柱ドアに取付けてください。
- ③丁番側縦枠をパネル躯体柱ドアに当て、上側に突き当てた状態で取付け位置を確認してください。
- ④丁番側縦枠をパネル躯体柱ドアに取付けてください。

2ドアの組立て

※図は外観右吊元の場合を示します。



- ①上下棧をロック側縦框に締付座金を入れて取付けてください。
- ②中棧をロック側縦框に、取付けてください。
- ③グレチャンをポリカパネルの上側中央から取付けて、角に切り込みを入れて囲むように取付けてください。

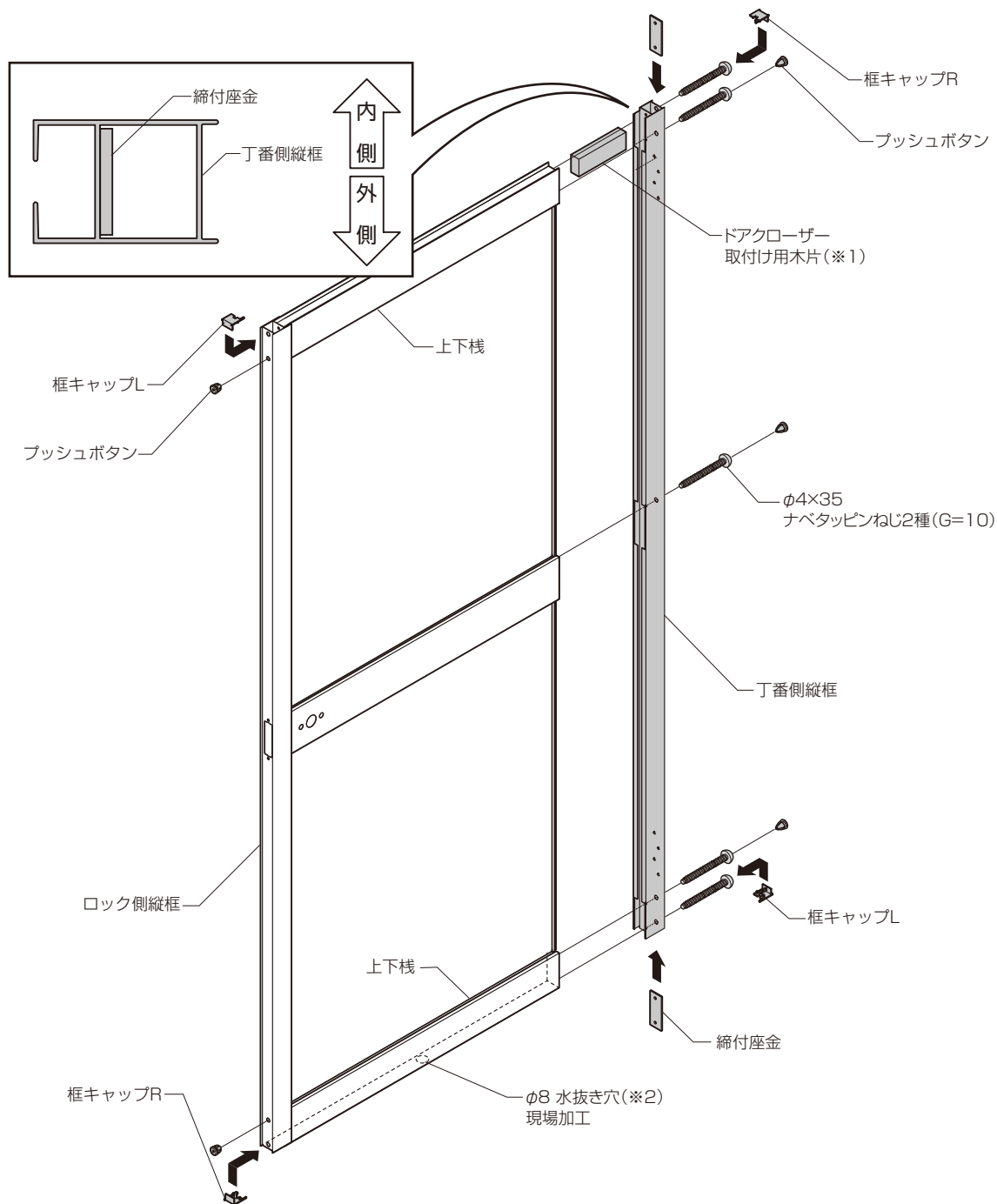
ポイント

- ポリカパネルは、耐候面表示シールの張ってある面が外側になるように取付けてください。(※)
- グレチャンが入れにくい場合は、ビードローラー等の工具を使って取付けてください。

- ④ポリカパネルを棧に取付けてください。

2つづき

※図は外観右吊元の場合を示します。



- ⑤上側の上下棧にドアクローザー取付け用木片を挿入してください。
- ⑥丁番側縦框に締付座金を入れて取付けてください。
- ⑦フレームキャップL、Rを4カ所ロック側縦框および丁番側縦框に取付けてください。
- ⑧プッシュボタンを5カ所ロック側縦框および丁番側縦框に取付けてください。
- ⑨G.L.側の上下棧の下面中央にφ8水抜き穴をあけてください。（※2）

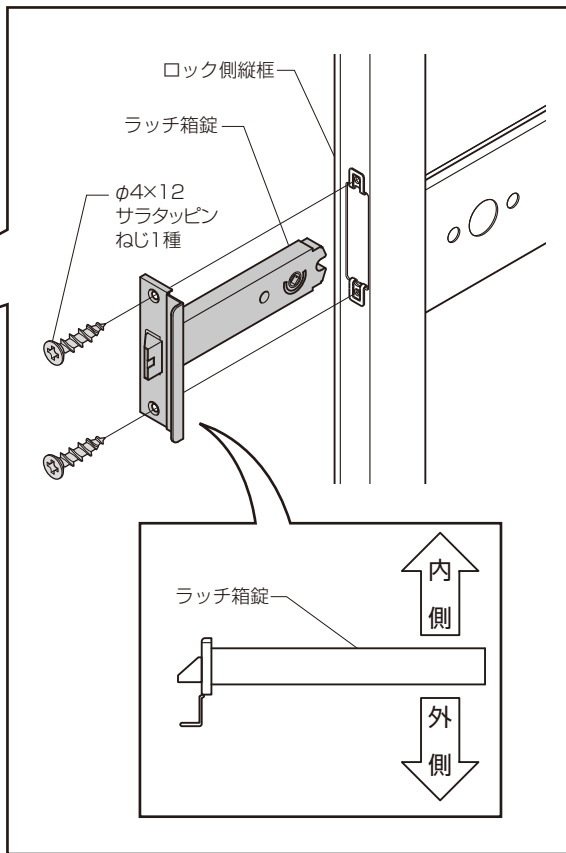
補足

- 後付けを可能にするためドアクローザー **オプション** を取付けない場合でも、上側の上下棧にドアクローザー取付け用木片を挿入してください。（※1）

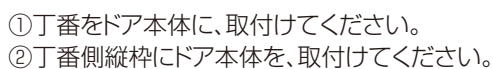
■スピードナットの取付け

ロック側縦枠

スピードナット



- ### ■3 ドア の 取 付 け と 調 整

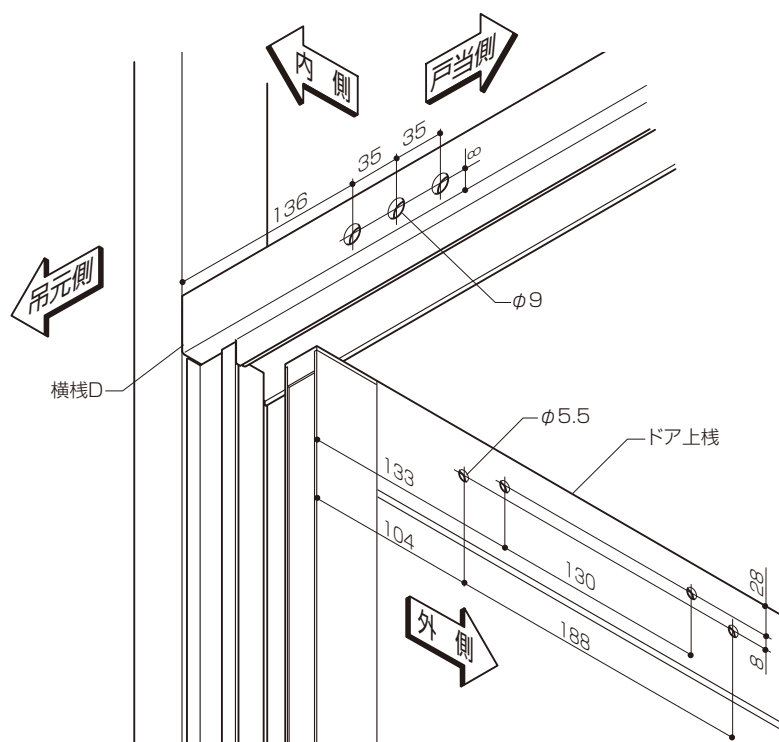


- 丁番が取付けにくい場合は、丁番裏板ねじを調整して取付けてください。(※1)
- ドアの締まりが悪いときには、ストライク側縦枠のストライク取付けねじをゆるめてストライクを調節してください。(※2)
- ドアクローザー **オプション** を取付ける場合、ドアクローザー取付け用木片を吊元側に寄せてから丁番を取付けてください。

■ ドアクローザーの取付け オプション

1 座板・ブラケット取付け穴の加工

※図は外観右吊元を示します。



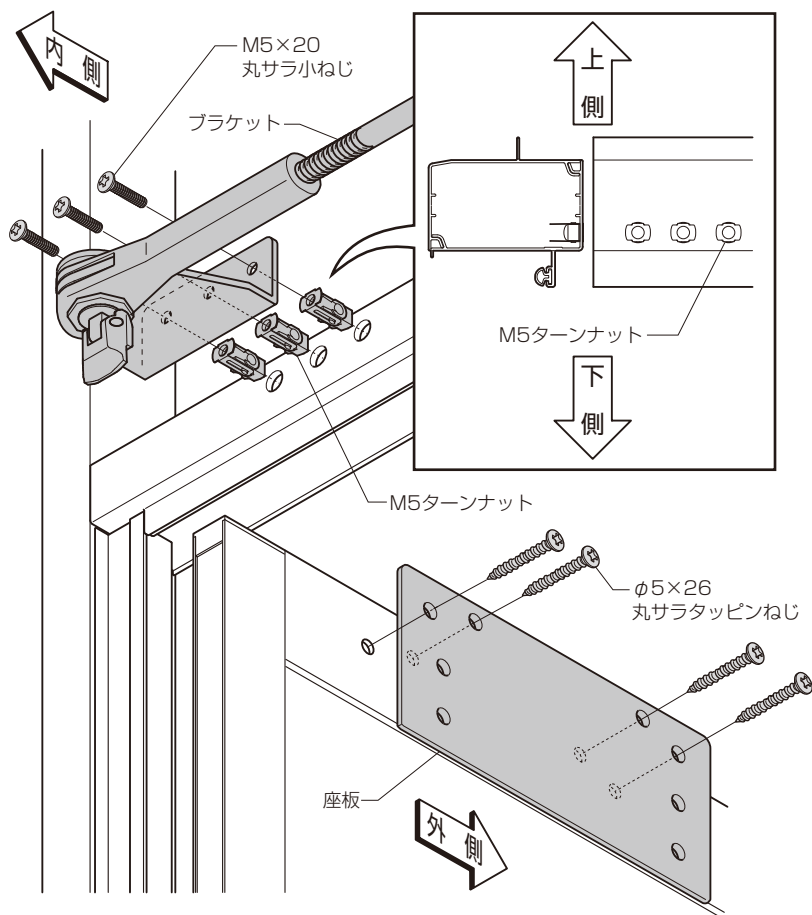
① ドア上棧にφ5.5の穴を4ヵ所あけてください。

ポイント

● ドア上棧の穴は、形材(上棧)だけにあけてください。
内部の木部まであけると、ねじがきかなくなりますので注意してください。

② 横棧Dにφ9の穴を3ヵ所あけてください。

2 座板・ブラケットの取付け



① 座板を固定してください。

ポイント

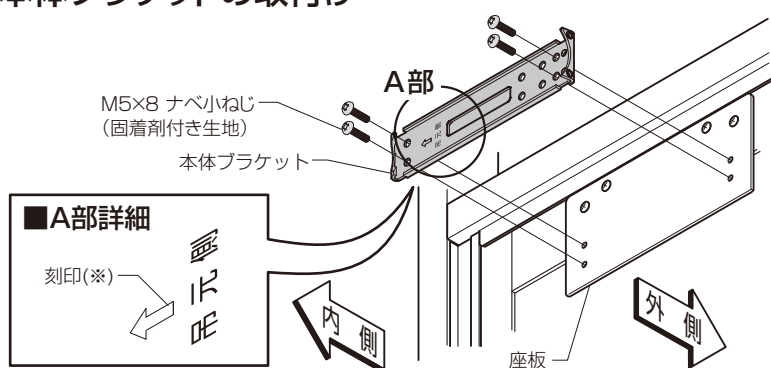
● 座板はドアクローザー取付け用木片に固定します。

② ブラケットを取付けてください。

ポイント

● M5ターンナットの取付け方向に注意してください。ブラケットが取付けできなくなります。
● 取付けねじの締付けがゆるいとぐらつき、落下・故障の原因になります。

3 本体ブラケットの取付け

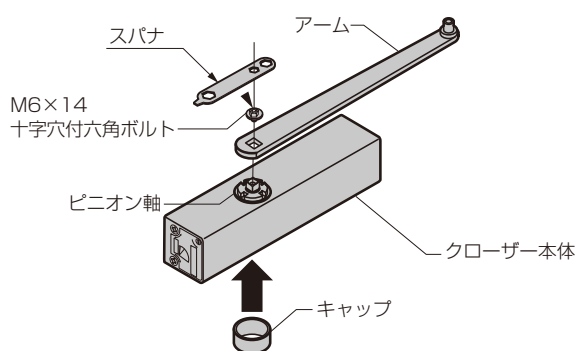


- ① 本体ブラケットの刻印(*)を吊元側に向け、取付けてください。

ポイント

- 取付けねじの締付けがゆるいとぐらつき、落下・故障の原因になります。

4 アームの取付け



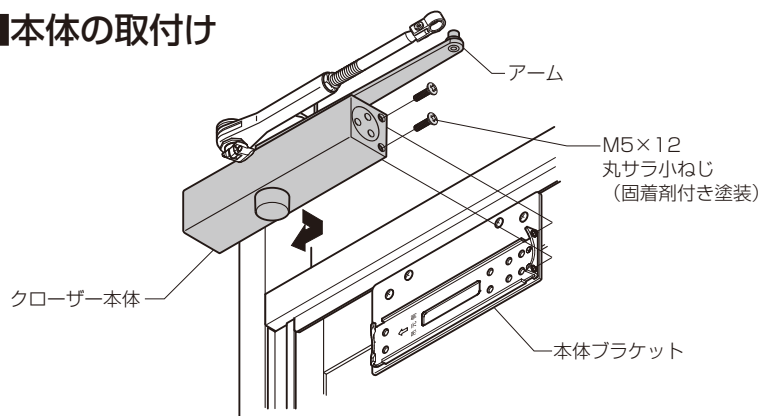
ポイント

- アームはめ込み時、ハンマーなどで叩かないでください。破損や油もれの原因になります。
- 取付けねじの締付けがゆるいと、アームが外れ故障の原因になります。
- アームとクローザー本体が平行になるように取付けてください。故障の原因になります。

補足

- 十字穴付六角ボルトの固定には付属のスパナを使用してください。

5 本体の取付け

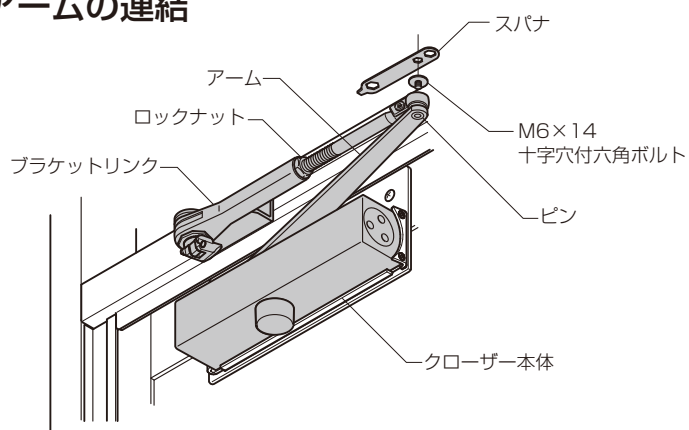


- ① 図のようにクローザー本体を本体ブラケットに、スライドしてはめ込んでください。
- ② 図のようにクローザー本体を固定してください。

ポイント

- 取付けねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき、落下・故障の原因になります。

6 アームの連結



- ① ロックナットを回転し、アーム先端のピンとブラケットリンク先端の穴の位置を合わせてください。
- ② ブラケットリンク先端の穴にアーム先端のピンを差し込み、しっかりと締付けてください。

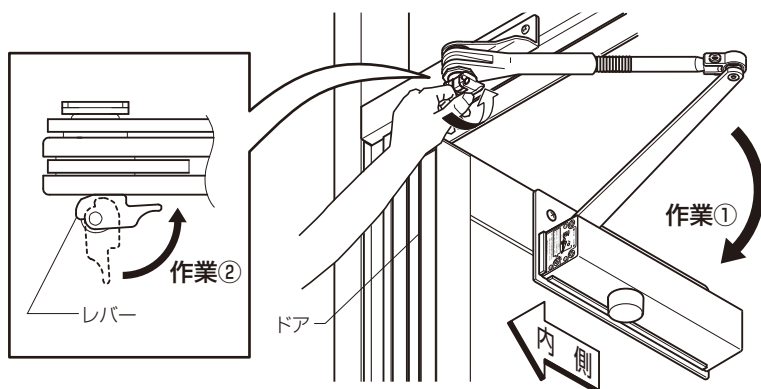
補足

- 十字穴付六角ボルトの固定には付属のスパナを使用してください。

ポイント

- 取付けねじの締付けがゆるいと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

7 ストップ角度の設定

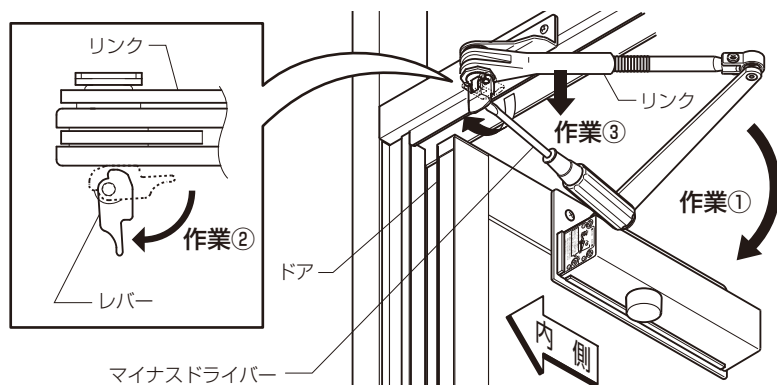


- ① ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
- ② 開いた位置でレバーを手で完全に押倒してください。レバーが完全に押倒せない場合はドアを前後にゆすりながら押倒してください。

ポイント

- レバーを倒すとき、ハンマーなどでたたかないでください。たたくとストップ装置の故障の原因になります。

8 ストップ角度を変更する場合



- ① ドアを開きストップ状態にしてください。
- ② 手またはマイナスドライバーでレバーを起こしてください。
- ③ ドアを開く方向に押しながら、リンクの↓部をいっばいに引降ろすとストップ機構が解除し設定前の状態に戻ります。
- ④ 「7 ストップ角度の設定」手順①～②にしたがってストップ角度の調整を行ってください。

- ① 閉じ速度は本体の吊元側についている各調整ねじで調整してください。

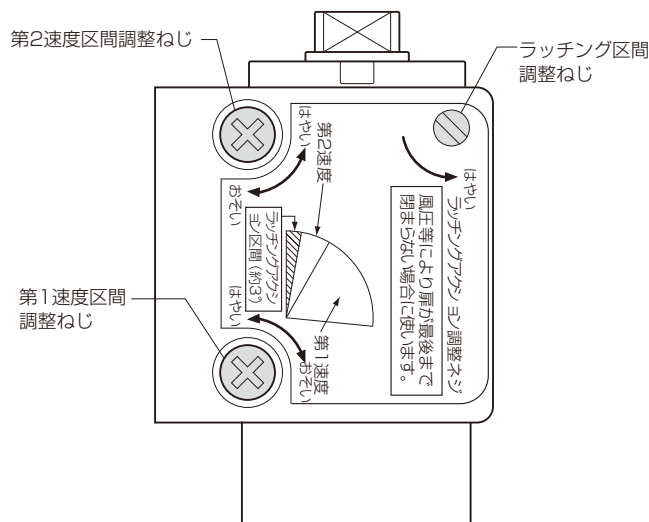
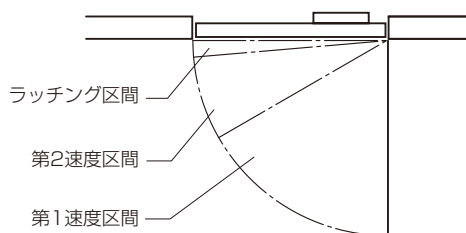
注意

- 閉じ速度は早くしすぎないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。

ポイント

- 調整ねじは、反時計まわりに1回転以上回転しないでください。油もれを起こし正常に機能しなくなるおそれがあります。

9 ドアクローザーの速度調整



- ② ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前（約3°）まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合に使用します。

ポイント

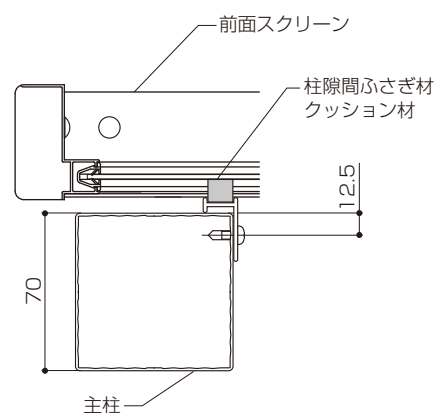
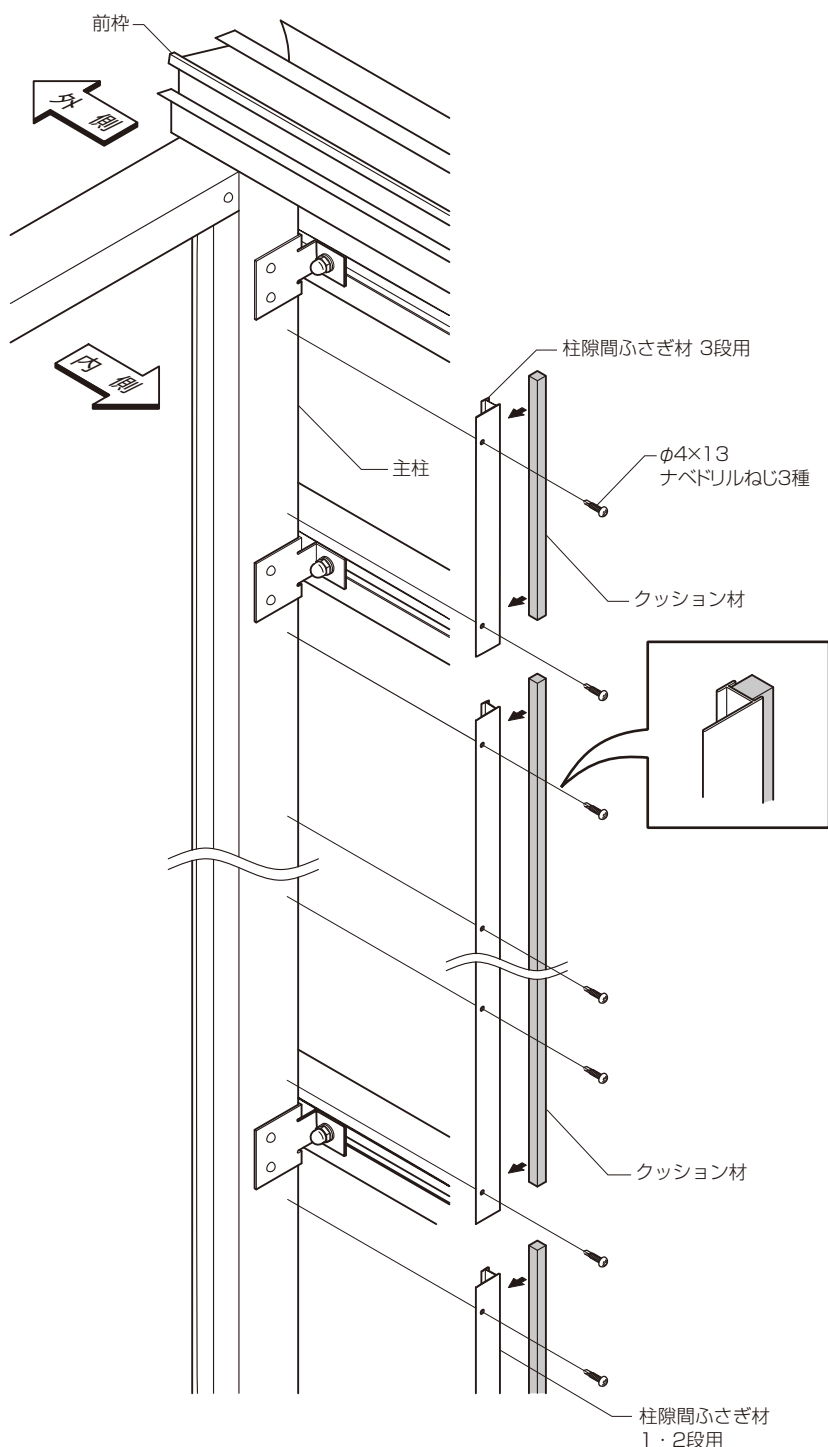
- ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5秒～8秒になるように調整してください。

補足

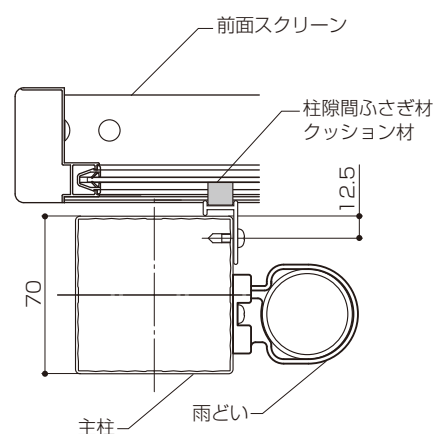
- ドアクローザーは第1速度区間では早く、第2速度区間でゆっくり、ラッチング区間ですばやく閉まるように調整するとスムーズに閉まります。それぞれの目的に応じて、調整を行ってください。

■柱隙間ふさぎ材の取付け

※「袖壁仕様」「ヤード仕様」の作業です。



●柱隙間ふさぎ材納まり



●柱隙間ふさぎ材納まり(雨どい)

補足

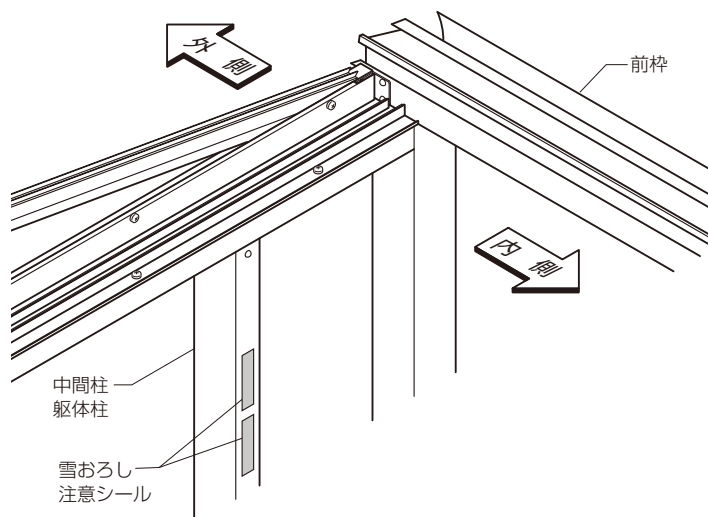
●クッション材の色はグレーです。

- ①クッション材を柱隙間ふさぎ材の長さに切って張付けてください。
- ②柱隙間ふさぎ材を前面スクリーンと主柱の隙間にはめ込み、取付けてください。

■雪おろし注意シール・ブランドラベルの張付け

1 雪おろし注意シールの張付け

※「袖壁仕様」「ヤード仕様」の場合の作業です。



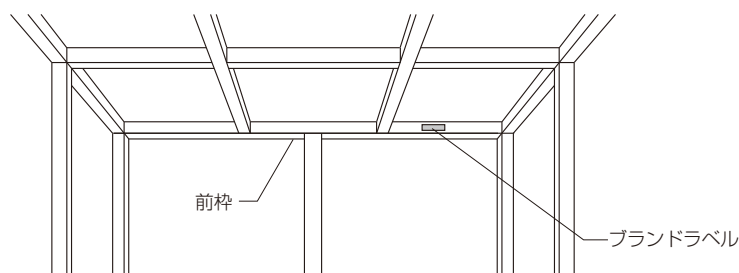
①中間柱または躯体柱の内側面に雪おろし注意シールを縦に並べて張付けてください。

⚠ 注意

●雪おろし注意シールは、施主さまに安全に使用していただくために必要です。

2 ブランドラベルの張付け

※1500タイプの場合の作業です。

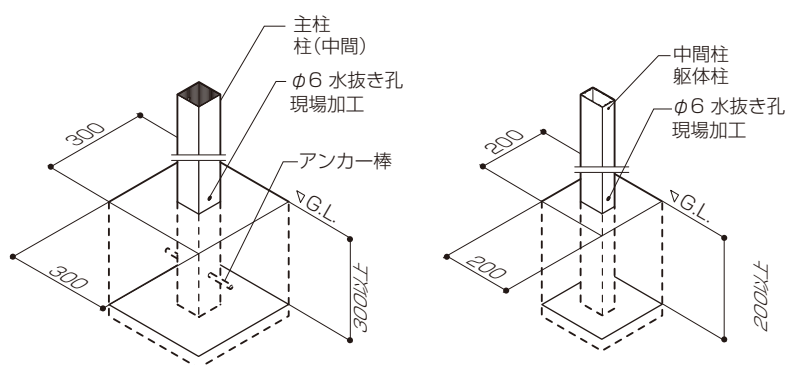


①前枠に張付いている「テラス」のブランドラベルの上に、「ストックヤード」のブランドラベルを重ねて張付けてください。

⚠ 注意

●ブランドラベルは、施主さまに安全に使用していただくために必要です。

■柱の固定



🔑 ポイント

●柱の基礎穴にコンクリートを施工する前に、以下の項目を確認し必要に応じて調整をしてください。

- ☐ 柱位置はくるっていないか
- ☐ 柱の垂直はでているか
- ☐ ドアの開閉ができるか
- ☐ ドアを閉めたときの、隙間寸法は均等か
- 「■シーリング処理」のB部詳細図(P.3)を参照してください。

①基礎穴をコンクリートまたはモルタルで埋めてください。

②躯体柱の基礎コンクリート硬化後に、躯体柱と躯体のすき間をシーリングしてください。

取説コード

E246

JZZ614779E
200706A_1041
201611F_1047